

SONY

デジタルHDビデオカメラレコーダー

HVR-Z5J

SONY®

4-114-857-04(1)

デジタルHDビデオ カメラレコーダー

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます

**警告**

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

お問い合わせは

「ソニー業務用商品相談窓口のご案内」にある窓口へ

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南 1-7-1

<http://www.sony.co.jp/>
Printed in Japan



4114857040

HDV

HDV 1080i

DVCAM™Mini DV Digital
Video
Cassette**PROGRESSIVE****InfoLITHIUM**™
SERIES**MEMORY STICK**™**HDMI**®
HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE**HVR-Z5J**

© 2008 Sony Corporation

使用前に必ずお読みください

お買い上げいただきありがとうございます。

本機で使えるカセットについて

本機はHDV/DVCAM/DV規格の記録機能を搭載したデジタルHDビデオカメラレコーダーです。

HDV/DV規格で記録するときは、ミニDVカセットのご使用をおすすめします。DVCAM規格で記録するときは、ミニDVCAMカセットのご使用をおすすめします。カセットメモリー機能には非対応です(112ページ)。

HDV規格とは

DV規格カセットにデジタルハイディフィニション(HD)映像の記録・再生ができます。

HDV映像信号の圧縮方式は、BSデジタルや地上デジタルのハイビジョン放送やブルーレイディスクレコーダーで採用されているMPEG2方式です。

本機で使える“メモリースティック”について

本機では次のマークのついた“メモリースティック”が使えます。

- MEMORY STICK Duo (“メモリースティック デュオ”)
- MEMORY STICK PRO Duo (“メモリースティック PRO デュオ”)
- MEMORY STICK PRO-HG Duo (“メモリースティック PRO-HG デュオ”)

“メモリースティック デュオ”
(本機で使用するサイズ)



“メモリースティック”
(本機では使用できません)

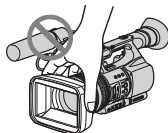


ご注意

- “メモリースティック デュオ”以外のメモリーカードは使用できません。
- “メモリースティック PRO デュオ”は“メモリースティック PRO”対応機器でのみ使用可能です。
- “メモリースティック デュオ”本体、“メモリースティック デュオ”アダプターにラベルなどを貼らないでください。
- “メモリースティック デュオ”を“メモリースティック”対応機器で使用する場合、“メモリースティック デュオ”を“メモリースティック デュオ”アダプターに入れてからお使いください。

故障や破損の原因となるため、特にご注意ください。

- 次の部分をつかんで持たないでください。



レンズカバー付き
フード



液晶パネル



内蔵マイク



マイクまたは
マイクホルダー



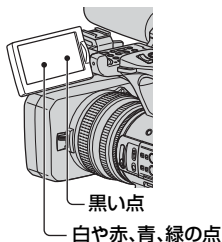
ファインダー

④ ご注意

- 本機は防じん、防滴、防水仕様ではありません。「本機の取り扱いについて」もご覧ください(119ページ)。
- 本機をケーブル類で他機と接続するときは端子の向きを確認して接続してください。無理に押し込むと端子部の破損、または本機の故障の原因になります。

メニュー項目、液晶画面、ファインダーおよびレンズについてのご注意

- 灰色で表示されるメニュー項目は、その撮影/再生条件では使えません(同時に選べません)。
- 液晶画面やファインダーは有効画素99.99%以上の非常に精密度の高い技術で作られていますが、黒い点が現れたり、白や赤、青、緑の点が消えなかったりすることがあります。これは故障ではありません。これらの点は記録されません。



ファインダー、レンズ、および液晶画面を絶対に太陽や強い光源に向けたままにしない

- 特にファインダー、レンズを太陽や強い光源に向けたままにすると、集光により内部部品の破損の原因となります。使用しないときには、太陽や強い光源に向かないように置き場所を工夫するか、レンズカバー、バッグなどを使用して保護してください。

本機やバッテリーの温度に関するご注意

- 本機やバッテリーの温度によっては、カメラを保護するために撮影や再生ができなくなることがあります。この場合は、本機の液晶画面およびファインダーにメッセージが表示されます(110ページ)。

録画/録音に際してのご注意

- 事前にためし撮りをして、正常な録画/録音を確認してください。
- 万一、ビデオカメラレコーダーや記録メディアなどの不具合により記録や再生がされなかった場合、画像や音声などの記録内容の補償については、ご容赦ください。
- あなたがビデオで録画/録音したものは個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。
- 撮像素子(CMOSセンサー)の画像信号を読み出す方法の性質により、撮影条件によっては、画面をすばやく横切る被写体が少しゆがんで見えることがあります。また、動解像度表現に優れたモニタなどでは顕著に見える場合があります。

他機での再生に際してのご注意

HDV規格で記録したテープは、HDV規格に対応していない機器では再生できません。

他機で再生する前に本機で再生して、テープの内容を確認することをおすすめします。

本書で使うマークについて

- HDV1080i** HDV規格だけで使える機能です。
- DVCAM** DVCAM規格だけで使える機能です。
- DV Ⅱ** DV SP規格だけで使える機能です。
- i.LINK** i.LINK接続時に使える機能です。
- AS** ASSIGNボタンに割り当てて使える機能です。

本書について

- 画像の例としてスチルカメラによる写真を使っています。実際に見えるものとは異なります。
- 記録メディアやアクセサリーの仕様および外観は、予告なく変更することがあります。

使用前に必ずお読みください(つづき)

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

目次

使用前に必ずお読みください	2
---------------------	---

準備する

準備 1: 付属品を確認する	8
準備 2: マイクやレンズカバー付きフードを取り付ける	9
準備 3: バッテリーを充電する	12
準備 4: 電源を入れて正しく持つ	15
準備 5: 液晶画面とファインダーを調節する	16
準備 6: 日付時刻を合わせる	18
準備 7: カセットや“メモリースティック デュオ”を入れる	20

撮る / 見る

撮る	22
思い通りの設定で撮る	25
ズームする	25
ピントを手動調節する	26
明るさを調節する	27
自然な色合いに調節する(ホワイトバランス)	31
あらかじめ設定した画質で撮る(ピクチャープロフィール)	32
好みの音に設定する	41
メモリーレコーディングユニットを取り付ける	41
ASSIGN ボタンに機能を設定する	43
インデックス信号を打ち込む	44
最後に撮影した動画を再生する(ラストシーンレビュー)	44
テープを停止した場面を確認する(レックレビュー)	45
最後に録画した場面を頭出しする(エンドサーチ)	45
見る	48
本機の設定を変更 / 確認する	51
画面表示を切り換える	51
再生時に情報を表示する(データコード)	51
本機の設定を確認する(ステータスチェック)	52
バッテリー残量を確認する(バッテリーインフォ)	52
テープの頭出しをする	53
撮影日でテープを頭出しする (日付サーチ)	53
録画の開始位置を探す(インデックスサーチ)	53
テレビにつないで見ると	54

メニューで設定を変更する

メニューの使いかた	60
メニュー一覧	61
 (CAMERA SET)メニュー	64
撮影状況に合わせるための設定(GAIN SETUP/BACK LIGHT/ STEADYSHOT など)	
 (AUDIO SET)メニュー	72
録音に関する設定(DV AU. MODE/XLR SET など)	
 (DISPLAY SET)メニュー	75
画面 / ファインダーの表示設定(MARKER/VF B. LIGHT/DISP OUTPUT など)	
 (IN/OUT REC)メニュー	79
録画、入出力に関する設定(REC FORMAT/HDV PROGRE./VIDEO OUT/EXT REC CTRL など)	
 (TC/UB SET) メニュー	83
(TC PRESET/UB PRESET/TC LINK など)	
 (MEMORY SET)メニュー	86
"メモリースティック デュオ"に関する設定(ALL ERASE/FORMAT など)	
 (OTHERS)メニュー	87
テープ撮影時の設定や、各種基本設定(QUICK REC/BEEP など)	

ダビングや編集をする

他のビデオ、DVD/HDD レコーダーにダビングする	91
ビデオの画像を本機で録画する	95
テープの動画をパソコンに取り込む	97
静止画をパソコンに取り込む	100

困ったときは

故障かな?と思ったら	101
警告表示とお知らせメッセージ	110

その他

海外で使う	111
使用上のご注意とお手入れ	112
HDV 規格と記録・再生について	112
DVCAM/DV 規格の互換性について	114
“メモリースティック”について	115
InfoLITHIUM(インフォリチウム)バッテリーについて	117
i.LINK(アイリンク)について	118
x.v.Color(エックスブイ・カラー)について	119
本機の取り扱いについて	119
主な仕様	122
保証書とアフターサービス	124

各部のなまえ・索引

各部のなまえ	125
ファインダーと液晶画面の表示	131
索引	134

準備する

準備 1: 付属品を確かめる

箱を開けたら、付属品がそろっているか確認してください。万一、不足の場合はお買い上げ店にご相談ください。

()内は個数。

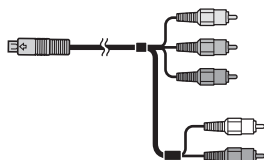
- ビデオカセット、“メモリースティック デュオ”、リチャージャブルバッテリーパック、ACアダプター/チャージャーは別売です。本機で使えるカセットテープと“メモリースティック デュオ”については2ページ、112ページ、115ページをご覧ください。

ワイヤレスリモコン(RMT-831)(1)(130ページ)



ボタン型リチウム電池があらかじめ取り付けられています。

コンポーネントA/Vケーブル(1)(54ページ)



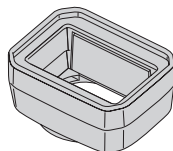
A/V接続ケーブル(1)(59, 91ページ)



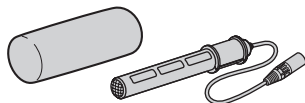
大型アイカップ(1)(17ページ)



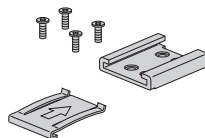
レンズカバー付きフード(1)(10ページ)
本機にあらかじめ取り付けられています。



ウインドスクリーン(1)、マイク(ECM-XM1)(1)(9ページ)



アクセサリシューキット(アクセサリシュー(1)、シューバネ(1)、ネジ(4))(125ページ)



接続コード(DK-415)(1)(14ページ)

CD-ROM 「Manuals for Digital HD Video Camera Recorder」(1)

取扱説明書 (2)

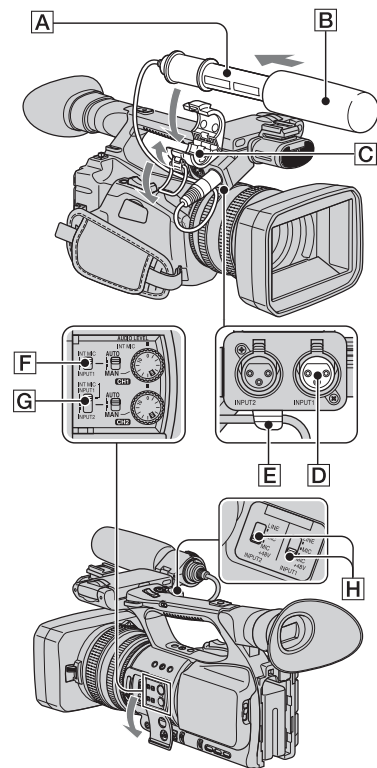
保証書(1)

ソニー業務用商品相談窓口のご案内(1)

準備 2: マイクやレンズカバー付きフードを取り付ける

マイクを取り付ける

付属のマイク(ECM-XM1)を使って音声を記録するときは、次の手順を行ってください。

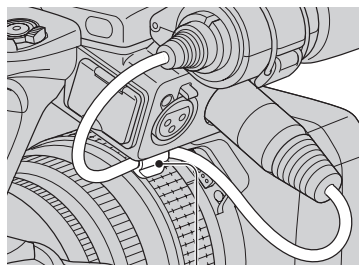


1 付属のマイク[A]にウインドスクリーン[B]をかぶせる。

2 マイク[A]を、型名が上になるようにマイクホルダー[C]に取り付ける。

3 マイクケーブルをINPUT1端子[D]につなぐ。

4 図のように、マイクケーブルをケーブルホルダー[E]に取り付ける。



外側のホルダーに取り付ける。

5 CH1(INT MIC/INPUT1)スイッチ[F]とCH2(INT MIC/INPUT1/INPUT2)スイッチ[G]で使用する入力音声を選ぶ。

記録されるチャンネルについては下表をご覧ください。

CH1スイッチが「INT MIC」のとき

CH2の設定 入力状態	
INT MIC	内蔵マイク(L) ●→ CH1
	内蔵マイク(R) ●→ CH2*
INPUT1	内蔵マイク (モノラル) ●→ CH1
	XLR INPUT1 ●→ CH2**
INPUT2	内蔵マイク (モノラル) ●→ CH1
	XLR INPUT2 ●→ CH2**

準備 2: マイクやレンズカバー付きフードを取り付ける(つづき)

CH1スイッチが「INPUT1」のとき

CH2の設定 入力状態

INT MIC	XLR INPUT1	●→ CH1
	内蔵マイク (モノラル)	●→ CH2**
INPUT1	XLR INPUT1	●→ CH1 ●→ CH2**
INPUT2	XLR INPUT1	●→ CH1
	XLR INPUT2	●→ CH2**

* 内蔵マイクのみを使用しているとき、録音レベルはCH1とCH2で連動します。CH1のAUDIO LEVELダイヤルとAUTO/MANスイッチの設定がCH2にも有効になります。

**CH1とCH2の録音レベルを別々に調節できます。

6 INPUT1スイッチ[H]をINPUT1端子[D]に接続したマイクに適した位置に設定する。

LINE: オーディオ機器の音声を入力するとき

MIC: +48V電源に対応していない外部マイクの音声を入力するとき

MIC+48V: 付属マイクなどの+48V電源対応機器などの音声を入力するとき

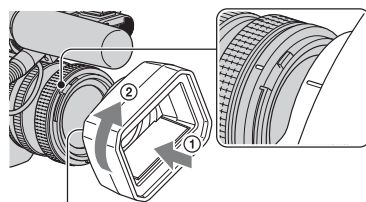
INPUT2端子にマイクを接続したときは、INPUT2スイッチをマイクに適した位置に設定してください。

「MIC+48V」のままで使用すると、接続したマイクが故障したり、録音された音声に不具合が生じたりすることがあります。

💡ちょっと一言

- マイク音量調節は41ページをご覧ください。

レンズカバー付きフードを取り付ける



PUSH(レンズフード取りはずし)ボタン

本体とフードの印を合わせて、矢印②の方向に回す。

レンズカバー付きフードを取りはずすには

PUSH(レンズフード取りはずし)ボタンを押しながら、取り付け方向と反対方向に回す。

💡ちょっと一言

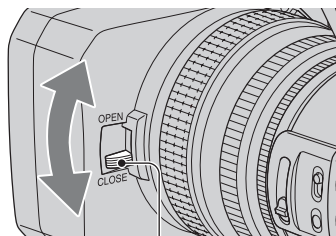
- 直径72ミリの偏光フィルターや保護フィルターを取り付けたり取りはずしたりするとき、レンズカバー付きフードを取りはずしてください。

🔔 ご注意

- INPUT1/INPUT2端子に付属マイクなどの+48V電源対応機器を接続するときは、INPUT1/INPUT2スイッチを「MIC」にしてから接続してください。機器をはずすときも、「MIC」にしてからはずしてください。
- INPUT1/INPUT2端子に+48V電源に対応していないマイクを接続するときは、INPUT1/INPUT2スイッチを「MIC」にしてください。

レンズカバーを開閉するには

開閉するにはレンズカバーレバーを上下に動かす。



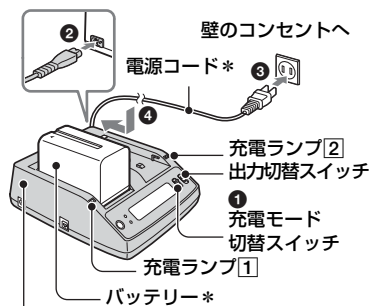
レンズカバーを開けるときはレンズカバーレバーを「OPEN」に、閉じるときは「CLOSE」に動かす。

準備 3: バッテリーを充電する

別売りのアクセサリキットの取扱説明書もあわせてご覧ください。
専用の“インフォリチウム”バッテリー(Lシリーズ)をACアダプター/チャージャーに取り付けて充電します。

● ご注意

- “インフォリチウム”バッテリー(Lシリーズ)
(117ページ)以外のバッテリーは使えません。



ACアダプター/チャージャー

AC-VQ1051D*

* 別売りのACCKIT-D12Bに付属

- 1 出力切替スイッチをCHARGEに、充電モード切替スイッチを「NORMAL CHARGE」(実用充電)または「FULL CHARGE」(満充電)にする。

- 2 電源コードをACアダプター/チャージャーにつなぐ。

- 3 電源コードをコンセントにつなぐ。

- 4 バッテリーを押しながら、矢印の方向にずらして取り付ける。

充電ランプが点灯し、充電が始まります。

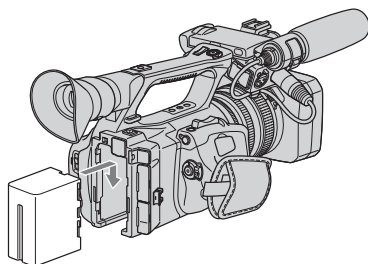
充電について

充電モード切替スイッチを「NORMAL CHARGE」にすると実用充電まで、「FULL CHARGE」にすると若干長く使える満充電まで充電します。充電が終わると表示窓のバッテリーマーク()がすべて点灯します。

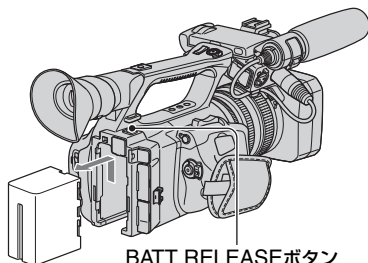
● ちょっと一言

- バッテリーインフォでバッテリー残量を確認できます(52ページ)。

本機にバッテリーを取り付けるには
バッテリーを押しながら、下にずらして取り付ける。



バッテリーを取りはずすには
POWERスイッチを「OFF」にする。BATT RELEASEボタンを押しながら、バッテリーを取りはずす。



保管するときは

長い間使わないときは、バッテリーを使い切ってから保管してください。(保管について詳しくは117ページをご覧ください。)

充電時間

ACアダプター/チャージャーの取扱説明書を参照してください。

撮影可能時間

満充電からのおよその時間(分)。

● ご注意

- NP-F330はご使用できません。

HDV規格で撮影したとき

バッテリー-型名	連続撮影時	実撮影時*
NP-F770	260	130
	265	130
NP-F970	390	195
	395	195

DVCAM(DV) 規格で撮影したとき

バッテリー-型名	連続撮影時	実撮影時*
NP-F770	270	135
	280	140
NP-F970	400	200
	415	205

上段:液晶画面バックライトが「ON」のとき

下段:液晶画面を閉じてファインダーを使用したとき

* 実撮影時とは、録画スタンバイ、POWERスイッチの切り換え、ズームなどを繰り返したときの時間です。

再生可能時間

満充電からのおよその時間(分)。

HDV規格の画像を再生したとき

バッテリー-型名	液晶画面で再生*	液晶画面を閉じて再生
NP-F770	355	370
NP-F970	530	555

DVCAM(DV) 規格の画像を再生したとき

バッテリー-型名	液晶画面で再生*	液晶画面を閉じて再生
NP-F770	375	390
NP-F970	570	595

* 液晶画面/バックライトが「ON」のとき

バッテリーについて

- バッテリーの交換は、POWERスイッチを「OFF」にしてから行ってください。
- 次のとき、バッテリーインフォ(52ページ)が正しく表示されないことがあります。
 - バッテリーを正しく取り付けしていないとき
 - バッテリーが故障しているとき
 - バッテリーが劣化しているとき
- メモリーレコーディングユニット(別売り)を取り付けたときは、バッテリーNP-F970のご使用をおすすめします。

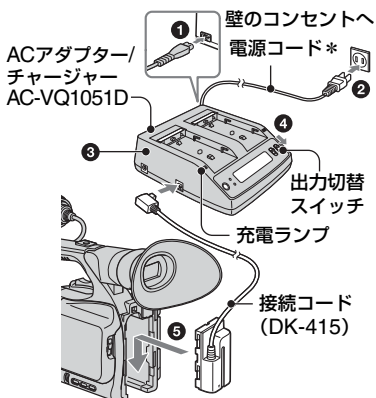
充電/撮影/再生時間について

- 25℃(10℃～30℃が推奨)で使用したときの時間です。
- 低温の場所で使うと、撮影/再生可能時間はそれぞれ短くなります。
- 使用状態によって、撮影/再生可能時間が短くなります。

準備3:バッテリーを充電する(つづき)

コンセントにつないで使うには

バッテリーが切れることを心配しないで使えます。



* 別売りのACCKIT-D12BIに付属

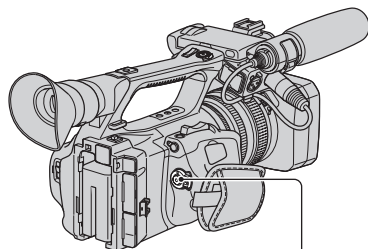
- ① 電源コードをACアダプター/チャージャーにつなぐ。
- ② 電源コードをコンセントにつなぐ。
- ③ 接続コード(DK-415)をACアダプター/チャージャーにつなぐ。
- ④ ACアダプター/チャージャーの出力切替スイッチを「VCR/CAMERA」側にする。
- ⑤ 接続コード(DK-415)の取り付け部を、本機のバッテリー取り付け部に押しながら、下にずらして取り付ける。

ACアダプター/チャージャーについて

- ACアダプター/チャージャーは手近なコンセントを使用してください。本機を使用中、不具合が生じたときはすぐにコンセントからプラグを抜き、電源を遮断してください。
- ACアダプター/チャージャーを壁との隙間などの狭い場所に設置して使用しないでください。
- ACアダプター/チャージャーのDCプラグやバッテリー端子を金属類でショートさせないでください。故障の原因になります。

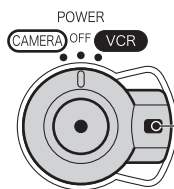
準備 4:電源を入れて正しく持つ

撮影や再生時は、POWERスイッチをそれぞれの電源モードに切り換えます。
初めて電源を入れると自動的に[CLOCK SET]画面になります(18ページ)。



POWERスイッチ

1 緑のボタンを押しながら、POWERスイッチを切り換える。



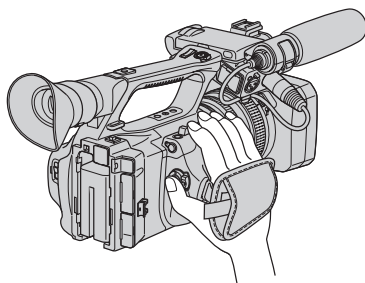
「OFF」から電源を入れるときは、押しながら矢印の方向へずらす。

「CAMERA」:撮影時
「VCR」:再生や編集時

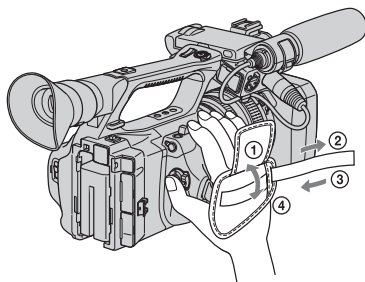
⚠ ご注意

- [CLOCK SET] (18ページ)を行った後で本機の電源を入れると、液晶画面に現在の日時が数秒間表示されます。

2 本機を正しく構える。



3 ベルトをしっかりと締める。



電源を切るには

緑のボタンを押しながら、POWERスイッチを「OFF」にする。

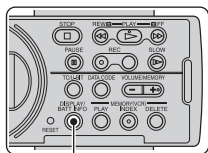
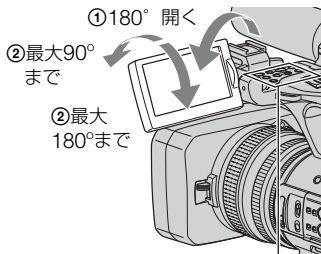
⚠ ご注意

- お知らせメッセージが表示されたときは、その指示に従ってください。

準備 5: 液晶画面とファインダーを調節する

液晶画面を見やすく調節する

液晶画面を180°に開ききった状態(①)で、見やすい角度に調節する(②)。



DISPLAY/BATT INFO
ボタン

💡ちょっと一言

- 対面撮影にも活用できます。液晶画面には左右反転で映りますが、実際には左右正しく録画されます。

液晶画面バックライトを消してバッテリーを長持ちさせるには

DISPLAY/BATT INFOボタンを $\square_{\text{OFF}}$ が表示されるまで数秒間押したままにする。明るい場所で使うときや、バッテリーを長持ちさせるときに効果的です。録画される画像には影響ありません。

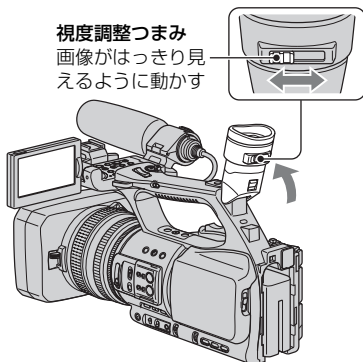
解除するにはもう一度 $\square_{\text{OFF}}$ が消えるまで押したままにする。

💡ちょっと一言

- 液晶画面の明るさは、[LCD BRIGHT] (78ページ)で調節できます。

ファインダーを見やすく調節する

視度調整つまみ
画像がはっきり見えるように動かす



📌ご注意

- ビューファインダー内で視線を動かした場合などに原色が見えることがありますが、故障ではありません。
また、原色が実際に記録メディアに記録されることはありません。

💡ちょっと一言

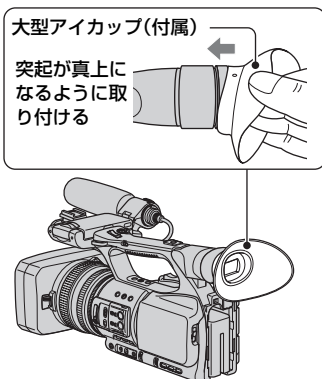
- ファインダーのバックライトの明るさは、メニューの[VF B. LIGHT]で設定できます(78ページ)。
- 液晶画面とファインダーの両方に画像を映すには、[VF POWERMODE]を[ON]にします(78ページ)。
- ファインダーの画像を白黒にするには、[VF COLOR]を[OFF]にします(78ページ)。

ファインダーの画像が見えにくいときは

周囲が明るすぎるなど、ファインダーの画像が見えにくいときは、付属の大型アイカップをお使いください。大型アイカップを少し伸ばし、本体に装着されているアイカップの溝に合わせて大型アイカップを取り付けます。大型アイカップは左右のどちらの向きでも取り付けることができます。

⚠ ご注意

- 本体にあらかじめ装着されているアイカップは取りはささないでください。

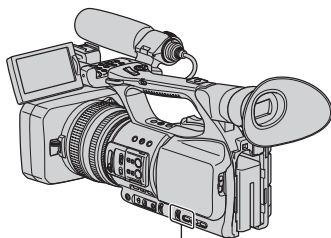


準備 6: 日付時刻を合わせる

初めて電源を入れたときは日付、時刻を設定してください。設定しないと、電源を入れたり、POWERスイッチを切り換えるたびに[CLOCK SET]画面が表示されます。

☝ちょっと一言

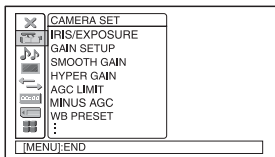
- 3か月近く使わないでくと内蔵の充電式電池が放電して、日付、時刻の設定が解除されます。充電式電池を充電してから設定し直してください(121ページ)。



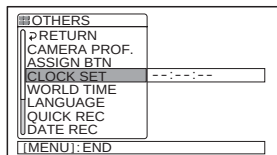
SEL/PUSH EXEC MENUボタン
ダイヤル

初めて時計を合わせるときは、手順4から操作してください。

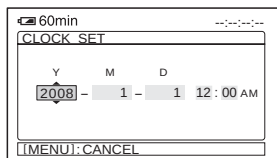
1 MENUボタンを押す。



2 SEL/PUSH EXECダイヤルを回して [OTHERS] (OTHERS)メニューを選び、押して決定する。

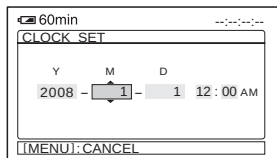


3 SEL/PUSH EXECダイヤルを回して[CLOCK SET]を選び、押して決定する。



4 SEL/PUSH EXECダイヤルを回して[Y]を選び、押して決定する。

2079年まで設定できます。



5 同様に、[M]、[D]、時、分を合わせ、SEL/PUSH EXECダイヤルを押して決定する。

時計が動き始めます。

真夜中は12:00AM、正午は12:00PMです。

💡ちよつと言

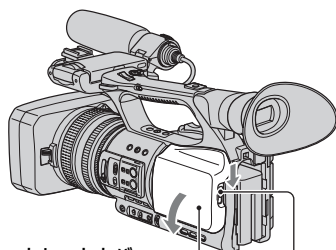
- 日付時刻は自動的にテープに記録され、再生時に表示させることができます (DATA CODEボタン、51ページ)。

準備 7: カセットや“メモリースティック デュオ”を入れる

カセットを入れる

使えるカセットや誤消去防止方法など、カセットについて詳しくは、112ページをご覧ください。

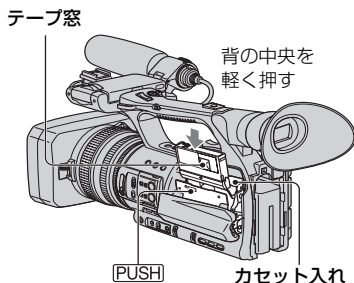
- 1 「OPEN/EJECT」つまみを矢印の方向にずらしたまま、カセットカバーを開ける。



「OPEN/EJECT」つまみ

カセット入れが自動的に出て開きます。

- 2 テープ窓を外側にして、カセットを入れ、**[PUSH]** マークを押す。



カセット入れが自動的に収納されます。

⑥ ご注意

- カセット入れが引き込まれているときに **[DO NOT PUSH]** の刻印部分を押さないでください。無理に押し込むと故障の原因になります。

3 カセットカバーを手で閉める。

※ちょっと一言

- [DV REC MODE]によって、録画可能時間は異なります(81ページ)。**DVCAM DV 型**

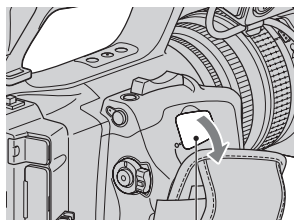
カセットを取り出すには

手順1と同じ操作でカセットカバーを開けて、カセットを取り出す。

“メモリースティック デュオ”を入れる

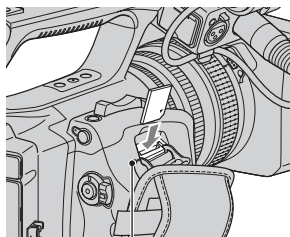
MEMORY STICK Duo、MEMORY STICK PRO Duo、MEMORY STICK PRO-HG Duo マーク付き“メモリースティック デュオ”のみ使えます(115ページ)。

- 1 “メモリースティック デュオ”スロットカバーを開ける。



“メモリースティック デュオ”スロットカバー

2 “メモリースティック デュオ”を正しい向きに、「カチッ」というまで押し込む。



アクセスランプ

⚠ ご注意

- 誤った向きで無理に入れると、“メモリースティック デュオ”や“メモリースティック デュオ”スロット、画像データが破損することがあります。

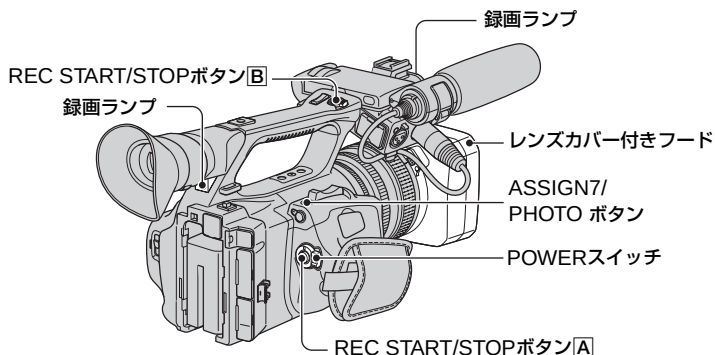
“メモリースティック デュオ”を取り出すには

“メモリースティック デュオ”を軽く1回押して取り出す。

⚠ ご注意

- アクセスランプの点灯中や点滅中は、データの読み込みや書き込みを行っています。本機に振動や強い衝撃を与えないでください。また、電源を切ったり、“メモリースティック デュオ”やバッテリーを取りはずしたりしないでください。画像データが壊れることがあります。
- 出し入れ時には“メモリースティック デュオ”の飛び出しにご注意ください。

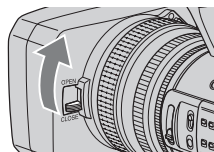
撮る



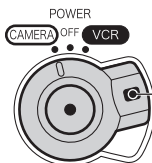
本機は動画をテープに、静止画を“メモリースティック デュオ”に記録します。下記の手順で動画を撮影します。

- 動画はHDV、DVCAM、DVいずれの録画フォーマットでも記録できます。お買い上げ時はHDV規格で撮影するように設定されています ([REC FORMAT], 79ページ)。

1 レンズカバー付きフードのシャッターを開ける。

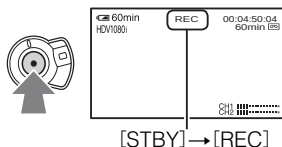


2 緑のボタンを押しながら、POWERスイッチを「CAMERA」にする。



「OFF」から電源を入れるときのみ、押しながら矢印の方向へずらす。

3 REC START/STOPボタン[A] (または[B])を押して撮影を始める。



撮影中は録画ランプが点灯します。

動画撮影を止めるには、REC START/STOPボタンをもう一度押す。

👉ちよつと言

- HDV規格撮影時は、画像の横縦比は16:9に固定されます。DVCAM(DV) 規格で録画するときは、4:3に切り換えることもできます([DV WIDE REC]、81ページ)。
- 撮影中の画面表示の切り換えについては51ページをご覧ください。
- 撮影中の画面表示については131ページをご覧ください。
- 録画ランプが点灯しないように設定できます([REC LAMP[F]], [REC LAMP[R]]、89ページ)。
- “メモリースティック デュオ”に動画録画はできません。
- ローアングルで撮るときは、ハンドル部のREC START/STOPボタンを使うと便利です。HOLDレバーを解除してから、操作してください。液晶画面を上に向ける、または液晶画面を下に向けてから閉じる、あるいはビューファインダーを上げて撮影することをおすすめします。

静止画を撮るには

- ① ASSIGN7/PHOTOボタンに[PHOTO]を割り当てる(43ページ)。
- ② ASSIGN7/PHOTOボタン、またはリモコンのPHOTOボタンを押す。
“メモリースティック デュオ”に静止画が記録されます。|||||||が消えると記録が完了します。
動画撮影中も静止画撮影できます。

👉ちよつと言

- 撮影中の画面については131ページをご覧ください。
-  (OTHERS)→[ASSIGN BTN]で[PHOTO]を別のASSIGNボタンに割り当て、PHOTOボタンとして使うこともできます。

“メモリースティック デュオ”の容量(MB)と撮影可能枚数(枚)

	1.2M 1440× 810	0.9M 1080× 810	VGA 640× 480	0.2M 640× 360
512MB	760	1000	2850	3600
1GB	1550	2100	5900	7300
2GB	3150	4300	12000	15000
4GB	6300	8500	23500	29500
8GB	12500	17000	48000	60000
16GB	25500	34500	97500	122000

👉ご注意

- ソニー製“メモリースティック デュオ”使用时、枚数は撮影環境や“メモリースティック”の種類によって異なる場合があります。
- 以下のときは、静止画記録できません。
 - [SCAN TYPE]の設定が[24]または[24A]で、シャッタースピードが1/48より遅いとき(80ページ)
 - [SCAN TYPE]の設定が[60]または[30]で、シャッタースピードが1/60より遅いとき(81ページ)
 - フェーダー中
 - [SMTH SLW REC]中
 - ショットトランジション確認、実行中
- ソニー独自のクリアビットCMOSセンサーの画素配列と画像処理システム、エンハンスドイメーシングプロセッサにより、静止画は表記の記録サイズを実現しています。

👉ちよつと言

- 静止画の画像サイズは以下のとおりです。
 - HDV規格/DVCAM(DV) 規格(16:9)撮影時: 1.2M
 - DVCAM(DV) 規格(4:3) 撮影時: 0.9M
 - HDV規格再生時: 1.2M
 - DVCAM(DV) 規格(16:9)再生時: 0.2M
 - DVCAM(DV) 規格(4:3)再生時: VGA

テープに録画した動画を“メモリースティック デュオ”に静止画として記録するには

静止画を“メモリースティック デュオ”に記録できます。あらかじめ録画済みのテープと“メモリースティック デュオ”を入れておいてください。

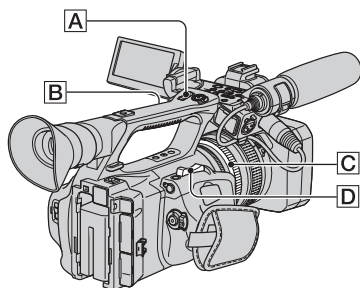
- ① ASSIGN7/PHOTOボタンに[PHOTO]を割り当てる(43ページ)。
- ② POWERスイッチを「VCR」にする。
- ③ 場面を探して、取り込む。
▶(再生)を押してテープを再生し、取り込む場でASSIGN7/PHOTOボタン、またはリモコンのPHOTOボタンを押す。

📌ご注意

- テープに記録した日時と“メモリースティック デュオ”に記録した日時の両方が記録されます。本機で再生したときの日時表示はテープに記録したときの日時が表示されます(データコード、51ページ)。
- テープに記録されているカメラデータは、記録されません。
- [PB ZOOM]を使用中は、記録できません(89ページ)。

思い通りの設定で撮る

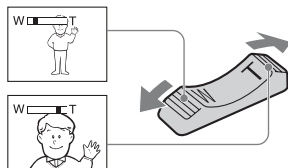
ズームする



ズームレバーを使うには

ズームレバー[D]を軽く動かすとゆっくり、さらに動かすと速くズームします。

広角:Wide(ワイド)



望遠:Telephoto(テレフォト)

💡ちょっと一言

- ピント合わせに必要な被写体との距離は、広角は約1cm以上、望遠は約80cm以上です。
- 被写体との距離が80cm以内の被写体は、ズーム位置によってはピントが合わないことがあります。
- [FOCUS MACRO]が[OFF]のときは、ズーム位置によらず、80cm以内の被写体にはピントが合いません(68ページ)。
- ズームレバー[D]から指を離さずに操作してください。指を離すとズームレバー[D]の操作音が記録されることがあります。
- ズームレバー[D]やハンドルズームレバー[A]のズーム駆動速度を速くすることもできます([SPEED ZOOM], 68ページ)。

ハンドルズームを使うには

- ① ハンドルズームスイッチ[B]を「VAR」または「FIX」にする。

💡ちょっと一言

- 「VAR」にすると押し具合によってズームスピードが変化します。
- 「FIX」にすると押し具合に関わらず固定スピードで動きます(スピードはメニューで設定します。[HANDLE ZOOM], 68ページ)。

- ② ハンドルズームレバー[A]を押してズームする。

⚠️ご注意

- ハンドルズームスイッチ[B]が「OFF」になっていると、ハンドルズームは使えません。
- ハンドルズームスイッチ[B]で本体のズームレバー[D]の速さを変えることはできません。

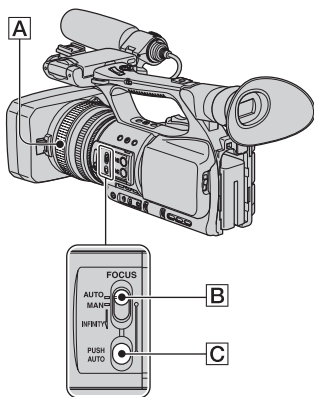
ズームリングを使うには

ズームリング[C]を回して好みの速さでズームすることができます。微調整も可能です。

⚠️ご注意

- ズームリング[C]は適度な速さで回してください。速すぎると、ズームリング[C]の回転に追いつかないことがあります。また、ズームの駆動音が動画に記録されることがあります。

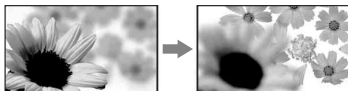
ピントを手動調節する



撮影状況に応じて、手動でピント合わせができます。

以下のようなときに使います。

- 水滴の付いた窓の向こうの被写体
- 横じまの多い被写体
- 背景とコントラストの弱い被写体
- 意図的にピントを手前の被写体から奥の被写体に送るとき



- 三脚で撮影する静止した被写体

1 撮影またはスタンバイ中に、FOCUSスイッチ[B]を「MAN」にする。

☑が表示されます。

2 フォーカスリング[A]を回し、ピントが合うように調節する。

☑は、ピントをそれ以上遠くに合わせられないとき▲に変わり、それ以上近くに合わせられないとき■に変わります。

💡ちょっと一言

ピント合わせのコツ

- 始めにズームをT側(望遠)でピントを合わせてから、W側(広角)に戻していきます。
- 接写時は、逆にズームをW側(広角)いっぱいにしてピントを合わせます。

自動調節にするには

FOCUSスイッチ[B]を「AUTO」にする。
☑が消え自動調節に戻ります。

一時的にオートフォーカスで撮る (プッシュオートフォーカス)

PUSH AUTOボタン[C]を押したまま撮影する。

指を離すと手動ピント合わせに戻ります。手動ピント合わせで、ある被写体から別の被写体にピントを移すようなときに使うと、なめらかな場面展開になります。

💡ちょっと一言

- 次のとき、フォーカス距離情報(ピントが合う距離。暗くてフォーカスが合わせにくいときに目安として使用します)を約3秒間表示します。(別売りのコンバージョンレンズを付けているときは正しく表示されません。)
- FOCUSスイッチ[B]を「MAN」にして☑を表示させたとき
- ☑表示中にフォーカスリングを回したとき

拡大表示をしてピントを合わせる (拡大フォーカス)

あらかじめ、ASSIGNボタンに[EXP.FOCUS]を割り当てておいてください(43ページ)。
スタンバイ中に[EXP.FOCUS]を割り当てたASSIGNボタンを押す。
[EXPANDED FOCUS]が表示され、画面中央が約2.0倍に拡大されます。ピントが合っているかを確認するときに便利です。もう一度押すと元に戻ります。

●ご注意

- 拡大表示中に録画をスタートすると、拡大表示は解除されます。

🗨️ちょっと一言

- 拡大フォーカス時の画像タイプを選択できます([EXP.FOCUS TYPE]、77ページ)。

遠くの被写体にピントを合わせる (フォーカス無限)

FOCUSスイッチ[B]を「INFINITY」までスライドさせたままにする。

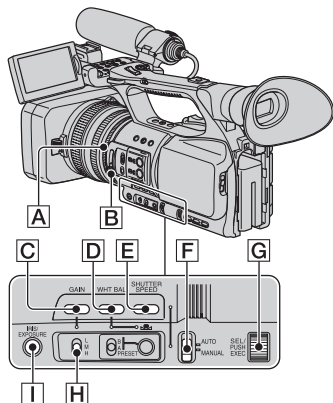
▲が表示されます。

指を離すと手動ピント合わせに戻ります。
遠くの被写体を撮りたいのに、近くの被写体にピントが合ってしまうときに使います。

●ご注意

- フォーカス無限は、ピントを手動調節中のみ有効です。ピントを自動調節しているときは働きません。

明るさを調節する



アイリス、ゲイン、シャッタースピードを調節したり、NDフィルター[B]を使って光量を調節したりして、明るさを調節できます。また、カメラ明るさ調節機能を使えば、アイリス、ゲイン、シャッタースピードをアイリスリング[A]で調節できます。アイリスリング[A]で調節できる機能を📷(CAMERA SET)メニューで[IRIS](お買い上げ時の設定)、[EXPOSURE]から選びます(64ページ)。

●ご注意

- アイリス、ゲイン、シャッタースピードのうち2つ以上が手動設定のとき[BACK LIGHT]や[SPOTLIGHT]は[OFF]になります。
- [AE SHIFT]はアイリス、ゲイン、シャッタースピードのすべてを手動調節していると効果はありません。

アイリスを調節する

レンズに入る光量をF 1.6～F 11、クローズの範囲で調節できます。絞りを開く(アイリス値を小さくすると)と光量が増えます。絞りを閉じる(アイリス値を大きくすると)、光量が減ります。

思い通りの設定で撮る(つづき)

画面にアイリス値が表示されます。

- ①  (CAMERA SET)メニュー → [IRIS/EXPOSURE] → [RING ASSIGN] → [IRIS]を選ぶ(64ページ)。
- ② 撮影またはスタンバイ中に、AUTO/MANUALスイッチ[F]を「MANUAL」にする。
- ③ アイリスが自動調節になっているときは、IRIS/EXPOSUREボタン[I]を押す。
アイリス値が表示されます。または、アイリス値の横の  が消えます(77ページ)。
- ④ アイリスリング[A]を回して調節する。
ASSIGNボタンに[PUSH AT IRIS]を割り当てると、そのASSIGNボタンを押している間は、アイリスが自動調節されます。ASSIGNボタンについては、43ページをご覧ください。

💡ちょっと一言

- アイリス値をF3.4よりも絞りを開いた(アイリス値が小さい)値(例:F1.6)に設定してもズームがW→TになるにつれてアイリスはF3.4に変化します。
- 絞りの重要な効果であるピントの合う範囲のことを「被写界深度」といいます。被写界深度は絞りを開けると浅く(ピントの合う範囲が狭く)なり、絞りを閉じると深く(ピントの合う範囲が広く)なります。撮影の意図によって絞りの効果を上手に使い分けてください。
- 背景をぼかせたり、くっきりさせたりしたいときに便利です。

自動調節にするには

IRIS/EXPOSUREボタン[I]を押す。または、AUTO/MANUALスイッチ[F]を「AUTO」にする。
アイリス値が消えます。または、アイリス値の横に  が表示されます。

📌ご注意

- AUTO/MANUALスイッチ[F]を「AUTO」にすると、他の手動調節(ゲイン、シャッタースピード、ホワイトバランス)も解除されます。

カメラ明るさを調節する

カメラ明るさ調節では、画像の明るさをアイリス、ゲイン、シャッタースピードで調節できます。

シャッタースピードを任意の値に設定し、アイリス、ゲインのみで調節したり、ゲインを任意の値に設定し、アイリス、シャッタースピードのみで調節したりすることもできます。

- ①  (CAMERA SET)メニュー → [IRIS/ EXPOSURE] → [RING ASSIGN] → [EXPOSURE]を選ぶ(64ページ)。
- ② 撮影またはスタンバイ中に、AUTO/MANUALスイッチ[F]を「MANUAL」にする。
- ③ カメラ明るさが自動調節になっているときは、IRIS/EXPOSUREボタン[I]を押す。
画面にアイリス、ゲイン、シャッタースピードと  が表示され、カメラ明るさがアイリスリング[A]で調節できるようになります。
 が表示されていないときは、以下の操作を行えば  が表示され、アイリスリング[A]での操作が可能になります。
 - － ゲインの場合
GAINボタン[G]を押す。
 - － シャッタースピードの場合
SHUTTER SPEEDボタン[E]を2回押す。シャッタースピードが固定されていないときは1回押す。
- ④ アイリスリング[A]を回して、好みの明るさ設定にする。

ASSIGNボタンに[PUSH AT IRIS]を割り当てると、そのASSIGNボタンを押している間は、カメラ明るさが自動調節されます。ASSIGNボタンについては、43ページをご覧ください。

自動調節にするには

IRIS/EXPOSUREボタン I を押す。または、AUTO/MANUALスイッチ F を「AUTO」にする。

E が表示されていた機能の設定値が消えます。または、 E が表示されていた機能の横に A が表示されます。

④ご注意

- AUTO/MANUALスイッチ F を「AUTO」にすると、他の手動調節(ゲイン、シャッタースピード、ホワイトバランス)も解除されます。

⑤ちょっと一言

- ゲイン値の横に E が表示されているときに、GAINボタン C を押すと、ゲインを任意に変更できます。もう一度押すと、 E が表示され、カメラ明るさ調節に戻ります。ゲインの変更については、「ゲインを調節する」の手順②をご覧ください(29ページ)。
- シャッタースピード値の横に E が表示されているときに、SHUTTER SPEEDボタン E を押すと、シャッタースピードの横に表示されている E が消え、シャッタースピードを任意に変更できます。もう一度押すと、 E が表示され、カメラ明るさ調節に戻ります。シャッタースピードの変更については、「シャッタースピードを調節する」の手順③、④をご覧ください(29ページ)。

ゲインを調節する

AGC(オートゲインコントロール)によるゲインアップを行いたくないときなどに使います。

- ① 撮影またはスタンバイ中に、AUTO/MANUALスイッチ F を「MANUAL」にする。
- ② ゲインが自動調節になっているときは、GAINボタン C を押す。
ゲイン値の横の A が消えます。または、ゲイン値が表示されます。
- ③ ゲインスイッチ H でH/M/Lを選択する。
設定されたゲイン値が表示されます。
H/M/Lの値は、 CAMERA SET メ

ニューの[GAIN SETUP]でそれぞれ設定します(64ページ)。

自動調節にするには

GAINボタン C を押す。または、AUTO/MANUALスイッチ F を「AUTO」にする。
ゲイン値が消えます。または、ゲイン値の横に A が表示されます。

④ご注意

- AUTO/MANUALスイッチ F を「AUTO」にすると、他の手動調節(アイリス、シャッタースピード、ホワイトバランス)も解除されます。

⑤ちょっと一言

- ゲインを[-6dB]に設定して録画した場合、再生時にデータコード表示をすると、ゲインは「---」表示となります。

シャッタースピードを調節する

シャッタースピードを自由に調節し、固定できます。被写体の動きを止めたり、逆に流動感を強調して撮影するときに便利です。

- ① 撮影またはスタンバイ中に、AUTO/MANUALスイッチ F を「MANUAL」にする。
- ② シャッタースピード値が反転表示されるまで、SHUTTER SPEEDボタン E を押す。
- ③ SEL/PUSH EXECダイヤル G を回して、シャッタースピードを調節する。
1/4秒~1/10000秒、または拡張クリアスキャン(ECS)から選べます。
シャッタースピードが画面に表示されます。例えば、1/100秒のときは[100]と表示されます。画面上の数値が大きくなるほどシャッタースピードが速くなります。
- ④ SEL/PUSH EXECダイヤル G を押して、シャッタースピードを固定する。
再度変更したい場合は、手順②から④を行います。

思い通りの設定で撮る(つづき)

🗨️ちよっと一言

- 以下のときは、シャッタースピードを1/3～1/10000秒の範囲で設定できます。
 - [HDV PROGRE.]→[SCAN TYPE]が[24]、[24A]のとき
 - [DV PROGRE.]→[SCAN TYPE]が[24]のとき
- シャッタースピードが遅いと、自動でピントが合いにくくなります。三脚などに固定して、手動でピントを合わせることをおすすめします。
- 蛍光灯、ナトリウム灯、水銀灯などの放電管による照明下で撮影すると、画面が明滅したり(フリッカー現象)、色が変わったりすることがあります。このようなときは、シャッタースピードを関東地方など50Hzの地域では1/100、関西地方など60Hzの地域では1/60に設定することをおすすめします。また、拡張クリアスキャン(**ECS**)で設定できるシャッタースピードによっても、フリッカー現象を防ぐことができます([ECS FREQ.]、66ページ)。
- モニター画面を、水平方向の縞模様が出ないように走査したい場合、拡張クリアスキャン(**ECS**)を選びます。拡張クリアスキャンでのシャッタースピードは、 (CAMERA SET)メニューの[ECS FREQ.]で設定することができます(66ページ)。

自動調節にするには

シャッタースピード固定状態からSHUTTER SPEEDボタン**[E]**を2回押す。または、AUTO/MANUALスイッチ**[F]**を「AUTO」にする。シャッタースピード値が消えます。または、シャッタースピード値の横に**A**が表示されます。

📌ご注意

- AUTO/MANUALスイッチ**[F]**を「AUTO」にすると、他の手動調節(アイリス、ゲイン、ホワイトバランス)も解除されます。

光量を調節する(NDフィルター)

撮影状況が明るすぎるときは、NDフィルター**[B]**を使うと被写体を鮮明に撮影できます。

NDフィルター1は光量を約1/4に、NDフィルター2は約1/16に、NDフィルター3は約1/64に削減するようにそれぞれ設定されています。

アイリスを自動調節しているとき、**N₁/4**が点滅したときは、NDフィルター1に、**N₂/16**が点滅したときはNDフィルター2に、**N₃/64**が点滅したときはNDフィルター3にする。

NDフィルター表示が点滅から点灯に変わります。

ND_{CLR}OFFが点滅したときは、ND フィルタースイッチ**[B]**を「OFF」にしてください。NDフィルター表示が消えます。

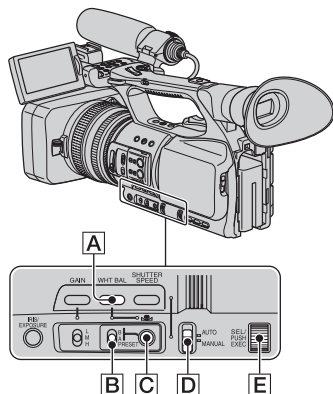
📌ご注意

- 撮影中にNDフィルター**[B]**を切り換えると、画像が乱れたり音声にノイズが入ることがあります。
- アイリスを手動で調節しているときは、NDフィルターの設定が必要な場合でも、NDフィルターの点滅表示が出ません。

🗨️ちよっと一言

- 明るい被写体を撮影するとき、アイリスを極端に絞ると回折現象が生じピントが甘くなることがあります(ビデオカメラでは一般的に起こる現象です)。NDフィルター**[B]**を使うと、この現象を抑え、より良好な撮影結果を得ることができます。

自然な色合いに調節する(ホワイトバランス)



撮影する場面の光に合わせてホワイトバランスを固定するときに使います。

A(☞A)、またはB(☞B)を選ぶと、ホワイトバランスの調整値をメモリーAとBに個別に記憶させることができます。調整値は、再調整しない限り電源を切っても保持されます。

「PRESET」を選ぶと、あらかじめ

☞ (CAMERA SET)メニューの「WB PRESET」で選んだ「OUTDOOR」、 「INDOOR」、 「MANU WB TEMP」のいずれかが設定されます。

1 撮影またはスタンバイ中に、
AUTO/MANUALスイッチ☐を
「MANUAL」にする。

2 WHT BALボタンAを押す。

3 ホワイトバランスメモリースイッチ☐を、PRESET/A/Bのいずれかにセットする。

A/Bは、それぞれメモリーA/メモリーBに記憶させた調整値で撮影するときに設定します。

表示	撮影状況例
☞A (メモリーA)	●メモリーA/Bそれぞれに、光源に合わせたホワイトバランスの調整値を記憶させることができます。「メモリーA、Bにホワイトバランスの調整値を記憶させるには」の手順に従ってください(32ページ)。
☞B (メモリーB)	
☀ 屋外 ([OUT DOOR])	●夜景やネオン、花火などを撮るとき ●日の出、日没などを撮るとき ●屋光色蛍光灯の下
💡 屋内 ([INDOOR])	●パーティー会場など照明条件が変化する場所 ●スタジオなどビデオライトの下 ●ナトリウムランプや水銀灯の下
色温度設定 ([MANU WB TEMP])	●2300K～15000Kの範囲で、お好みの色温度を設定できます(お買い上げ時の色温度は、6500K)。

☞ちょっと一言

- ☀ (屋外)に設定しているときに☞ (one push) ボタン☐を押してSEL/PUSH EXECダイヤル☐を回すと、屋外のホワイトバランス値を変更できます。-7(青め)～0(標準、お買い上げ時の設定)～+7(赤め)から選べます。メニューで設定することもできます([WB OUTDR LVL]、65ページ)。
- ホワイトバランスメモリースイッチ☐を「PRESET」にして、「WB PRESET」を「MANU

思い通りの設定で撮る(つづき)

WB TEMP]に設定しているときに、 (one push) ボタン  を押してSEL/PUSH EXECダイヤル  を回すと、色温度の値を変更できます。メニューで設定することもできます([WB TEMP SET]、65ページ)。

メモリーA、Bにホワイトバランスの調整値を記憶させるには

- ①「自然な色合いに調節する(ホワイトバランス)」の手順 **3** で A() または B() を選ぶ。
- ② 被写体と同じ照明条件のところで、白い紙などを画面いっぱいに映す。
- ③  (one push)  ボタンを押す。
 A または  B が早い点滅に変わる。ホワイトバランスが調節されると、点滅から点灯に変わり、選んだ  A または  B 調整値が記憶されます。

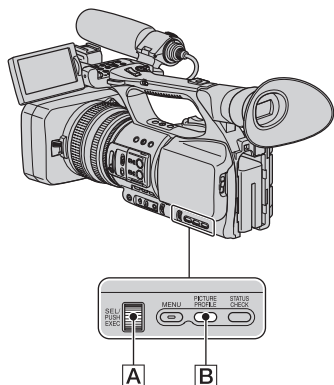
自動調節に戻すには

WHT BALボタン  を押す。または、AUTO/MANUALスイッチ  を「AUTO」にする。

📌 ご注意

- AUTO/MANUALスイッチ  を「AUTO」にすると、他の手動調節(アイリス、ゲイン、シャッタースピード)も解除されます。

あらかじめ設定した画質で撮る (ピクチャープロフィール)



[GAMMA]や[DETAIL]などを調節して好みの画質設定を作れます。撮影時間帯や気象条件、または使う人ごとに設定できます。

設定するときは、本機をテレビやモニターにつないで、画像を確認しながら調節してください。

お買い上げ時は、[PP1]から[PP6]に、撮影条件に合わせた設定値があらかじめ登録されています。

📌 ご注意

-  (CAMERA SET)メニュー→[x.v.Color]が[ON]のときは、ピクチャープロフィールは[OFF]に固定されます。

ピクチャープロファイル番号 (設定名)	撮影条件
PP1 (USER)	ピクチャープロファイル [OFF]と同じ設定値
PP2 (USER)	ピクチャープロファイル [OFF]と同じ設定値
PP3 (PRO COLOR)	ITU-709ガンマを用いた 業務用ショルダー カム コーダーのような設定例
PP4 (PD COLOR)	PDガンマを用いた業務 用ハンディカムコーダー のような設定例
PP5 (FILM LOOK1)	一般的な映画用カラーネ ガフィルムによる撮影画 のような設定例
PP6 (FILM LOOK2)	一般的な映画用カラーブ リントフィルムで上映し たような設定例

1 スタンバイ中に、PICTURE PROFILEボタン[B]を押す。

2 SEL/PUSH EXECダイヤル[A]を回してピクチャープロファイル番号を選び、押して決定する。

選択したピクチャープロファイルの設定で撮影できます。

3 SEL/PUSH EXECダイヤル[A]で[OK]を選んで、押して決定する。

ピクチャープロファイル撮影をやめるには

手順2で[OFF]を選び、SEL/PUSH EXECダイヤル[A]を押して決定します。

ピクチャープロファイルの内容を変更するには

[PP1]～[PP6]の設定内容を変更できます。

- ① PICTURE PROFILEボタン[B]を押す。
- ② SEL/PUSH EXECダイヤル[A]を回して、設定を変更するピクチャープロファイル番号を選び、押して決定する。
- ③ SEL/PUSH EXECダイヤル[A]を回して[SETTING]を選び、押して決定する。
- ④ SEL/PUSH EXECダイヤル[A]を回して調節したい項目を選び、押して決定する。
- ⑤ SEL/PUSH EXECダイヤル[A]を回して画質を調節し、押して決定する。
- ⑥ 手順④、⑤を繰り返して他の項目を調節する。
- ⑦ SEL/PUSH EXECダイヤル[A]を回して[RETURN]を選び、押して決定する。
- ⑧ SEL/PUSH EXECダイヤル[A]を回して[OK]を選び、押して決定する。
ピクチャープロファイルの表示が出ます。

👉 ちょっと一言

- ASSIGNボタンにピクチャープロファイルを設定して、ピクチャープロファイルをON/OFFできます(43ページ)。

思い通りの設定で撮る(つづき)

BLACK LEVEL

黒レベルを設定する。

設定項目	調節する内容
[MASTER BLACK]	マスターの黒レベルを設定する。 -15 ~ +15
[BLACK R]	Rchの黒レベルを設定する。 [MASTER BLACK] + [BLACK R]がRchの黒レベルになる。 -15 ~ +15
[BLACK G]	Gchの黒レベルを設定する。 [MASTER BLACK] + [BLACK G]がGchの黒レベルになる。 -15 ~ +15
[BLACK B]	Bchの黒レベルを設定する。 [MASTER BLACK] + [BLACK B]がBchの黒レベルになる。 -15 ~ +15

GAMMA

ガンマカーブを選ぶ。

設定項目	調節する内容
[STANDARD]	標準のガンマカーブ。
[CINEMATONE1]	フィルム撮影した映像のようなトーンのガンマカーブ1。
[CINEMATONE2]	フィルム撮影した映像のようなトーンのガンマカーブ2。
[ITU709]	ITU-709相当のガンマカーブ。低輝度部ゲイン:4.5
[G5.0]	低輝度部ゲイン:5.0のガンマカーブ。
[PD]	DCR-PDシリーズに似たトーンのガンマカーブ。
[x.v.]	x.v.Colorと同様のガンマカーブ。

BLACK GAMMA

低輝度部のガンマ補正をする。

設定項目	調節する内容
[RANGE]	補正範囲を選ぶ。 HIGH / MIDDLE / LOW
[LEVEL]	補正の強さを設定する。 -7(ブラックコンプレス最大) ~ +7(ブラックストレッチ最大)

KNEE

被写体の高輝度部分の信号をカメラのダイナミックレンジに収め、白つぶれを防ぐため、ビデオ信号を圧縮するポイントやスロープを設定する。

設定項目	調節する内容
[MODE]	自動／手動設定を選ぶ。 [AUTO] : ニーポイント、ニースロープを自動で設定する。 [MANUAL] : ニーポイント、ニースロープを手動で設定する。
[AUTO SET]	[AUTO]を選択した場合の設定 [MAX POINT] : ニーポイントの最大値を設定する。 90% ~ 100% [SENSITIVITY] : 感度を設定する。 HIGH/MIDDLE/LOW
[MANUAL SET]	[MANUAL]を選択した場合の設定 [POINT] : ニーポイントを設定する。 75% ~ 105% [SLOPE] : ニースロープの傾きを設定する。 -5(傾きが低い) ~ +5(傾きが高い)

COLOR MODE

発色のタイプやレベルを設定する。

設定項目	調節する内容
[TYPE]	発色のタイプを設定する。 [STANDARD] : 標準の色合い。 [CINEMATONE1] : [GAMMA]が[CINEMATONE1]のときに適したフィルム調の色合い。 [CINEMATONE2] : [GAMMA]が[CINEMATONE2]のときに適したフィルム調の色合い。 [ITU709 MTX] : ITU-709相当。
[LEVEL]	[TYPE]を「STANDARD」以外に設定したとき、標準の色合いと選択したタイプの色合いとの間で発色のレベルを設定する。 1(選択したタイプの効果を弱めて標準に近づける)~8(選択したタイプの効果をそのまま使う)

COLOR LEVEL

色の濃さを設定する。

設定項目	調節する内容
	-7(薄くなる)~+7(濃くなる)、-8:白黒で撮影する。

思い通りの設定で撮る(つづき)

COLOR PHASE

色相を設定する。

設定項目	調節する内容
	-7(緑がかる)～+7(赤みがかる)

COLOR DEPTH

色の深さを色相別に変更する。

濃い色ほど効果が大きく、色のない被写体に対しては効果がありません。+側にすると暗くなり、色が深く見えます。-側にすると明るくなり、色が浅く見えます。[COLOR LEVEL]を-8(モノトーン)にしたときにも有効です。

設定項目	調節する内容
[R]	-7(赤が浅くなる)～+7(赤が深くなる)
[G]	-7(緑が浅くなる)～+7(緑が深くなる)
[B]	-7(青が浅くなる)～+7(青が深くなる)
[C]	-7(シアンが浅くなる)～+7(シアンが深くなる)
[M]	-7(マゼンタが浅くなる)～+7(マゼンタが深くなる)
[Y]	-7(黄が浅くなる)～+7(黄が深くなる)

COLOR CORRECT

色補正を設定する。

設定項目	調節する内容
[TYPE]	補正タイプを選ぶ。 [OFF] : カラーコレクションを行わない。 [COLOR REVISN] : メモリーに設定されている色を補正する。 メモリー以外の色([COLOR EXTRACT]の設定で白黒で表示される部分)は補正されません。 [COLOR EXTRACT] : メモリー設定されている色のみカラーで表示する。 他の部分は白黒になります。エフェクトとして利用したり、メモリーに設定するときの確認をしたりするのに便利です。
[MEMORY SEL]	有効にするメモリーを選ぶ。 [1]: メモリー1の設定のみ有効にする。 [2]: メモリー2の設定のみ有効にする。 [1&2]: メモリー1、2ともに有効にする。

COLOR CORRECT(続き)

設定項目	調節する内容
[MEM1 COLOR]	メモリー1の色設定をする。 [PHASE] : 色相を選ぶ。 0(紫)～8(赤)～16(黄)～24(緑)～31(青) [RANGE] : 色相の範囲を選ぶ。 0(選択色なし)、1(狭い:単色のみ選ぶ)～31(広い:色相の近い他の色も選ぶ) [SATURATION] : 彩度を選ぶ。 0(薄い色から濃い色まで選ぶ)～31(濃い色のみ選ぶ) [ONE PUSH SET]: センターマーカーの中心部に映した被写体に合わせて[PHASE]を自動選択する。 [SATURATION]は0にリセットされる。
[MEM1 REVISN]	メモリー1の色を補正する。 [R GAIN] : メモリーで選択した色の赤みを補正する。 赤みが減るとシアンの色合いが増えます。 -15(赤みが減る)～+15(赤みが増す) 0の場合、補正されません。 [B GAIN] : メモリーで選択した色の青みを補正する。 青みが減ると黄色の色合いが増えます。 -15(青みが減る)～+15(青みが増す) 0の場合、補正されません。
[MEM2 COLOR]	メモリー2の色設定をする。 設定項目や設定内容については、[MEM1 COLOR]を参照してください。
[MEM2 REVISN]	メモリー2の色を補正する。 設定項目や設定内容については、[MEM1 REVISN]を参照してください。

💡ちよっと一言

- 2つのメモリーを同じ設定にすると、補正効果は2倍になります。
- [COLOR CORRECT]の設定は電源を切っても保持されますが、時間、天気、場所などにより変化するような色に効果を加える場合は、使用時に再度設定し直すことをおすすめします。
- ホワイトバランス値、ピクチャープロファイルの[WB SHIFT]、[COLOR LEVEL]、[COLOR PHASE]の設定を変更すると、色領域や補正される色合いが変化します。[COLOR CORRECT]の設定時と使用時で上記設定が変わってしまったときは、[COLOR CORRECT]の設定を見直してください。
- ホワイトバランスをオートに設定していると、被写体にあわせて自動でホワイトバランスが変化しますので、ホワイトバランスは手動で設定することをおすすめします。

思い通りの設定で撮る(つづき)

WB SHIFT

ホワイトバランスシフトを設定する。

設定項目	調節する内容
[FILTER TYPE]	ホワイトバランスをシフトさせる色の組み合わせを選ぶ。 [LB-CC] : フィルムタイプ(色温度変換と色補正をする) [R-B] : ビデオタイプ(RとBのレベルを補正する)
[LB[COL TEMP]]	色温度変換の設定をする。 -9(青みがかかる)～+9(赤みがかかる)
[CC[MG/GR]]	色補正の設定をする。 -9(緑がかかる)～+9(マゼンタがかかる)
[R GAIN]	Rのレベルを設定する。 -9(Rのレベルが下がる)～+9(Rのレベルが上がる)
[B GAIN]	Bのレベルを設定する。 -9(Bのレベルが下がる)～+9(Bのレベルが上がる)

DETAIL

ディテールを設定する。

設定項目	調節する内容
[LEVEL]	[DETAIL]の強さを設定する。 -7～ +7
[MANUAL SET]	[ON/OFF] : [DETAIL]の手動詳細設定をON/OFFする。 [ON] : [DETAIL]の手動詳細設定を行う(自動最適化は行われません)。 [OFF] : [DETAIL]の手動詳細設定を行わない。
[V/H BALANCE]	水平(H)DETAIL/垂直(V)DETAILのバランスを設定する。 -2(垂直(V)が強い)～ +2(水平(H)が強い)
[B/W BALANCE]	上側(P)DETAIL/下側(N)DETAILのバランスを選ぶ。 TYPE1(下側(N)が強い)～ TYPE5(上側(P)が強い)
[BLACK LIMIT]	下側(N)DETAILのリミットレベルを設定する。 0(リミットレベルが低い(リミットされやすい)) ～ 7(リミットレベルが高い(リミットされにくい))
[WHITE LIMIT]	上側(P)DETAILのリミットレベルを設定する。 0(リミットレベルが低い(リミットされやすい)) ～ 7(リミットレベルが高い(リミットされにくい))
[CRISPENING]	クリスプニングレベルを設定する。 0(クリスプニングレベルが浅い)～ 7(クリスプニングレベルが深い)
[HI-LIGHT DTL]	高輝度部分のDETAILレベルを設定する。 -2～+2

SKINTONE DTL

肌色部分の輪郭をなめらかにして、しわを目立たなくする。

設定項目	調節する内容
[ON/OFF]	[ON]にすると肌色などの輪郭をなめらかにして、しわを目立たなくする。肌色以外も選択できる。
[LEVEL]	輪郭をなめらかにする度合いを設定する。 1(輪郭を少しなめらかにする)～8(輪郭をよりなめらかにする)
[COLOR SEL]	輪郭をなめらかにする色を選ぶ。 [PHASE] : 色相を選ぶ。 0(紫)～32(赤)～64(黄)～96(緑)～127(青) [RANGE] : 色の範囲を選ぶ。 0(選択色なし)、1(狭い:単色のみ選ぶ)～31(広い:色相と彩度の近い他の色も選ぶ) 0の場合、輪郭を滑らかにする効果はなくなります。 [SATURATION] : 彩度を選ぶ。 0(薄い色を選ぶ)～31(濃い色を選ぶ) [REVERSE] : 選択した色領域を反転する。 ある色を選択している状態でこの機能を実行すると、逆に選択していなかった色が選択されます。 [Y LEVEL] : 明るさを選ぶ。 0(暗い色を選ぶ)～31(明るい色を選ぶ) [Y RANGE] : 明るさの範囲を選ぶ。 1(明るさの範囲を狭める)～32(明るさの範囲を広げる) [ONE PUSH SET] : センターマーカーの中心部に映した被写体に合わせて、[PHASE]、[SATURATION]、[Y LEVEL]を自動選択する。 [RANGE]と[Y RANGE]は変更されません。

PROFILE NAME

設定したピクチャープロファイル[PP1]から[PP6]に名前を付ける(40ページ)。

COPY

他のピクチャープロファイル番号に設定をコピーする。

RESET

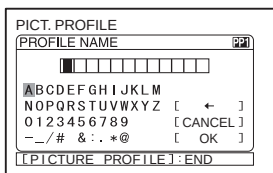
ピクチャープロファイルをお買い上げ時の設定に戻す。

思い通りの設定で撮る(つづき)

ピクチャープロファイルの各設定に名前をつけるには

[PP1]～[PP6]それぞれに任意で名前がつけられます。

- ① PICTURE PROFILEボタン[B]を押す。
- ② SEL/PUSH EXECダイヤル[A]を回して名前を設定するピクチャープロファイル番号を選び、押して決定する。
- ③ SEL/PUSH EXECダイヤル[A]で[SETTING]→[PROFILE NAME]を選ぶ。
- ④ SEL/PUSH EXECダイヤル[A]を回して文字を選択し、押して決定する。この操作を繰り返してプロファイル名を入力する。



🗨️ちょっと一言

- 12文字までの名前をつけられます。

使用できる文字

– A～Z

– 0～9

– _ / # & : . * @

- ⑤ SEL/PUSH EXECダイヤル[A]で[OK]を選び、押して決定する。
プロファイル名が変更されます。
- ⑥ SEL/PUSH EXECダイヤル[A]を回して、[↩️ RETURN]→[OK]を選ぶ。

ピクチャープロファイルを他のピクチャープロファイル番号にコピーするには

- ① PICTURE PROFILEボタン[B]を押す。
- ② SEL/PUSH EXECダイヤル[A]を回してコピー元のピクチャープロファイル番号を選び、押して決定する。
- ③ SEL/PUSH EXECダイヤル[A]で[SETTING]→[COPY]を選ぶ。
- ④ SEL/PUSH EXECダイヤル[A]を回してコピー先のピクチャープロファイル番号を選び、押して決定する。
- ⑤ SEL/PUSH EXECダイヤル[A]を回して[YES]を選び、押して決定する。
- ⑥ SEL/PUSH EXECダイヤル[A]を回して、[↩️ RETURN]→[OK]を選ぶ。

お買い上げ時の設定に戻すには

ピクチャープロファイル番号ごとに取り消せます。すべての設定を一度に取り消すことはできません。

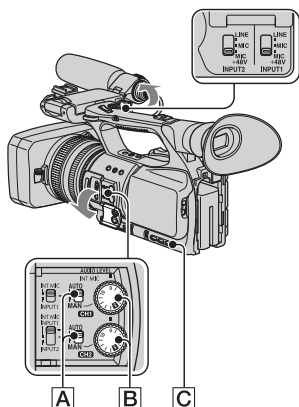
- ① PICTURE PROFILEボタン[B]を押す。
- ② SEL/PUSH EXECダイヤル[A]を回してお買い上げ時の設定に戻したいピクチャープロファイル番号を選び、押して決定する。
- ③ SEL/PUSH EXECダイヤル[A]を回して[SETTING]→[RESET]→[YES]→[↩️ RETURN]→[OK]を選ぶ。

好みの音に設定する

内蔵マイクまたは、INPUT1/INPUT2端子に取り付けたマイクを好みの音量に調節できます。

🗣️ちよっと一言

- 付属マイクの取り付けかたやCH1(INT MIC/INPUT1)スイッチ、CH2(INT MIC/INPUT1/INPUT2)スイッチについては、9ページをご覧ください。



1 調節するチャンネルのAUTO/MAN(CH1/CH2)スイッチ[A]を「MAN」にする。

画面に🎵が表示されます。

2 撮影中、またはスタンバイ中にAUDIO LEVELダイヤル[B]を回して、マイク音量を調節する。

自動調節に戻すには

手動調節したチャンネルのAUTO/MAN(CH1/CH2)スイッチ[A]を「AUTO」にする。

🗣️ちよっと一言

- 音声設定の詳しい情報を確認するときは、STATUS CHECKボタン[C]を押してください。
- その他の設定については🎵 (AUDIO SET) メニューをご覧ください(72ページ)。

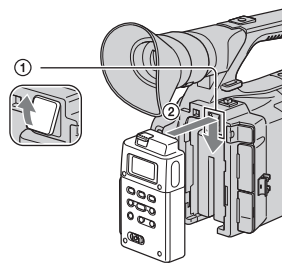
メモリーレコーディングユニットを取り付ける

別売りのメモリーレコーディングユニットHVR-MRC1を本機に取り付けて記録できます。

ここでは、本機への取り付けかたを説明します。

詳しい操作については、メモリーレコーディングユニットの取扱説明書をご覧ください。

メモリーレコーディングユニット端子カバーを取りはずし(①)、メモリーレコーディングユニット端子に矢印の向きに取り付ける(②)。



メモリーレコーディングユニットを取りはずすには

RELEASEレバーを押しながら、メモリーレコーディングユニットを取りはずす。

⚠ご注意

- メモリーレコーディングユニットを取り付けると、本機の📺 HDV/DV端子は使用できなくなります。
- メモリーレコーディングユニットを使うときは、🔁 (IN/OUT REC)メニューの[EXT REC CTRL]で必要な設定を行ってください(82ページ)。

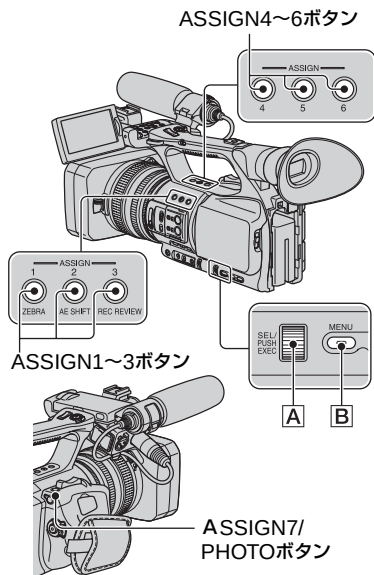
ASSIGNボタンに機能を設定する

機能によっては、ASSIGNボタンに割り当てて操作することができます。
ASSIGN1～7ボタンに1つずつ割り当てられます。

割り当てられる機能

()内のボタン名は、お買い上げ時に機能が割り当てられていることを示しています。

- EXP.FOCUS (27ページ)
- FOCUS MACRO (68ページ)
- D.EXTENDER (68ページ)
- RING ROTATE (64ページ)
- HYPER GAIN (64ページ)
- AE SHIFT (66ページ) (ASSIGN2ボタン)
- PUSH AT IRIS (27ページ)
- INDEX MARK (44ページ)
- STEADYSHOT (67ページ)
- BACK LIGHT (67ページ)
- SPOTLIGHT (67ページ)
- FADER (68ページ)
- SMTH SLW REC (68ページ)
- COLOR BAR (71ページ)
- LAST SCN RVW (44ページ)
- REC REVIEW (45ページ) (ASSIGN3ボタン)
- END SEARCH (45ページ)
- ZEBRA (75ページ) (ASSIGN1ボタン)
- MARKER (76ページ)
- PEAKING (76ページ)
- TC RESET (83ページ)
- TC COUNTUP (83ページ)
- PHOTO (23ページ) (ASSIGN7ボタン)
- PICTURE PROFILE (32ページ)
- SHOT TRANSITION (45ページ)



1 MENUボタン[B]を押す。

2 SEL/PUSH EXECダイヤル[A]で [OTHERS] メニュー → [ASSIGN BTN] を選ぶ。

3 SEL/PUSH EXECダイヤル[A]を回して設定したいASSIGNボタンを選び、押して決定する。

- 機能が割り当てられていないボタンには、[-----]が表示されます。
- [SHOT TRANSITION]を選んだときは[YES]を選んでから、手順5に進んでください。

4 SEL/PUSH EXECダイヤル[A]
を回して割り当てる機能を選び、
押して決定する。

5 SEL/PUSH EXECダイヤル[A]
を回して[OK]を選び、押して決定
する。

6 SEL/PUSH EXECダイヤル[A]
を回して[RETURN]を選び、押
して決定する。

7 MENUボタン[B]を押して、メ
ニュー画面を消す。

👉ちょっと一言

- ショットトランジションはASSIGN4/5/6ボタ
ンに割り当てられます(45ページ)。ショットト
ランジションの割り当てを解除すると、設定前
の割り当てに戻ります。
- ショットトランジションを解除するには、手順
3で[SHOT TRANSITION]→[YES]を選ん
でください。

インデックス信号を打ち込む

インデックス信号を打ち込んで撮影する
と、その場面を頭出しできます(53ペー
ジ)。インデックスの変わり目を確認した
り、インデックスごとに編集するとき便利
です。

1 ASSIGNボタンに[INDEX
MARK]を設定する(43ページ)。

2 [INDEX MARK]を割りあてた
ASSIGNボタンを押す。

撮影中に押したとき

約7秒間  が表示され、インデックス
信号が記録されます。

スタンバイ中に押したとき

 が点滅します。

REC START/STOPボタンを押して録
画を始めると、約7秒間  が表示さ
れ、インデックス信号が記録されます。

インデックス打ち込みを取り消すには
録画を始める前に、[INDEX MARK]を割
り当てたASSIGNボタンをもう一度押
す。

📌ご注意

- 撮影したテープにインデックスを後から打ち
込むことはできません。

最後に撮影した動画を再生する (ラストシーンレビュー)

最後に撮影した場面の先頭まで巻き戻し、
その場面の最後まで再生してから停止し
ます。

1 ASSIGNボタンに[LAST SCN
RVW]を設定する(43ページ)。

2 スタンバイ状態で[LAST SCN
RVW]を割り当てたASSIGNボ
タンを押す。

ラストシーンレビューが実行されま
す。

④ご注意

- 動画の記録時間が短い場合、[LAST SCN RWW]が正しく実行できない場合があります。
- カセットをいったん取り出すと、ラストシーンレビューは動きません。

🔔ちょっと一言

- ラストシーンレビュー中に再度ASSIGNボタンを押すと、最後に録画した場面の約5秒間が再生され、録画終了した場面でスタンバイになります。

テープを停止した場面を確認する(レックレビュー)

テープを停止させた場면을約2秒間再生し、確認できます。直前に撮影した映像を確認するのに便利です。

スタンバイ中に、REC REVIEWボタンまたは、[REC REVIEW]を割り当てたASSIGNボタンを押す。

テープを停止した部分が約2秒間再生され、スタンバイに戻ります。

最後に録画した場면을頭出しする(エンドサーチ)

1 ASSIGNボタンに[END SEARCH]を設定する(43ページ)。

2 [END SEARCH]を割り当てたASSIGNボタンを押す。

最後に録画した場面の末尾の約5秒間が再生され、録画終了した場面でスタンバイになります。

④ご注意

- カセットをいったん取り出すと、エンドサーチは動きません。
- テープの途中に無記録部分があると、エンドサーチが正しく働かない場合があります。

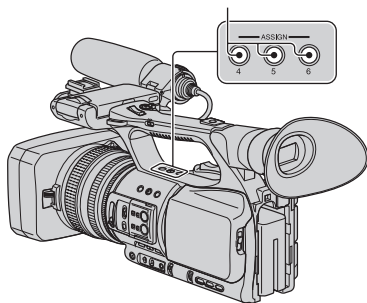
ショットトランジションを使う

フォーカス、ズーム、アイリス、ゲイン、シャッタースピード、ホワイトバランスの設定を登録し、登録した設定へなめらかに遷移(ショットトランジション)することができます。

例えば、画面手前にフォーカスが合っている状態から徐々に画面奥の被写体にフォーカス送りをしたり、アイリスを設定して被写界深度を変化させたりできます。また、ホワイトバランスなどの手動調節機能を登録して、屋内の被写体から屋外の被写体へと、異なる撮影環境の間もなめらかに場面を切り換えることができます。手ブレを防ぐために三脚を使うことをおすすめします。

📷 (CAMERA SET)メニューの[SHOT TRANSITION]で遷移カーブや遷移時間などを設定できます(70ページ)。

ASSIGN4~6ボタン



1 ASSIGNボタンに[SHOT TRANSITION]を設定する(43ページ)。

👉ちょっと一言

- ショットトランジションは、ASSIGN4/5/6ボタンに同時に設定されます。

2 設定(ショット)を登録する

- ① ASSIGN4ボタンを繰り返し押して、ショットトランジション登録画面にする。
- ② 手動で設定を調節する。
各機能の調整のしかたについては、25～32ページをご覧ください。
- ③ SHOT-Aに登録するにはASSIGN5ボタンを、SHOT-Bに登録するにはASSIGN6ボタンを押す。

📌ご注意

- 登録したSHOT-A、SHOT-Bの設定値は、POWERスイッチを「OFF」にすると消去されます。

3 登録したショットを確認する

- ① ASSIGN4ボタンを繰り返し押して、ショットトランジション確認画面にする。
- ② SHOT-Aを確認するにはASSIGN5ボタンを、SHOT-Bを確認するにはASSIGN6ボタンを押す。
登録したショットの画像が変わります。フォーカスやズームなどが登録した設定に自動的に調節されます。

📌ご注意

- ショットトランジション確認画面では、[TRANS TIME]や[TRANS CURVE] (70ページ)で設定した時間やカーブで遷移はしません。

4 ショットトランジションを使って撮影する

- ① ASSIGN4ボタンを繰り返し押して、ショットトランジション実行画面にする。
- ② REC START/STOPボタンを押す。
- ③ SHOT-Aで撮影するにはASSIGN5ボタンを、SHOT-Bで撮影するにはASSIGN6ボタンを押す。
現在の録画設定から、登録した設定に遷移します。

👉ちょっと一言

- ショットトランジションを中止するには、ASSIGN4ボタンを繰り返し押して、ショットトランジションを解除してください。

📌ご注意

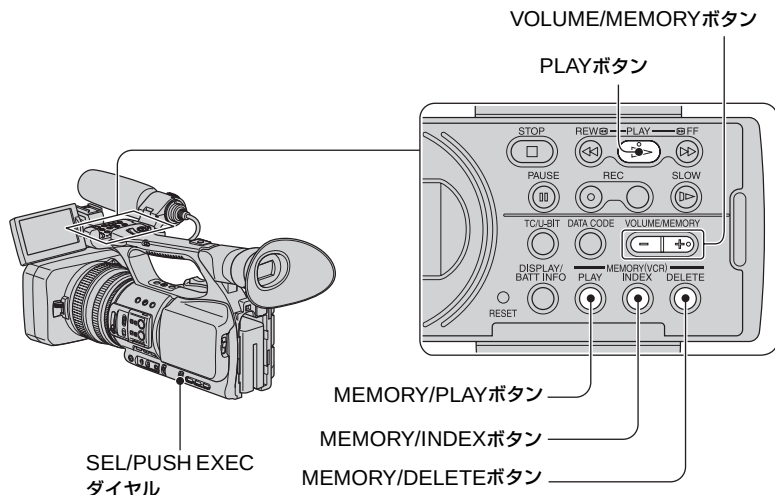
- [SHOT TRANSITION] (45ページ)を変更するときには、ASSIGN4ボタンを繰り返し押して、ショットトランジション画面を抜けてから変更してください。
- 任意の設定からショットトランジションを実行したとき、登録したSHOT-A、またはSHOT-Bから元の設定に戻すことはできません。
- ショットトランジション操作中に次のボタンを押すと、ショットトランジションが解除されます。
 - PICTURE PROFILEボタン
 - MENUボタン
 - [EXP.FOCUS]を割り当てたASSIGNボタン
 - STATUS CHECKボタン
 - [SMTH SLW REC]を割り当てたASSIGNボタン
- 登録したSHOT-AからSHOT-Bへ、またはその逆に遷移することもできます。例えばSHOT-AからSHOT-Bに遷移するときには、ショットトランジション確認画面を表示させてASSIGN5ボタンを押して、あらかじめSHOT-Aの状態にしてから、REC START/STOPボタンを押しま

す。次にショットランジション実行画面を表示させてASSIGN6ボタンを押してください。

- 手順4でREC START/STOPボタンを押す前に、希望の設定を登録したボタン(5または6)を押すと、ショットランジションのリハーサルができます。

ショットランジションを解除するには
ASSIGN4ボタンを繰り返し押して、
ショットランジション画面から抜ける。

見る



下記の手順で動画を再生します。

1 緑のボタンを押しながら、POWERスイッチを「VCR」にする。



2 再生を始める。

◀◀ (巻戻し) ボタンを押して、見たい位置まで巻き戻し、▶▶ (再生) ボタンを押す。

- : STOP
- ⏸ : PAUSE (▶▶ または ⏸ を押すと通常の再生に戻る)
- ◀◀ : REW (早戻し、レビュー)
- ▶▶ : FF (キュー、早送り)
- ⏪ : SLOW

⚠ ご注意

- 一時停止が3分以上続くと、自動的に停止します。
- HDV規格とDVCAM(DV)規格が混在したテープを再生するときは、HDV規格とDVCAM(DV)規格の信号が切り替わるときに、一時画面が消えて、画像と音声が続切れず。
- HDV規格で記録したテープは、DVCAM(DV)規格のビデオカメラやミニDVデッキでは再生できません。

- DV規格のテープは、SPモードで記録されている場合のみ、本機で再生できます。LPモードで記録されたテープは再生できません。
- タイムコードやユーザービットが記録されていないテープや、本機が対応していない方式のタイムコードが記録されたテープを再生すると、タイムコードやユーザービットが正常に表示されません。

☺ちちょっと一言

- 再生中の画面表示については132ページをご覧ください。
- 再生中の画面表示の切り換えについては51ページをご覧ください。

動画を見ながら場面を探すには

再生中に◀◀/▶▶を押したままにする(ピクチャーサーチ)。早送り中に見るときは▶▶を、巻戻し中は◀◀を押したままにする(高速アクセス)。

音量を調節するには

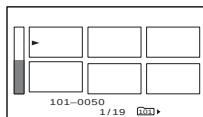
VOLUME/MEMORYボタンで調節する。

静止画を見るには

- ① POWERスイッチを「VCR」にする。
- ② MEMORY/PLAYボタンを押す。
- ③ VOLUME/MEMORYボタンを押して静止画を選ぶ。
静止画再生をやめるには、もう一度MEMORY/PLAYボタンを押します。

静止画を一覧表示するには(インデックス表示)

- ① POWERスイッチを「VCR」にする。
- ② MEMORY/INDEXボタンを押す。



- ③ VOLUME/MEMORYボタンを押して、画像を選ぶ。
▶を表示したい画像に合わせてMEMORY/PLAYボタンを押すと、1枚表示になります。
一覧表示をやめるには、もう一度MEMORY/INDEXボタンを押します。

“メモリースティック デュオ”の画像を消すには

- ① 「静止画を見るには」の手順で削除する画像を表示させる。
- ② MEMORY/DELETEボタンを押す。
- ③ SEL/PUSH EXECダイヤルで、[YES]を選び、押して決定する。
画像が消去されます。

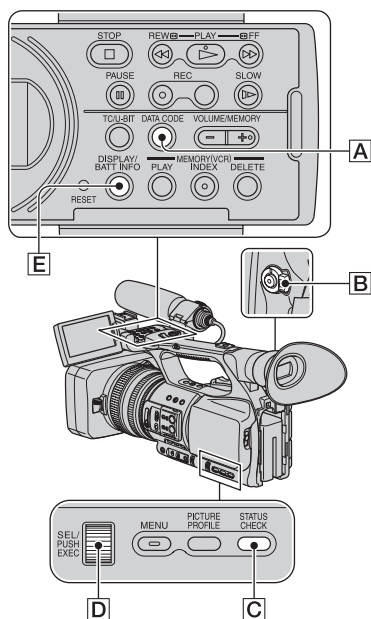
📢ご注意

- いったん削除した画像は元に戻せません。
- “メモリースティック デュオ”が誤消去防止になっているとき(115ページ)やプロテクトされている画像(102ページ)は削除できません。

💡ちょっと一言

- インデックス表示している画像を消すには、VOLUME/MEMORYボタンで▶マークを削除したい画像に移動してから手順②と③を行ってください。
- すべての画像を消去するには、 (MEMORY SET)メニューの[ ALL ERASE] (86ページ)で削除します。

本機の設定を変更 / 確認する



画面表示を切り換える

タイムコードなどの情報を画像とあわせて表示できます。

DISPLAY/BATT INFOボタン[E]を押す。

押すたびに、(非表示)↔(表示)と切り替わります。POWERスイッチが「CAMERA」のときは、(詳細表示)→(簡易表示)→(非表示)の順に切り替わります。

🗣️ちょっと一言

- テレビにつないで見るときは、[DISP OUTPUT]を[V-OUT/PANEL]または[ALL OUTPUT]に設定すると、テレビ画面でも同様に画面表示できます(79ページ)。

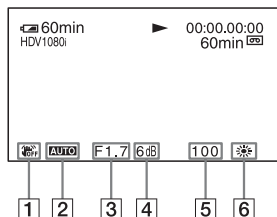
再生時に情報を表示する(データコード)

撮影時に自動的に記録された情報(日時やカメラデータ)を再生時に表示できます。

1 POWERスイッチ[B]を「VCR」にする。

2 再生または一時停止中にDATA CODEボタン[A]を押す。

押すたびに、日付時刻表示→カメラデータ→(表示なし)と切り替わります。



① 手ブレ補正

② 明るさ調節

アイリス/ゲイン/シャッタースピードを自動調節で撮影すると **AUTO**、手動調節で撮影すると **MANUAL** と表示されます。

③ アイリス

手動でアイリスを最大にしておくと、アイリスの場所に **CLOSE** と表示されます。

④ ゲイン

⑤ シャッタースピード

⑥ ホワイトバランス

ショットトランジションや[MANU WB TEMP]で撮影した画像を再生すると、**PWB** が表示されます。

本機の設定を変更/確認する(つづき)

④ ご注意

- “メモリースティック デュオ”の静止画再生時は、露出補正值(OEV)とシャッタースピード、アイリスが表示されます。
- 日付時刻表示のときは、同じエリアに日時が表示されます。日時、時刻を設定せずに撮影すると、[---- -- --]と[--:--:--]が表示されます。
- 本機で撮影したテープを異なる機器で再生し、カメラデータを表示させた際に、正しいシャッタースピード情報が表示されないことがあります。正しいシャッタースピードの情報は本機にてご確認ください。

本機の設定を確認する(ステータスチェック)

以下の項目がどのような設定値になっているかを確認できます。

- マイク音量レベルなどの音声設定(72ページ)
- 出力に関する設定([VCR HDV/DV] (79ページ)など)
- ASSIGNボタンに割り当てた機能(43ページ)
- カメラに関する設定(64ページ)
- 別売りの外部レコーディングユニットHVR-MRC1またはHVR-DR60に関する情報

AUDIO→OUTPUT→ASSIGN→
EXT DEVICE(外部デバイス装着時のみ)と切り替わります。

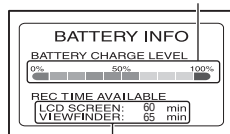
情報表示を消すには

STATUS CHECKボタン[C]を押す。

バッテリー残量を確認する(バッテリーインフォ)

POWERスイッチ[B]を「OFF」にしたあと、DISPLAY/BATT INFOボタン[E]を押すと、選択している録画フォーマットでの録画可能時間とバッテリーの情報が約7秒間表示されます。情報が表示されている間に再度ボタンを押すと、最大20秒まで表示を延長できます。

およそのバッテリー残量



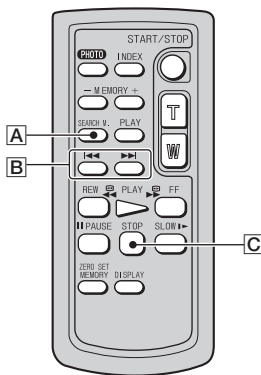
およその撮影可能時間

1 STATUS CHECKボタン[C]を押す。

2 SEL/PUSH EXECダイヤル[D]を回して、項目を表示する。

POWERスイッチ[B]が「CAMERA」のときは、
AUDIO→OUTPUT→ASSIGN→
CAMERA→EXT DEVICE(外部デバイス装着時のみ)と切り替わります。
POWERスイッチ[B]が「VCR」のときは、

テープの頭出しをする



⚠️ご注意

- リモコンについては130ページもご覧ください。

撮影日でテープを頭出しする (日付サーチ)

撮影日の変わり目を頭出しできます。

1 POWERスイッチを「VCR」にする。

2 リモコンのSEARCH M.ボタン [A]を繰り返し押して、[DATE SEARCH]を選ぶ。

3 リモコンの◀◀(前の日付)/▶▶ (後の日付)ボタン[B]を押して、頭 出しする。

現在のテープ位置に対して前後の日付
を選びます。

選んだ場面で自動的に再生します。

日付サーチを中止するには

リモコンのSTOPボタン[C]を押す。

⚠️ご注意

- 日付の変更点の間隔は2分以上必要です。間隔
が短いと正しく検出されない場合があります。
- テープの途中に無記録部分があると、正しく頭
出しできないことがあります。

録画の開始位置を探す(インデッ クスサーチ)

撮影開始時に打ち込んだインデックス
(44ページ)を頭出しできます。

1 POWERスイッチを「VCR」にす る。

2 リモコンのSEARCH M.ボタン [A]を繰り返し押して、[INDEX SEARCH]を選ぶ。

3 リモコンの◀◀(前のインデッ クス)/▶▶(後のインデックス)ボタ ン[B]を押して、頭出しする。

現在のテープ位置に対して前後のイン
デックスを選びます。選んだ場面で自
動的に再生します。

インデックスサーチを中止するには
リモコンのSTOPボタン[C]を押す。

⚠️ご注意

- インデックスの間隔は2分以上必要です。間隔
が短いと正しく頭出しできないことがありま
す。
- テープの途中に無記録部分があると、正しく頭
出しできないことがあります。

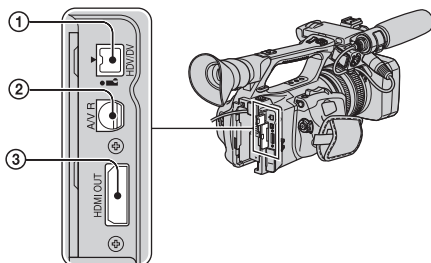
テレビにつないで見る

テレビの種類や接続する端子によって接続方法や再生される画質が異なります。
電源は、別売りのACアダプター/チャージャーを使ってコンセントからとってください
(12ページ)。

また、つなぐ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

本機の端子について

端子カバーを開けて接続してください。



ⓘ ご注意

- 本機のメニュー設定は接続の前に行ってください。i.LINKケーブルにつないでから[VCR HDV/DV]や[i.LINK SET]の設定を変えると、テレビが映像信号を正しく認識できないことがあります。

ハイビジョンテレビの接続方法



記録画質がHD(ハイビジョン)のときはHD画質で、SD(標準)のときはSD画質で再生されます。

コンポーネント(ピン端子)



音声端子



HDMI端子



i.LINK端子
(HDV
1080i対
応)



コンポーネント(D端子)



音声端子



撮る/見る

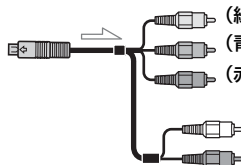
信号の流れ、():参照ページ

接続方法	本機の端子	必要なケーブル	テレビの端子	必要なメニュー設定
------	-------	---------	--------	-----------

A

②

コンポーネントA/V
接続ケーブル(付属)



(緑)Y

(青)P_B/C_B

(赤)P_R/C_R

コンポーネント
映像入力



⇄ (IN/OUT REC)
[VCR HDV/DV]→
[AUTO] (79)
[VIDEO OUT]→
[COMPONENT]
→[1080i/480i] (81)

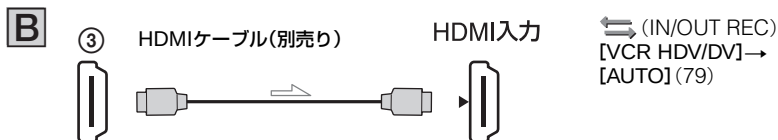
⚠ ご注意

- コンポーネントプラグのみつないだ場合、音声は出力されません。音声を出力するには白と赤のプラグも接続してください。

テレビにつないで見る(つづき)

—: 信号の流れ、(): 参照ページ

接続方法	本機の端子	必要なケーブル	テレビの端子	必要なメニュー設定
------	-------	---------	--------	-----------

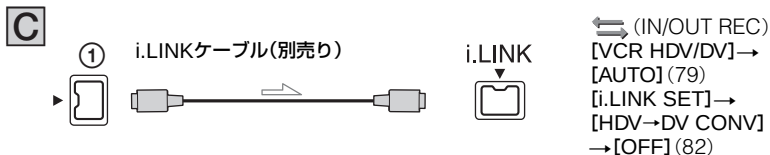


⚠️ ご注意

- HDMIケーブルはHDMIロゴがついているものをお使いください。
- 著作権保護のための信号が記録されているDVCAM (DV) 規格の映像を、HDMI出力端子から出力することはできません。
- i.LINKでDV入力された画像(94ページ)を出力することはできません。
- 一部の機器では、映像や音声が出ないなど正常に動作しない場合があります。また、本機と接続機器の出力端子同士での接続はしないでください。故障の原因となります。

🗣️ ちょっと一言

- HDMI (High-Definition Multimedia Interface) とはテレビ接続機器のデジタル映像/音声信号を直接つなぐインターフェースです。HDMI端子とテレビを1本のケーブルで接続することで、高画質な映像とデジタル音声を楽しめます。

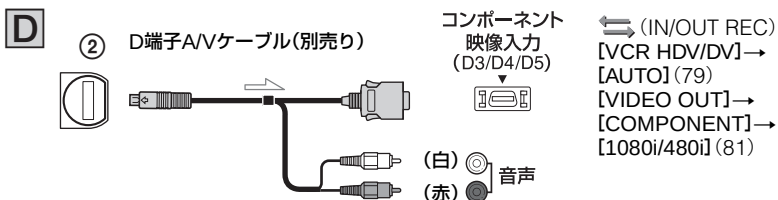


⚠️ ご注意

- テレビにはHDV1080i方式対応のi.LINK端子が必要です。詳しくはお使いのテレビの仕様をご確認ください。
- お使いのテレビがHDV1080i方式に対応していない場合は、付属のコンポーネントA/V接続ケーブルで[A]の接続をしてください。
- テレビに本機を認識させるためにテレビ側の設定が必要です。詳しくはテレビの取扱説明書をご覧ください。
- 本機のi.LINK端子は4ピンです。テレビ側はテレビに合わせて端子を選んでください。

—: 信号の流れ、(): 参照ページ

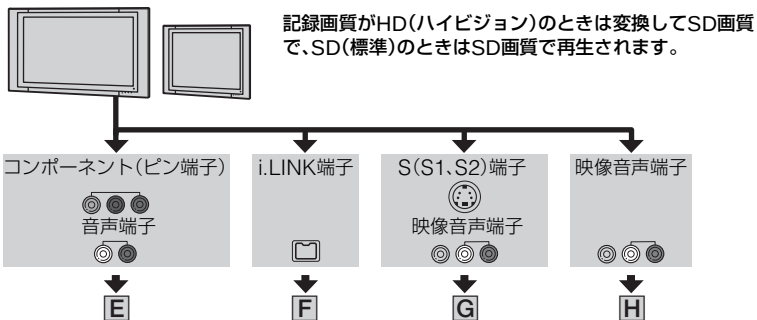
接続方法	本機の端子	必要なケーブル	テレビの端子	必要なメニュー設定
------	-------	---------	--------	-----------



⚠️ ご注意

- コンポーネントプラグ(D端子)のみつないだ場合、音声は出力されません。音声を出力するには白と赤のプラグも接続してください。

ワイドテレビ/4:3テレビの接続方法



テレビ(ワイド/4:3)に合わせて画像の比率を変えるには

HDV規格の信号は、⇄ (IN/OUT REC)メニュー→[VIDEO OUT]→[DOWN CONVERT]で設定してください。DV規格の信号は、⇄ (IN/OUT REC)メニュー→[VIDEO OUT]→[DV WIDE CONV]で設定してください。

💡 ちょっと一言

- モノラルテレビ(音声端子がひとつ)のときはA/V接続ケーブルの黄色いプラグを映像入力へ、白いプラグ(左音声)か赤いプラグ(右音声)のどちらかを音声入力へつないでください。モノラル音声で聞くとときは、市販の接続ケーブルを使ってください。

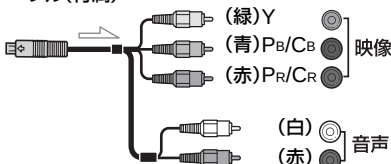
↔: 信号の流れ、(): 参照ページ

接続方法	本機の端子	必要なケーブル	テレビの端子	必要なメニュー設定
------	-------	---------	--------	-----------

E

②

コンポーネントA/V接続
ケーブル(付属)



コンポーネント
映像入力

↔ (IN/OUT REC)
→ [VCR HDV/DV] →
→ [AUTO] (79)
→ [VIDEO OUT] →
→ [COMPONENT] →
→ [480i] (81)
→ [VIDEO OUT] →
→ [DOWN CONVERT]
→ [DV WIDE CONV]
→ [SQUEEZE]/
→ [LETTER BOX]/
→ [EDGE CROP]*
(81)

ⓘ ご注意

- コンポーネントプラグのみつないだ場合、音声は出力されません。音声を出力するには白と赤のプラグも接続してください。

F

①

i.LINKケーブル(別売り)



i.LINK



↔ (IN/OUT REC)
→ [VCR HDV/DV]
→ [AUTO] (79)
→ [i.LINK SET] →
→ [HDV→DV CONV]
→ [ON] (82)

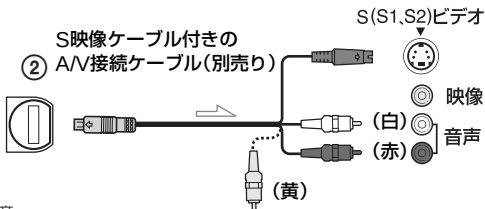
ⓘ ご注意

- テレビに本機を認識させるためにテレビ側の設定が必要です。詳しくはテレビの取扱説明書をご覧ください。
- 本機のi.LINK端子は4ピンです。テレビ側はテレビに合わせて端子を選んでください。

* お使いのテレビに合わせて設定してください。

接続方法	本機の端子	必要なケーブル	テレビの端子	必要なメニュー設定
------	-------	---------	--------	-----------

G

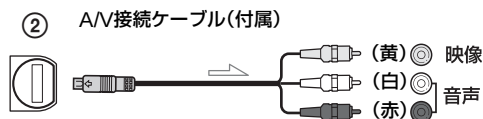


⇄ (IN/OUT REC)
[VCR HDV/DV]→
[AUTO] (79)
[VIDEO OUT]→
[DOWN CONVERT]
/[DV WIDE CONV]
→[SQUEEZE]/
[LETTER BOX]/
[EDGE CROP]*
(81)

● ご注意

- S(S1,S2)映像端子のみつないだ場合、音声は出力されません。音声を出するにはS映像ケーブル付きのA/V接続ケーブルの白と赤のプラグも接続してください。
- A/V接続ケーブル(接続 **H**)に比べ、画像をより忠実に再現できます。
- 本機はS1映像端子対応のため、つなぐ端子がSまたはS2映像端子のときは画像が正しく表示されない場合があります。その場合、テレビの設定を変更することで改善されることがあります。テレビの取扱説明書もあわせてお読みください。

H



⇄ (IN/OUT REC)
[VCR HDV/DV]→
[AUTO] (79)
[VIDEO OUT]→
[DOWN CONVERT]
/[DV WIDE CONV]
→[SQUEEZE]/
[LETTER BOX]/
[EDGE CROP]*
(81)

* お使いのテレビに合わせて設定してください。

💡 ちょっと一言

- i.LINK以外の端子から画像を出力するときに、複数のケーブルでテレビをつないでいるときは、テレビの入力がHDMI端子→コンポーネントビデオ端子→S(S1,S2)映像端子→映像端子の順で優先されます。
- i.LINKについて詳しくは118ページをご覧ください。

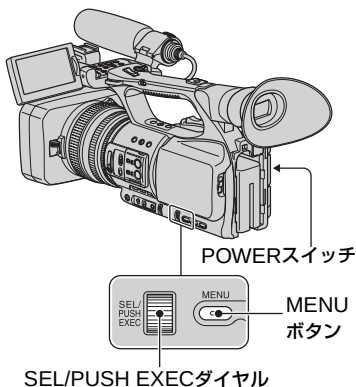
ビデオ経由でテレビにつなぐには

ビデオの入力端子によって91ページで接続方法を選ぶ。ビデオの外部入力端子につなぎ、ビデオに入力切り換えスイッチがある場合は「外部入力」(ビデオ1、ビデオ2など)に切り換える。

メニューで設定を変更する

メニューの使いかた

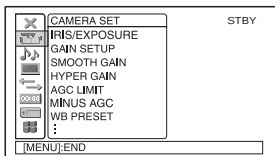
画面に表示されるメニューで、お好みの設定やより細かい設定ができます。



1 POWERスイッチを切り換える。

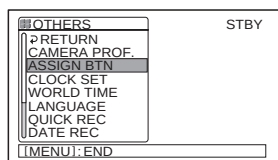
2 MENUボタンを押す。

メニューインデックス画面が表示されます。

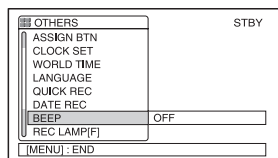


3 SEL/PUSH EXECダイヤルを回してメニューのマークを選び、押して決定する。

- CAMERA SET (64ページ)
- AUDIO SET (72ページ)
- DISPLAY SET (75ページ)
- IN/OUT REC (79ページ)
- TC/UB SET (83ページ)
- MEMORY SET (86ページ)
- OTHERS (87ページ)

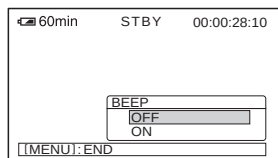


4 SEL/PUSH EXECダイヤルを回して設定する項目を選び、押して決定する。



設定できる項目は、POWERスイッチの位置ごとに異なります。選択できない項目は暗くなります。

5 SEL/PUSH EXECダイヤルを回して希望の設定を選び、押して決定する。



6 MENUボタンを押して、メニュー画面を消す。

[↶ RETURN]を選ぶと1つ前の階層に戻ります。

POWERスイッチの位置:

CAMERA

VCR



(CAMERA SET)メニュー (64ページ)

IRIS/EXPOSURE (AS)	●	—
GAIN SETUP	●	—
SMOOTH GAIN	●	—
HYPER GAIN (AS)	●	—
AGC LIMIT	●	—
MINUS AGC	●	—
WB PRESET	●	—
WB OUTDR LVL	●	—
WB TEMP SET	●	—
ATW SENS	●	—
SMOOTH WB	●	—
AE SHIFT (AS)	●	—
AE RESPONSE	●	—
AT IRIS LMT	●	—
ECS FREQ.	●	—
FLCKR REDUCE	●	—
CNTRST ENHCR	●	—
BACK LIGHT (AS)	●	—
SPOTLIGHT (AS)	●	—
STEADYSHOT (AS)	●	—
AF ASSIST	●	—
FOCUS MACRO (AS)	●	—
HANDLE ZOOM	●	—
SPEED ZOOM	●	—
D.EXTENDER (AS)	●	—
FADER (AS)	●	—
SMTH SLW REC (AS)	●	—
INTERVAL REC	●	—
DV FRAME REC (DV CAM DV 12)	●	—
SHOT TRANSITION (AS)	●	—
x.v.Color (HDV1080)	●	—
COLOR BAR (AS)	●	—



(AUDIO SET)メニュー (72ページ)

DV AU. MODE (DV CAM DV 12)	●	—
AUDIO LIMIT	●	—
INT MIC SET	●	—
XLR SET	●	—
AUDIO CH SEL	—	●
DV AUDIO MIX (DV CAM DV 12)	—	●

POWERスイッチの位置:

CAMERA

VCR



(DISPLAY SET)メニュー(75ページ)

ZEBRA (AS)	●	—
HISTOGRAM	●	—
PEAKING (AS)	●	—
MARKER (AS)	●	—
EXP.FOCUS TYPE	●	—
CAM DATA DSP	●	—
AU.LVL DISP	●	—
ZOOM DISPLAY	●	—
FOCUS DISP	●	—
SHUTTER DISP	●	—
LCD BRIGHT	●	●
LCD COLOR	●	●
LCD BL LEVEL	●	●
VF B.LIGHT	●	●
VF COLOR	●	●
VF POWERMODE	●	●
LETTER SIZE	●	●
REMAINING	●	●
DISP OUTPUT	●	●



(IN/OUT REC)メニュー(79ページ)

REC FORMAT	●	—
VCR HDV/DV	—	●
HDV PROGRE.	●	—
DV PROGRE.	●	—
DV REC MODE	●	●
DV WIDE REC	●	—
VIDEO OUT	●	●
i.LINK SET	●	●
EXT REC CTRL	●	—

00:00

(TC/UB SET)メニュー(83ページ)

TC PRESET	●	●
TC COUNTUP (AS)	●	●
UB PRESET	●	●
TC FORMAT	●	●
TC RUN	●	●
TC MAKE	●	●
TC LINK	●	—
UB TIME REC	●	●
UB-DATE/TC-TIME	●	●

POWERスイッチの位置:

CAMERA

VCR

**(MEMORY SET)メニュー**(86ページ)

☐ ALL ERASE	—	●
☐ FORMAT	●	●
FILE NO.	●	●
NEW FOLDER	●	●
REC FOLDER	●	●
PB FOLDER	—	●

**(OTHERS)メニュー**(87ページ)

CAMERA PROF.	●	●
ASSIGN BTN	●	●
CLOCK SET	●	●
WORLD TIME	●	●
LANGUAGE	●	●
PB ZOOM	—	●
QUICK REC HDV1080	●	—
DATE REC	●	—
BEEP	●	●
REC LAMP[F]	●	—
REC LAMP[R]	●	—
REMOTE CTRL	●	●
HOURS METER	●	●

メニューで設定を変更する

(CAMERA SET) メニュー

撮影状況に合わせるための設定(GAIN
SETUP/BACK LIGHT/
STEADYSHOTなど)

▶は、お買い上げ時の設定。

()内の表示が画面に出ます。

操作方法は60ページをご覧ください。

MENUボタンを押す→SEL/PUSH
EXECダイヤルで、 (CAMERA
SET)を選択すると表示されます。

IRIS/EXPOSURE (AS)

■ RING ASSIGN

アイリスリングに割り当てる機能を[IRIS]
(お買い上げ時の設定)、[EXPOSURE]か
ら選べます(27ページ)。

■ RING ROTATE

アイリスリングの回転方向を選びます。

▶ NORMAL

リングを時計回りに回すと暗くなる。

OPPOSITE

リングを反時計回りに回すと暗くなる。

🔔注意

- [RING ASSIGN]は、ASSIGNボタンに割り
当てることができません。
- AUTO/MANUALスイッチを「AUTO」にして
いるときは、IRIS/EXPOSUREボタンは使え
ません。

💡ちょっと一言

- AUTO/MANUALスイッチを「MANUAL」に
しているときに[RING ASSIGN]を変更する
と、アイリス、ゲイン、シャッタースピードの設
定方法が以下のように変わります。
 - [RING ASSIGN]を[IRIS]から
[EXPOSURE]に変更した場合
[IRIS]が自動調節であれば、変更後の
[EXPOSURE]は自動調節になり、[IRIS]が
手動調節であれば、変更後の[EXPOSURE]
は手動調節になります。
アイリス、ゲイン、シャッタースピードの各
設定値の横にが表示されているときにア

イリスリングで調節ができます。

ゲイン、シャッタースピードは、
[EXPOSURE]連動/手動調節の選択がで
きます。

- [RING ASSIGN]を[EXPOSURE]から
[IRIS]に変更した場合
[EXPOSURE]が自動調節であれば、変更後
の[IRIS]は自動調節になり、[EXPOSURE]
が手動調節であれば、変更後の[IRIS]は手動
調節になります。
ゲイン、シャッタースピードは、自動調節/
手動調節の選択ができます。

- [RING ROTATE]は、ASSIGNボタンに割り
当てることができます(43ページ)

GAIN SETUP

GAINスイッチ「H」「M」「L」の値を設定す
るときに選びます(お買い上げ時の設定
は、[H]:18dB、[M]:9dB、[L]:0dB)。

- ① SEL/PUSH EXECダイヤルで[H][M]
[L]のいずれかを選ぶ。
- ② SEL/PUSH EXECダイヤルでゲインの
設定値を選び、押して決定する。
–6dB~21dBの間で、3dB間隔で選択で
きます。数値が大きくなるほど、ゲインが
上がります。
- ③ SEL/PUSH EXECダイヤルで[OK]を選
ぶ。
- ④ MENUボタンを押して、メニュー画面を
消す。

SMOOTH GAIN

GAINスイッチを切り換えたときに、ゲイ
ンの設定値が変化するスピードを[FAST]
/[MIDDLE]/[SLOW]から選びます(お買
い上げ時の設定は[OFF])。

HYPER GAIN (AS)

[ON] (**HYPER**)に設定すると、ゲインの設
定を限界まで上げることができます(お買
い上げ時の設定は[OFF])。

⚠ご注意

- ハイパーゲイン使用中は、ノイズにより画質が劣化します。
- 電源を入れなおすと、自動的に[OFF](お買い上げ時の設定)に戻ります。
- [HYPER GAIN]を[ON]にして録画した場合やゲインを[-6dB]に設定して録画した場合、再生時にデータコード表示をすると、ゲインは[---]表示となります。

💡ちょっと一言

- 手動フォーカスでのご使用をおすすめします。

AGC LIMIT

オートゲインコントロール(AGC)の上限値を[OFF](21dB、お買い上げ時の設定)、[18dB]、[15dB]、[12dB]、[9dB]、[6dB]、[3dB]、[0dB]から選べます。

⚠ご注意

- ゲインを手動調節していると効果はありません。

MINUS AGC

[ON]に設定すると、ゲインの自動調節領域をマイナス領域まで広げることができます。特に、十分な光量が得られるときは、ゲインをマイナス領域まで変動させることで、より適切にゲイン設定を行うことができます。[MINUS AGC]を[ON]にしても本機のダイナミックレンジが狭くなることはありません。

▶ ON

ゲインを自動調節しているときに、状況に応じてマイナスゲインになる。

OFF

ゲインを自動調節しているときに、マイナスゲインにならない。

WB PRESET

プリセットホワイトバランスを使うときに選びます。詳しくは31ページをご覧ください。

WB OUTDR LVL

プリセットホワイトバランスが[OUTDOOR]時のオフセット量を設定します。
[-7](青め)～[0](標準)～[+7](赤め)から選びます(お買い上げ時の設定は[0])。

WB TEMP SET

プリセットホワイトバランスが[MANU WB TEMP]のときの色温度の値を設定します。
設定範囲: 2300K～15000K(100K単位)

ATW SENS

白熱電球やろうそくなど赤みの強い光源下や、屋外の日陰など青みの強い光源下でのオートホワイトバランスの動作を設定できます。

▶ INTELLIGENT

シーンの明るさに応じて自然な雰囲気になるように自動調節する。

HIGH

赤みや青みが減る。

MIDDLE

LOW

赤みや青みが増す。

⚠ご注意

- ホワイトバランスが自動調節されているときのみ有効です。
- 晴天時の日向では効果がありません。

MENUボタンを押す→SEL/PUSH EXECダイヤルで、 (CAMERA SET)を選択すると表示されます。

SMOOTH WB

ホワイトバランスメモリスイッチを切り換えたときに、色温度が変化するスピードを[FAST]/[MIDDLE]/[SLOW]から選びます(お買い上げ時の設定は[OFF])。

AE SHIFT **AS**

SEL/PUSH EXECダイヤルで明るさを-7(暗い)～+7(明るい)の範囲で調節できます(お買い上げ時の設定は[0])。お買い上げ時の設定以外にすると、**AS**と設定した数値が表示されます。

📌ご注意

- アイリス、シャッタースピード、ゲインの全てを手動調節していると効果はありません。
- [EXPOSURE]を手動調節にすると、[AE SHIFT]は無効になります。
- ハイパーゲイン設定時は効果がありません。

AE RESPONSE

被写体の明るさに追従して露出を自動調整する速度を選びます。[FAST]、[MIDDLE]、[SLOW]から選びます(お買い上げ時の設定は[FAST])。

AT IRIS LMT

アイリス設定が自動のとき、絞りの上限値を[F11] (お買い上げ時の設定)、[F9.6]、[F8]、[F6.8]、[F5.6]、[F4.8]、[F4]から選びます。

📌ご注意

- アイリスを手動調節していると効果はありません。

ECS FREQ.

モニター画面を撮影するとき、映像に水平方向の縞模様が出ないように、シャッタースピードを設定します。SEL/PUSH EXECダイヤルで設定値を変更し、押して

決定します(お買い上げ時の設定は[59.94Hz])。

あらかじめ拡張クリアスキャン(**ECS**)にすることで、シャッタースピードを設定することができます(29ページ)。

⇄ (IN/OUT REC)メニューの[HDV PROGRE.]または[DV PROGRE.]の[SCAN TYPE]の設定によって、設定できる周波数の範囲は以下になります。なお、⇄ (IN/OUT REC)メニューの[REC FORMAT]の設定により、[SCAN TYPE]の設定方法は異なります。
[HDV1080i]: [HDV PROGRE.]→[REC TYPE]→[SCAN TYPE]で設定
[DV]: [DV PROGRE.]→[SCAN TYPE]で設定

SCAN TYPE	設定できる範囲
60	59.94Hz～199.8Hz
30	29.97Hz～199.8Hz
24, 24A*	23.98Hz～199.8Hz

* [HDV PROGRE.]→[REC TYPE]→[INTERLACE]のときに設定可能です。

📌ご注意

- シャッタースピードを[ECS FREQ.]で設定して録画した場合、再生時にデータコード表示をする、シャッタースピードは[---]表示となります。

FLCKR REDUCE

▶ ON

通常の撮影時に選ぶ。
電源周波数が50Hzの蛍光灯などの光源下で画面のちらつきを軽減します。

OFF

フリッカー低減を行わない。

📌ご注意

- 照明によっては低減効果が現れないことがあります。

CNTRST ENHCR

[ON]にすると、逆光シーンなどコントラストが高い画像を検出して、画像の黒つぶれを自動で軽減します(お買い上げ時の設定は[OFF])。

ⓘ ご注意

- [BACK LIGHT]を[ON]にすると、設定が一時的に解除されます。

BACK LIGHT (AS)

[ON]に設定すると、が表示されて逆光補正されます(お買い上げ時の設定は[OFF])。

ⓘ ご注意

- 逆光補正中に[SPOTLIGHT]を[ON]にすると[BACK LIGHT]は[OFF]になります。
- [EXPOSURE]を手動調節にすると、[BACK LIGHT]は[OFF]になります。
- アイリス、ゲイン、シャッタースピードのうち2つ以上を手動で設定していると、[BACK LIGHT]は[OFF]になります。
- 逆光補正中に[HYPER GAIN]を[ON]にすると、[BACK LIGHT]は[OFF]になります。

SPOTLIGHT (AS)

[ON]()に設定すると、舞台など、強い光が当たっている被写体を撮影するとき、人物の顔などが白く飛んでしまうのを防げます(お買い上げ時の設定は[OFF])。

ⓘ ご注意

- スポットライト中に[BACK LIGHT]を[ON]に設定すると、[SPOTLIGHT]は[OFF]になります。
- [EXPOSURE]を手動調節にすると、[SPOTLIGHT]は[OFF]になります。
- アイリス、ゲイン、シャッタースピードのうち2つ以上を手動で設定していると、スポットライトは使えません。
- スポットライト中に[HYPER GAIN]を[ON]にすると、[SPOTLIGHT]は[OFF]になります。

STEADYSHOT (AS)

■ ON/OFF

手ブレ補正を使って撮影できます。三脚(別売り)を利用するときは、[OFF]()にすると自然な画像になります(お買い上げ時の設定は[ON])。

■ TYPE

撮影状況に合わせて手ブレ補正の効果を選ぶことができます。

HARD

強めに手ブレ補正を働かせる。
パン・ティルト撮影には向きません。

▶ STANDARD

通常の手ブレ補正を使う。

SOFT

自然な手ブレ感を残しつつ、手ブレ補正を働かせる。

WIDE CONV.

ワイドコンバージョンレンズ(別売り)を使って撮影する。
ソニー製のワイドコンバージョンレンズ(別売り)を使うときに最適な設定です。

AF ASSIST

[ON]に設定すると、オートフォーカスのとき、フォーカスリングを回して一時的に手動でピントを合わせることができます(お買い上げ時の設定は[OFF])。

ⓘ ご注意

- FOCUSスイッチが「AUTO」のときに有効です(26ページ)。

MENUボタンを押す→SEL/PUSH EXECダイヤルで、 (CAMERA SET)を選択すると表示されます。

FOCUS MACRO (AS)

80cm以内の被写体にもフォーカスを合わせることができます(お買い上げ時の設定は[ON])。

[OFF]()に設定すると、80cmより近い被写体にはフォーカスが合わなくなりますが、ズーム位置によらずフォーカス位置を細かく決めることができます。

HANDLE ZOOM

ハンドルズーム切り換えスイッチが「FIX」のとき、ズームスピードを[1](遅い)～[8](速い)から選べます(お買い上げ時の設定は[3])。

SPEED ZOOM

[ON]に設定すると、ズームレバーやハンドルズームレバーのズーム駆動速度が速くなります(お買い上げ時の設定は[OFF])。

ⓘ ご注意

- [ON]に設定すると、ズームの駆動音が動画に記録されることがあります。

D.EXTENDER (AS)

[ON]()に設定すると、約1.5倍に画像を拡大表示します。デジタル処理のため画質は劣化します。野鳥などの遠方の被写体を拡大するときに便利です(お買い上げ時の設定は[OFF])。

ⓘ ご注意

- 本機の電源を入れなおすと自動的に[OFF]になります。

FADER (AS)

場面間に、効果を入れながら、つなぎ撮りできます。

① スタンバイ中(フェードインのとき)または録画中(フェードアウトのとき)に使用したい効果を選ぶ。

② REC START/STOPボタンを押す。
フェーダー表示が点灯に変わり、終了後消えます。

操作開始前に解除するには①で[OFF]を選ぶ。

もう一度REC START/STOPボタンを押すと、設定は解除されます。



WHITE FADER



BLACK FADER



ⓘ ご注意

- 本機の電源を入れなおすと[FADER]は自動的に解除されます。

SMTH SLW REC (AS)

通常撮影では見ることができない高速な動作、現象を、なめらかなスローモーション映像として撮影します。ゴルフ、テニスなどの速い動きの撮影時に便利です。

[EXECUTE]を選んでから[SMTH SLW REC]画面で、REC START/STOPボタンを押す。

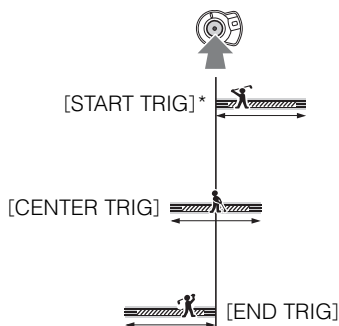
[REC TIME]で設定した秒数の記録が、約4倍のスローモーション映像として録画さ

れます。[Recording...]が消えると録画が完了します。

解除するにはMENUボタンを押します。撮影状況にあわせて[SMTH SLOW REC]の設定を選ぶことができます。

■ REC TIMING

[REC TIMING]を選択すると、REC START/STOPボタンを押して記録を開始するタイミングを選択できます。



* お買い上げ時の設定は[START TRIG]です。

■ REC TIME

記録時間を[3sec]、[6sec]、[12sec]から選択することができます(お買い上げ時の設定は[3sec])。録画時間が長いほど、画質は劣化します。

■ [D] TRIG

[ON]を選択すると、REC START/STOPボタンを押す代わりに、音に反応して自動的に記録を開始することができます(お買い上げ時の設定は[OFF])。[D] TRIGの設定は、電源を入れなおすと自動的に解除されます。

■ [D] TRIG LEVEL

[D] TRIGの反応音のレベルを[HIGH]、[MIDDLE]、[LOW]から選択することができます(お買い上げ時の設定は[HIGH])。

● ご注意

- 音声は記録されません。
- シャッタースピードは、[SMTH SLW REC]開始時に1/250秒に設定されます(1/250秒以下には設定できません)。
- 録画時間は条件により設定した時間より短くなることがあります。
- 通常撮影時より画質は劣化します。

🗣️ ちよっと一言

- ASSIGNボタンを押して[SMTH SLW REC]を実行した場合は、そのASSIGNボタンをもう一度押して解除することもできます。ASSIGNボタンについて詳しくは、43ページをご覧ください。
- [D] TRIGを[ON]に設定しているときに、REC START/STOPボタンで録画を開始することもできます。
- マイク音量を手動で小さく設定している場合は、[D] TRIGが動作しないことがあります。[D] TRIG LEVELを[MIDDLE]または[LOW]に設定することをおすすめします。

INTERVAL REC

一定時間ごとにテープへ画像を録画します。雲の動きや日照変化などを観察するときに便利です。再生するとなめらかに見えます。長時間撮影時は、ACアダプター/チャージャーから電源をとってください。



- ① SEL/PUSH EXECダイヤルで[ON/OFF] → [ON]を選ぶ。
- ② 1回の録画時間をお買い上げ時の設定([0.5sec])から変更する場合は次の手順を行う。変更しない場合は、③に進む。
SEL/PUSH EXECダイヤルで[REC TIME] → [0.5sec]、[1sec]、[1.5sec]、[2sec]から録画時間を選ぶ。
- ③ インターバル時間をお買い上げ時の設定([30sec])から変更する場合は次の手順を行う。変更しない場合は、④に進む。

MENUボタンを押す→SEL/PUSH EXECダイヤルで、 (CAMERA SET)を選択すると表示されます。

SEL/PUSH EXECダイヤルで
[INTERVAL]→[30sec]、[1min]、
[5min]、[10min]からインターバル時間
を選ぶ。

- ④ SEL/PUSH EXECダイヤルで[OK]を選ぶ。
- ⑤ MENUボタンを押して、メニュー画面を消す。
- ⑥ REC START/STOPボタンを押す。
インターバル録画が始まります。

中止するにはREC START/STOPボタンを押す。

REC START/STOPボタンを押すタイミングによって、以下のように動作します。
インターバル録画実行中に押したときは、
インターバル録画を一時停止します。もう
一度押すと、インターバル録画が始まります。

インターバル録画のインターバル中に押したときは、インターバル録画は停止し通常の録画が始まります。もう一度押すと通常録画が中止され、さらにもう一度押すとインターバル録画が始まります。

解除するにはSEL/PUSH EXECダイヤルで[ON/OFF]→[OFF]を選ぶ。

❖ご注意

- 録画時間とインターバル時間は、それぞれの設定時間と若干の誤差が生じることがあります。
- 手動でピントを合わせておくと、光が変化してもぼやけずに撮影できます。

DV FRAME REC DVCAM DV

本機を固定した状態で人形やおもちゃなどを少しずつ動かしながらコマ撮りをすると、アニメーションのような効果を出せます。リモコンを使うと手ブレを防げます。

▶ OFF

通常の撮影をする。

ON()

コマ撮りする。

- ① SEL/PUSH EXECダイヤルを回して[ON]を選び、押して決定する。
- ② MENUボタンを押して、メニュー画面を消す。
- ③ REC START/STOPボタンを押す。
1コマ(約6フレーム)分を撮影し、スタンバイに戻ります。
- ④ 被写体を動かし、手順 ③ を繰り返す。

❖ご注意

- 連続してコマ撮りをすると、テープ残量は正しく表示されません。
- 最終カットは通常の1コマよりも長くなります。
- コマ撮り中にはインデックスは打ち込めません。
- 本機の電源を入れなおすと自動的に[OFF]になります。

SHOT TRANSITION

ショットトランジションの[TRANS TIME]と[TRANS CURVE]、[START TIMER]、[REC LINK]を設定するときに選びます。ショットトランジションの操作方法については45ページをご覧ください。

■ TRANS TIME

遷移時間を[3.5sec]～[90.0sec]から選びます(お買い上げ時の設定は[4.0sec])。

■ TRANS CURVE

遷移カーブを選びます。

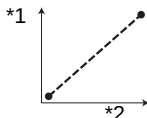
各モードのトランジションカーブは図のように遷移します。

* 1:パラメーター量

* 2:時間の遷移

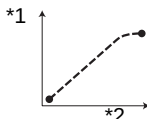
LINEAR

直線的に遷移したいときに選びます。



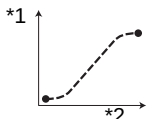
▶ SOFT STOP

終了地点付近をゆっくり遷移したいときに選びます。



SOFT TRANS

開始と終了地点付近はゆっくり遷移し、中間は直線的に遷移したいときに選びます。



④ご注意

- ショットトランジション登録/確認/実行中は[TRANS TIME]、[TRANS CURVE]の設定変更はできません。ASSIGN4ボタンを繰り返し押して、ショットトランジションの設定を解除してから設定変更してください。

■ START TIMER

ショットトランジションを開始するタイマーを設定します。

開始までの間隔を[5sec]、[10sec]、[20sec]から選べます(お買い上げ時の設定は[OFF])。

■ REC LINK

▶ OFF

録画開始と同時に遷移させない。

SHOT-A

録画開始と同時にSHOT-Aに遷移させる。

SHOT-B

録画開始と同時にSHOT-Bに遷移させる。

x.v.Color HDV1080i

[ON]に設定して撮影すると、より広い色域で記録できます(お買い上げ時の設定は[OFF])。今までは表現できなかった鮮やかな花の色や、南国の海の美しい青緑色などを再現することが可能になります。

④ご注意

- [ON]にして撮影した画像をx.v.Colorに非対応のテレビで再生すると、色が正しく再現されない場合があります。
- 次のとき[x.v.Color]は設定できません。
 - SD(標準)画質で記録するとき
 - 動画を撮影中
- [x.v.Color]が[ON]のとき、ピクチャプロファイルは無効になります。

COLOR BAR (AS)

■ ON/OFF

[ON]に設定するとカラーバーを表示したり、テープに記録することができます。本機で撮影した画像をテレビやモニターで見るときに、カラーバーを見ながら色味を調節するときに便利です(お買い上げ時の設定は[OFF])。

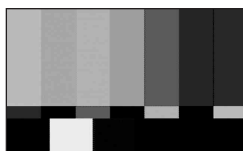
④ご注意

- 本機の電源を入れなおすと自動的に[OFF]になります。

■ TYPE

カラーバーのタイプを選べます。

MENUボタンを押す→SEL/PUSH
EXECダイアルで、 (CAMERA
SET)を選択すると表示されます。



TYPE1



TYPE2



TYPE3



TYPE4

(TYPE3に対して輝度75%)

■ TONE

[ON/OFF]を[ON]に設定して、[TONE]を
[ON]に設定すると、音声トーン信号(1kHz:
フルビット -20dB)を出力します(お買い
上げ時の設定は[OFF])。

(AUDIO SET) メニュー

録音に関する設定(DV AU. MODE/XLR
SETなど)

▶は、お買い上げ時の設定。
()内の表示が画面に出ます。

操作方法は60ページをご覧ください。

MENUボタンを押す→SEL/PUSH
EXECダイアルで、 (AUDIO SET)を
選択すると表示されます。

DV AU. MODE DVCAM DV 

FS32K(32k)

12ビットモード(4チャンネルの音声)で
DVCAM/DV SP記録する。

▶ FS48K(48k)

16ビットモード(高音質で2チャンネルの
音声)でDVCAM/DV SP記録する。

🔍ご注意

- HDV規格のときは、自動的に[FS48K]で記録
されます。
- DVCAM規格の条件を満たしていないときは
NSが表示されます(114ページ)。

AUDIO LIMIT

CH1/CH2に音割れ防止機能の設定をし
ます。

▶ OFF

機能を使わないときに選ぶ。

ON

機能を使うときに選ぶ。

🔍ご注意

- AUTO/MANスイッチが「MAN」のときのみに
有効です。

INT MIC SET

■ INT MIC NR

内蔵マイクから入るノイズを低減すると
きに選びます。

▶ ON

機能を使うときに選ぶ。
ステータスチェック画面に **NR** が表示されます。

OFF

機能を使わないときに選ぶ。

■ INT MIC SENS

内蔵マイク使用時の録音感度を設定します。

▶ NORMAL

業務用機器で一般的に使われる感度。

HIGH

民生用機器で一般的に使われる感度。
ステータスチェック画面に **SNS-HI** が表示されます。

■ INT MIC WIND

▶ OFF

内蔵マイクの風音低減をしないときに選ぶ。

ON

内蔵マイクの風音低減をするときに選ぶ。
ステータスチェック画面に **W** が表示されます。

XLR SET

■ XLR AGC LINK

外部マイク使用時のチャンネル1/2のAGC (Auto Gain Control) の連動/非連動を切り換えます。

▶ SEPARATE

AGC非連動にする(チャンネル1/2を別々の音声として記録する)。

LINKED

AGC連動にする(チャンネル1/2をステレオのように1組の音声として記録する)。

ステータスチェック画面に **A** が表示が出ます。

⚠ ご注意

AUTO/MANスイッチがCH1/CH2ともに「AUTO」で、INPUT1、INPUT2スイッチが両方とも「MIC」または両方とも「LINE」のときに有効です(41ページ)。

■ AU. MAN GAIN

外部マイク使用時のチャンネル1、2のオーディオレベルの連動/非連動を切り換えます。

▶ SEPARATE

オーディオレベル非連動にする(チャンネル1、2を別々の音声として記録する)。

LINKED (M2)

オーディオレベル連動にする(チャンネル1、2をステレオのように1組の音声として記録する)。
ステータスチェック画面に **M** が表示が出ます。

⚠ ご注意

- AUTO/MANスイッチがCH1/CH2ともに「MAN」で、INPUT1、INPUT2スイッチが両方とも「MIC」または両方とも「LINE」のときに有効です(41ページ)。
- [LINKED]設定時は、CH1のAUDIO LEVELダイヤルで音量調節できます(41ページ)。

■ INPUT1 MIC NR

マイクから入るノイズを低減するときに選びます。

▶ ON

機能を使うときに選ぶ。
ステータスチェック画面に **NR** が表示されます。

OFF

機能を使わないときに選ぶ。

⚠ ご注意

- INPUT1スイッチが「LINE」のとき、設定は無効です。

MENUボタンを押す→SEL/PUSH EXECダイヤルで、 (AUDIO SET)を選択すると表示されます。

■ INPUT1 TRIM

INPUT1端子から録音するときに、入力信号のレベルを調節します。

[-18dB]、[-12dB]、[-6dB]、[0dB]、
[+6dB]、[+12dB]から選びます(お買い上げ時の設定は[0dB])。

⚠ご注意

- INPUT1スイッチが「LINE」のとき、設定は無効です。

■ INPUT1 WIND

▶ OFF

INPUT1端子の風音低減をしない。

ON

INPUT1端子の風音低減をする。
ステータスチェック画面にが表示されます。

⚠ご注意

- INPUT1スイッチが「LINE」のとき、設定は無効です。

■ INPUT2 MIC NR

■ INPUT2 TRIM

■ INPUT2 WIND

INPUT2にも、それぞれINPUT1と同じ機能があります。

💡ちょっと一言

- 本機は-48dBuを0dBとして設計されています。
- 付属のマイク(ECM-XM1)をお使いのときは、[INPUT TRIM]を[0dB]に設定してください。
- 別売りのソニー製マイク(ECM-NV1)などの、一般的な感度のマイクをお使いのときは、[INPUT TRIM]を[+12dB]に設定してください。
- INPUT TRIM機能は外部マイク入力レベルを調節します。
感度の高いマイクや大きな音を記録する場合はマイナス側に、感度の低いマイクや小さな音を記録する場合はプラス側に調節してください。

- 大音量で音がひずむ場合、入力部でひずむ場合と記録部でひずむ場合があります。入力部でひずむ場合は、INPUT TRIM機能で調節してください。記録部でひずむ場合は、手動で全体的なレベルを下げてください。
- INPUT TRIMをマイナス側にしすぎると、マイク音量が小さくなりすぎ、S/Nが悪くなります。
- 使用するマイクや音場に合わせて、あらかじめテストをしてご使用ください。

AUDIO CH SEL

▶ CH1, CH2

CH1、CH2の音をそれぞれのチャンネルで再生する。

CH1

CH1の音をチャンネル1/2で再生する。

CH2

CH2の音をチャンネル1/2で再生する。

CH1+CH2

CH1とCH2の音声を合成した音をチャンネル1/2で再生する。

💡ちょっと一言

- [CH1, CH2]を選択して、本機のスピーカーで再生した場合は、CH1+CH2の音になります。
- [CH1+CH2]を選択した場合は、接続する機器の左右のスピーカーからは同じ音が出力されます。

DV AUDIO MIX

他機でアフレコや4CHマイク録音したテープの音声を再生時に確認できます。アフレコしたテープの再生時に、出力される音声を選びます。

▶ CH1, CH2

撮影時の音声(CH1、CH2)のみを出力する。

MIX

撮影時の音声(CH1、CH2)とアフレコ音声(CH3、CH4)を合成して出力する。

CH3, CH4

アフレコした音声(CH3、CH4)のみを出
力する。

(DISPLAY SET)

メニュー

画面/ファインダーの表示設定
(MARKER/VF B. LIGHT/DISP
OUTPUTなど)

▶は、お買い上げ時の設定。

()内の表示が画面に出ます。

操作方法は60ページをご覧ください。

MENUボタンを押す→SEL/PUSH
EXECダイヤルで、 (DISPLAY
SET)を選択すると表示されます。

ZEBRA (AS)

明るさ調整をするときの目安にすると便
利です。

■ ON/OFF

[ON]にすると、 とレベルが表示されま
す。テープや“メモリースティック デュオ”
にゼブラは記録されません(お買い上げ時の
設定は[OFF])。

■ LEVEL

輝度レベルを70~100または100+から選べ
ます(お買い上げ時の設定は[70])。

🗣️ ちちょっと一言

- ゼブラとは、画面に映る画像の中で、設定した
輝度レベル部分に表示される縞模様のこと
です。

HISTOGRAM

ヒストグラム(画像の明るさの分布を表し
た図(グラフ))を見ながら、アイリスを調
節できます(27ページ)。明るさを調節す
るときの目安にすると便利です。テープや
“メモリースティック デュオ”にヒスト
グラムは記録されません。

▶ OFF

ヒストグラムを表示しない。

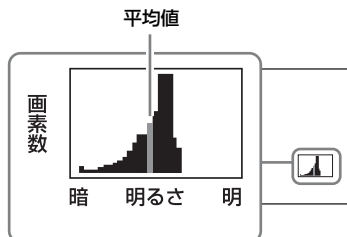
NORMAL

ヒストグラムを表示する。

MENUボタンを押す→SEL/PUSH EXECダイヤルで、 (DISPLAY SET)を選択すると表示されます。

ADVANCE

ヒストグラム上に画像の中心部(マーカー表示部分)の平均値を示すバーを表示する。



💡ちょっと一言

- グラフの左側は画面の暗い部分、右側は明るい部分を示します。
- [ZEBRA]設定時には、ヒストグラム上にガイドが表示されます。

PEAKING (AS)

■ ON/OFF

[ON]に設定すると、画面上に画像の輪郭が強調して表示されるので、ピントが合わせやすくなります(お買い上げ時の設定は[OFF])。

■ COLOR

ピーキングの色を[WHITE]、[RED]、[YELLOW]から選べます(お買い上げ時の設定は[WHITE])。

■ LEVEL

ピーキング感度を[HIGH]、[MIDDLE]、[LOW]から選べます(お買い上げ時の設定は[MIDDLE])。

🔔ご注意

- 輪郭強調された画像はテープや“メモリスティック デュオ”に記録されません。

💡ちょっと一言

- 拡大フォーカス(27ページ)と一緒に使うと、ピントが合わせやすくなります。

MARKER (AS)

■ ON/OFF

[ON]にするとマーカーが表示されます(お買い上げ時の設定は[OFF])。

テープや“メモリスティック デュオ”にマーカーは記録されません。

■ CENTER

[ON]にすると画面の中心にマーカーを表示する(お買い上げ時の設定は[ON])。



■ ASPECT

[4:3]、[13:9]、[14:9]から選んだアスペクト比位置にマーカーを表示する(お買い上げ時の設定は[OFF])。



■ SAFETY ZONE

[80%]または[90%]を選ぶと、一般的な家庭用テレビで受信できる範囲を選んでマーカーを表示する(お買い上げ時の設定は[OFF])。



■ GUIDEFAME

[ON]に設定すると、フレームを表示して被写体が水平/垂直になっているかを確認できる(お買い上げ時の設定は[OFF])。



🔔ご注意

- マーカー表示中は、外部出力端子から画面表示を出力することはできません。
- [DATE REC]が[ON]のときは、マーカー表示できません。

💡ちょっと一言

- すべてのマーカーを同時に表示できます。

- [GUIDEFAME]の交差点に被写体を置くと、バランスの良い構図になります。
- マーカー表示は、LCDパネルとファインダーのみに表示されます(外部に出力することはできません)。

EXP.FOCUS TYPE

拡大フォーカスの表示方法を設定できます。

▶ TYPE 1

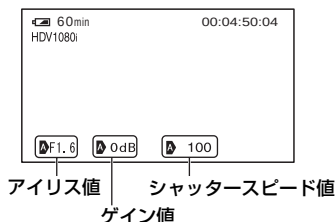
画像をそのまま拡大する。

TYPE 2

画像を白黒にして拡大する。

CAM DATA DSP

[ON]にするとアイリス、シャッタースピード、ゲインの値を常に表示します(お買い上げ時の設定は[OFF])。

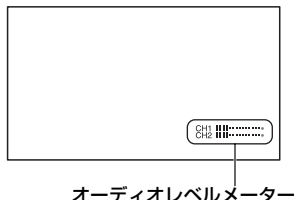


💡ちよつと言

- カメラデータ表示の設定に関わらず、マニュアル設定時は設定値が表示されます。
- **A** は自動設定されていることを示します。
- DATA CODEボタンを押したときに表示される項目とは異なります(51ページ)。

AU. LVL DISP

画面にオーディオレベルメーターが表示されます(お買い上げ時の設定は[ON])。



ZOOM DISPLAY

▶ BAR

ズーム位置をバーで表示する。

NUMBER

ズーム位置を数値(0~99)で表示する。

FOCUS DISP

マニュアルフォーカス時の焦点距離の表示方法を変更できます。

▶ METER

フォーカスをメートルで表示する。

FEET

フォーカスをフィートで表示する。

SHUTTER DISP

シャッタースピードの表示方法を変更できます。

▶ SECOND

シャッタースピードを秒で表示する。

DEGREE

撮像素子から読み出す周期と同じスピードを360°として表示する。

— [SCAN TYPE]が[60]設定時: 1/60で360°

— [SCAN TYPE]が[24]、[24A]設定時: 1/24で360°

MENUボタンを押す→SEL/PUSH EXECダイヤルで、 (DISPLAY SET)を選択すると表示されます。

— [SCAN TYPE]が[30]設定時: 1/30で
360°

[SCAN TYPE]の設定について詳しくは、
[HDV PROGRE.] (80ページ)または
[DV PROGRE.] (81ページ)をご覧ください。

📢ご注意

- DATA CODEボタンを押したときに表示されるシャッタースピードは、この設定にかかわらず秒表示となります。

💡ちょっと一言

- 360° より長いシャッタースピードの場合は、360° の整数倍(360° ×2など)で表示します。

LCD BRIGHT

液晶画面の明るさを調節できます。録画される画像に影響はありません。

💡ちょっと一言

- 液晶画面バックライトを消すこともできます(16ページ)。

LCD COLOR

液晶画面の濃さを調節できます。録画される画像に影響はありません。

LCD BL LEVEL

液晶画面バックライトの明るさを調節できます。

▶ NORMAL

通常の設定(標準の明るさ)。

BRIGHT

画面が暗いと感じたときに選ぶ。

📢ご注意

- コンセントにつないで使うと、設定は自動的に[BRIGHT]になります。
- [BRIGHT]を選ぶと、バッテリー撮影可能時間が若干短くなります。

VF B. LIGHT

ファインダーの明るさを調節できます。

▶ NORMAL

通常の設定(標準の明るさ)。

BRIGHT

ファインダーが暗いと感じたときに選ぶ。

📢ご注意

- コンセントにつないで使うと、設定は自動的に[BRIGHT]になります。
- [BRIGHT]を選ぶと、バッテリー撮影可能時間が若干短くなります。

VF COLOR

▶ ON

ビューファインダーをカラーで表示させる。

OFF

ビューファインダーを白黒で表示させる。

VF POWERMODE

▶ AUTO

液晶画面を閉じたときと対面撮影時に、ファインダーが点灯する。

ON

常にファインダーが点灯する。

LETTER SIZE

▶ NORMAL

通常の大きさでメニュー表示する。

2x

選択されたメニュー項目を縦2倍角で表示する。

REMAINING

▶ AUTO

次のときにテープ残量を約8秒間表示する。

- カセットが入った状態でPOWERスイッチを「VCR」か「CAMERA」にしたとき
- ▶(再生)ボタンまたはDISPLAY/BATT INFOボタンを押したとき

ON

テープ残量を常に表示する。

新品のテープやテープトップまで巻き戻したテープを挿入したときは、テープ残量は表示されません。テープの再生や録画を開始すると、テープ残量が表示されます。

DISP OUTPUT

タイムコードなどの画面表示の出力先を設定します。

▶ LCD PANEL

ファインダーと液晶画面に出力する。

V-OUT/PANEL

ファインダー、映像音声出力と液晶画面に出力する。

ALL OUTPUT

ファインダー、HDMI出力、コンポーネント出力、映像音声出力と液晶画面に出力する。

⚠ご注意

- [MARKER]が「ON」のときは、画面表示を外部出力できません。

⇄ (IN/OUT REC)

メニュー

録画、入出力に関する設定(REC FORMAT/HDV PROGRE./VIDEO OUT/EXT REC CTRLなど)

▶は、お買い上げ時の設定。

()内の表示が画面に出ます。

操作方法は60ページをご覧ください。

MENUボタンを押す→SEL/PUSH EXECダイヤルで、⇄ (IN/OUT REC) を選択すると表示されます。

REC FORMAT

撮影する録画規格を選択できます。

▶ HDV1080i(HDV1080i)

HDV規格の1080i方式で撮影する。

DV(DVCAM DV 型)

DVCAM(DV)規格で撮影する。

DVCAM(DV)規格で撮影するときは、[DV REC MODE]も設定する。

⚠ご注意

- 撮影中の画像をi.LINK出力するときは、必要に応じて[i.LINK SET] (82ページ)もあわせて設定してください。

VCR HDV/DV

再生するときの信号を選びます。通常は[AUTO]に設定してください。

i.LINKケーブル接続時は、HDV/DV端子(i.LINK)から入力/出力する信号を選びます。ここで選択した信号をテープに記録/再生します。

▶ AUTO

テープ再生時、自動でHDV/DV規格の信号を切り換えて、再生する。

i.LINK接続時は、自動でHDV/DVCAM(DV)規格の信号に切り換えて、HDV/DV端子(i.LINK)から入出力して、記録/再生する。

MENUボタンを押す→SEL/PUSH EXECダイヤルで、 (IN/OUT REC)を選択すると表示されます。

HDV (HDV1080i)

テープ再生時、HDV規格で記録された部分のみ再生する。

i.LINK接続時はHDV規格の信号のみを、 HDV/DV端子 (i.LINK) から入出力して、記録/再生する。また、パソコンなどと接続するときに選ぶ。

DV (DVCAM DV 型)

テープ再生時、DVCAM (DV) 規格で記録された部分のみ再生する。

i.LINK接続時はDVCAM (DV) 規格の信号のみを、 HDV/DV端子 (i.LINK) から入出力して、記録/再生する。また、パソコンなどと接続するときに選ぶ。

●ご注意

- 設定を変える前に、必ずi.LINKケーブルを抜いてください。つないだまま設定を変えると、ビデオ機器が映像信号を正しく認識できないことがあります。
- [AUTO] を選ぶと、HDVとDVCAM (DV) の信号が切り替わるときに一時画面が消えて、画像と音声途切れます。
- [i.LINK SET] → [HDV → DV CONV] が [ON] になっているときは、次の信号が出力されません。
 - [AUTO] のときは、HDV信号はDVCAM (DV) に変換され、DVCAM (DV) 信号はそのまま出力されます。
 - [HDV] のときは、HDV信号はDVCAM (DV) に変換され、DVCAM (DV) 信号の部分は出力されません。
 - [DV] のときは、DVCAM (DV) 信号はそのまま出力され、HDV信号の部分は出力されません。

HDV PROGRE.

■ REC TYPE

HDV規格での録画方式を [INTERLACE] (お買い上げ時の設定)、[PROGRESSIVE] から選びます。

■ SCAN TYPE

HDV規格でのスキャン方式を選ぶことができます。

▶ 60

インターレース方式で撮影する。

24

映画と同じ1秒間24コマの動画を撮影する。

24A

映画と同じ1秒間24コマの動画を撮影する。

HDV規格で記録するときは記録開始毎に60i変換の位相をリセットします。

30

CM撮影などと同じ1秒間30コマの動画を撮影する。

●ご注意

- [REC TYPE] によって、選べる [SCAN TYPE] は異なります。
 - [INTERLACE]: [60]/[24]/[24A]/[30]
 - [PROGRESSIVE]: [24]/[30]
- REC TYPEを [PROGRESSIVE] 設定で記録したテープは、これに対応した機器でしか再生できません。
- [24A] でHDV規格で記録すると、タイムコードが正しくつながりません。また、再生時、場面と場面の間が一瞬止まりますが、i.LINKケーブルで本機とパソコンをつなぎパソコンに動画を取り込むと、通常の動画として扱うことができます。
- [REC TYPE] が [PROGRESSIVE] で [SCAN TYPE] が [24] のときは、画像やタイムコードは24フレーム/秒で記録され、画面表示部分は30フレーム/秒で表示されます。外部出力するときは30フレーム/秒で出力されますが、 HDV/DV端子を使った外部出力の場合は、 (IN/OUT REC) メニュー → [i.LINK SET] → [HDV → DV CONV] の設定により、それぞれ以下のように出力されます。
[OFF] に設定: 24フレーム/秒で出力
[ON] に設定: 30フレーム/秒で出力

HDV/DV端子を使わないで外部出力した場合は、30フレーム/秒で出力されます。

DV PROGRE. DVCAM DV 変換

■ SCAN TYPE

DVCAM/DV規格でのスキャン方式を選ぶことができます。

▶ 60

インターレース方式で撮影する。

24

映画と同じ1秒間24コマの動画を撮影する。

30

CM撮影などと同じ1秒間30コマの動画を撮影する。

DV REC MODE DVCAM DV 変換

[REC FORMAT]が[DV]のときのみ有効です。

▶ DVCAM(DVCAM)

DVCAM方式で録画する。

DV SP(DV 変換)

DV方式のSP(標準)モードで録画する。
DVCAM方式に比べ、長時間録画できる。

⚠ ご注意

- DV SPモードで録画したテープを他機で再生すると、モザイク状のノイズが現れたり、音声が途切れたりすることがあります。
- テープの途中でDVCAMとDV SPモードを切り換えると、画像が乱れたり、タイムコードが正しくつながらないことがあります。

DV WIDE REC DVCAM DV 変換

つなぐテレビの画像の比率に合った画像サイズで撮影できます。テレビの取扱説明書もあわせてご覧ください。

▶ ON

ワイド(16:9)テレビ画面いっぱいに映るように撮影する。

OFF(4:3)

4:3テレビ画面いっぱいに映るように撮影する。

⚠ ご注意

- 再生時に接続するテレビに合わせて[DV WIDE CONV]を正しく設定してください(82ページ)。
- HDV規格で録画する場合は、画像サイズは16:9に固定され、4:3にできません。

VIDEO OUT

■ COMPONENT

コンポーネント端子のあるテレビとつなぐときに選びます。

480i

480iに対応したテレビとつなぐときに選ぶ。

▶ 1080i/480i

1080iに対応したテレビとつなぐときに選ぶ。

■ DOWN CONVERT

HDV規格の映像信号出力形式を設定します。以下の出力に対して有効です。

- COMPONENT出力(480i出力)
- S VIDEO出力
- AUDIO/VIDEO出力

▶ SQUEEZE

画面の天地をいかし、水平方向に圧縮して出力する。

LETTER BOX

垂直方向を圧縮することにより、縦横比を損なうことなく出力する。

EDGE CROP

画面の天地をいかし、左右を切り捨てる方法で出力する。

MENUボタンを押す→SEL/PUSH EXECダイヤルで、 (IN/OUT REC)を選択すると表示されます。

●ご注意

- [DV WIDE REC]を[ON]にしてDVCAM (DV)規格で撮影したテープを4:3テレビで見ると、接続するテレビによっては、画面の天地はそのままで、水平方向を圧縮して再生します。そのような4:3テレビで見るときは、[DV WIDE CONV]を[LETTER BOX]または[EDGE CROP]に設定してください。

■ DV WIDE CONV

DVワイド規格の映像信号出力形式を設定します。

以下の出力に対して有効です。

- COMPONENT出力(480i出力)
- S VIDEO出力
- AUDIO/VIDEO出力

▶ SQUEEZE

画面の天地をいかし、水平方向に圧縮して出力する。

LETTER BOX

垂直方向を圧縮することにより、縦横比を損なうことなく出力する。

EDGE CROP

画面の天地をいかし、左右を切り捨てる方法で出力する。

i.LINK SET

■ HDV→DV CONV

[ON]に設定すると、HDV規格の信号をDV規格に変換して、HDV/DV端子(i.LINK)から出力します。DV規格の信号は、そのままDV規格で出力されます(お買い上げ時の設定は[OFF])。

■ DOWN CONVERT

[HDV→DV CONV]を[ON]に設定した場合の、HDV規格の映像信号出力形式を設定します。

▶ SQUEEZE

画面の天地をいかし、水平方向に圧縮して出力する。

EDGE CROP

画面の天地をいかし、左右を切り捨てる方法で出力する。

●ご注意

- i.LINK入力については、[VCR HDV/DV]をご覧ください(79ページ)。
- 設定を変える前に、必ずi.LINKケーブルを抜いてください。つないだまま設定を変えると、ビデオ機器が映像信号を正しく認識できないことがあります。

EXT REC CTRL

本機とHDV/DVCAM/DV対応の機器(デジタルHDビデオカメラレコーダーやデジタルビデオカメラレコーダー、ハードディスクレコーダーなど)をi.LINKケーブルでつなぎ、本機と他機で同時に撮影したり、本機から他機へ連続して撮影することができます。

接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

■ REC CTL MODE

▶ OFF

他機で録画を行わない。

SYNCHRONOUS(EXT)

本機の録画操作に連動して、他機側でも同時に映像、音声、タイムコードを記録する。

RELAY(EXT)

本機で撮影中のテープが終了近くになったら、他機で映像、音声、タイムコードを続けて記録する。

EXT ONLY(EXT)

本機のREC START/STOPボタンで外部レコーディングユニット*を操作できます。

* HVR-MRC1(別売り)またはHVR-DR60(別売り)

④ ご注意

- [EXT ONLY]に設定すると、テープがセットされていなくても **00** は点滅しません。
- [EXT ONLY]に設定すると、本機のREC START/STOPボタンが外部レコーディングユニット用の録画ボタンとして割り当てられます。テープに録画する場合は、ビデオ操作部のRECボタンで録画開始、STOPボタンで録画停止できます(129ページ)。
- [EXT ONLY]に対応していない外部レコーディングユニットが接続されている場合は、**EXT** (EXT ONLY) が点滅します。

■ STBY COMMAND

▶ REC PAUSE

本機の録画停止操作で、他機をREC PAUSE状態にして録画停止する。

STOP

本機の録画停止操作で、他機をSTOP状態にして録画停止する。

00:00 (TC/UB SET)

メニュー

(TC PRESET/UB PRESET/TC LINK など)

▶は、お買い上げ時の設定。

()内の表示が画面に出ます。

操作方法は60ページをご覧ください。

MENUボタンを押す→SEL/PUSH EXECダイヤルで、**00:00** (TC/UB SET) を選択すると表示されます。

TC PRESET

■ PRESET

タイムコードをプリセットします。

- ① SEL/PUSH EXECダイヤルを回して[TC PRESET]を選び、押して決定する。
- ② SEL/PUSH EXECダイヤルを回して[PRESET]を選び、押して決定する。
- ③ SEL/PUSH EXECダイヤルを回して最初の2桁の数値を選び、押して決定する。
タイムコードは、00:00:00:00～23:59:59:29の範囲で設定します。
- ④ 手順③と同様にして、他の桁を設定する。
- ⑤ SEL/PUSH EXECダイヤルを回して[OK]を選び、押して決定する。

■ RESET

タイムコードをリセット(00:00:00:00)します。

PRESETの手順④で[RESET]を選ぶ。

TC COUNTUP (AS)

実行すると、タイムコードの時をひとつ繰り上げて、分、秒、フレームを00にします。

④ ご注意

[TC MAKE]が[PRESET]に設定されているときに実行可能です。

MENUボタンを押す→SEL/PUSH EXECダイヤルで、**00:00** (TC/UB SET)を選択すると表示されます。

UB PRESET

■ PRESET

ユーザービットをプリセットします。

- ① SEL/PUSH EXECダイヤルを回して [UB PRESET] を選び、押して決定する。
- ② SEL/PUSH EXECダイヤルを回して [PRESET] を選び、押して決定する。
- ③ SEL/PUSH EXECダイヤルを回して最初の2桁の数値を選び、押して決定する。
- ④ 手順③と同様にして、他の桁を設定する。
- ⑤ SEL/PUSH EXECダイヤルを回して [OK] を選び、押して決定する。

■ RESET

ユーザービットをリセット(00 00 00 00)します。

PRESETの手順①で[RESET]を選ぶ。

TC FORMAT

タイムコードの記録方式を選びます。

▶ AUTO

タイムコードの記録方式を、すでにテープに記録されている方式に自動的に合わせる。

DF

タイムコードをドロップフレーム方式で記録する。

NDF

タイムコードをノンドロップフレーム方式で記録する。

💡ちょっと一言

ドロップフレームとは

タイムコードは30フレームを1秒として処理されますが、実際のNTSC映像信号のフレーム周波数は約29.97フレーム/秒のため、長時間記録しているうちに実時間とタイムコードにズレが生じてきます。これらを補正してタイムコードと実時間が等しくなるようにしたのがドロップフレームです。ドロップフレームでは毎10分目を除く各分の最初の2フレームが間引かれます。こ

のような補正のないものをノンドロップフレームと呼びます。

TC RUN

タイムコードの歩進を選びます。

▶ REC RUN

記録中のみタイムコードが歩進する。つなぎ撮りをしたテープの上のタイムコードに連続して記録する。

FREE RUN

本機の操作に関係なく、連続してタイムコードが歩進する。
タイムコードを実時間に合わせる。

TC MAKE

▶ REGENERATE

つなぎ撮り中に、テープに記録させたタイムコードを読み取り、その値に連続するように記録する。
[TC RUN]の設定に関わらず、タイムコードは[REC RUN]モードで歩進します。

PRESET

新たに設定したタイムコードをテープに記録する。

TC LINK

複数のカムコーダーのタイムコードを同期させることができます。

複数のカムコーダーで撮影するときタイムコードを同期させておくと、編集などで便利になります。

- ① タイムコードを発生させるカメラ(親機)と、親機のタイムコードに合わせるカメラ(子機)を決める。親機にはテープを入れておく。
- ② 親機、子機共にPOWERスイッチを「CAMERA」にする。
- ③ 親機と子機をi.LINK ケーブルで接続する。

④ 親機、子機共、以下のメニュー設定を行う。

- [TC RUN]を[FREE RUN]に設定(84ページ)。
- [TC MAKE]を[PRESET]に設定(84ページ)。
- [TC FORMAT]を親機、子機ともに同じ設定にする(84ページ)。

～以下、子機側の動作～

⑤ [TC/UB SET]→[TC LINK]を選択する。

[Synchronize TC with connected device?]のメッセージが表示される。

⑥ [YES]を選び、子機のタイムコードを親機のタイムコードと同期させる。

同期が完了したら、i.LINK ケーブルを抜く。

同期したタイムコードで撮影できます。

⚠️ ご注意

- 3台以上で[TC LINK]する場合は、1台の親機から複数台の子機に上記手順を繰り返してください。
- タイムコードをあわせた後、時間経過に伴い数フレーム程度ずれることがあります。
- 電源を入れ直すと数フレームタイムコードがずれることがあります。
電源を入れ直したあとは、再度[TC LINK]を実行することをおすすめします。

UB TIME REC

▶ OFF

時刻をユーザービットコードとして記録しない。

ON

時刻をユーザービットコードとして記録する。

UB-DATE/TC-TIME

実行すると、本機に設定されている日付がユーザービットに、時刻がタイムコードに設定されます。

⚠️ ご注意

- 以下のときに設定可能です。
 - [TC MAKE] : [PRESET]
 - [TC RUN] : [FREE RUN]
 - [UB TIME REC] : [OFF]
- 時間経過に伴い、設定したタイムコードと実時刻にズレが生じることがあります。撮影を開始する前に再度[UB-DATE/TC-TIME]を実行することをおすすめします。
- 実際の日付が変わったときでも、ユーザービットの日付は自動更新されません。

(MEMORY SET)

メニュー

“メモリスティック デュオ”に関する設定(ALL ERASE/FORMATなど)

▶は、お買い上げ時の設定。
()内の表示が画面に出ます。

操作方法は60ページをご覧ください。

MENUボタンを押す→SEL/PUSH EXECダイヤルで、 (MEMORY SET)を選択すると表示されます。

ALL ERASE

プロテクトのかかっていない“メモリスティック デュオ”内または選択フォルダ内の全画像を消します。

① [ALL FILES]か[CURRENT FLDR]を選ぶ。

[ALL FILES]: “メモリスティック デュオ”内のすべての画像を消去。

[CURRENT FLDR]: 選択しているフォルダ内のすべての画像を消去。

② SEL/PUSH EXECダイヤルで

[YES]→[YES]を選ぶ。

[ Erasing all data...]と表示される。プロテクトのかかっていないすべての画像が消去されると、[Completed.]と表示される。

ご注意

- 誤消去防止スイッチのある“メモリスティック デュオ”は、誤消去防止を解除する(115ページ)。
- 全消去しても、フォルダは消去されません。
- [ Erasing all data...]が表示されているとき、次の操作はしないでください。
 - POWERスイッチ/ボタン操作
 - “メモリスティック デュオ”の取り出し

FORMAT

“メモリスティック デュオ”はお買い上げ時にフォーマット済みのため、フォーマットする必要はありません。フォーマットを実行するには[YES]→[YES]の順に選ぶ。

ご注意

- [ Formatting...]が表示されているとき、次の操作はしないでください。
 - POWERスイッチ/ボタン操作
 - “メモリスティック デュオ”の取り出し
- 新しく作成したフォルダやプロテクトのかかっている画像もすべて消去されます。

FILE NO.

▶ SERIES

“メモリスティック デュオ”を取り換えても、ファイル番号を連続して付ける。フォルダを新しく作成、または記録先フォルダを変更した場合はリセットされる。

RESET

“メモリスティック デュオ”ごとに、ファイル番号を0001から付ける。

NEW FOLDER

[YES]を選ぶと“メモリスティック デュオ”内に、新フォルダ(102MSDCF～999MSDCFまで)を作成できます。1つのフォルダの静止画が9,999枚になると、自動的に新フォルダを作成します。

ご注意

- 1度作成した新フォルダは、本機で削除できません。“メモリスティック デュオ”をフォーマットするか(86ページ)、パソコンなどで削除してください。
- フォルダが増えると、“メモリスティック デュオ”の残量が減ることもあります。

■ (OTHERS)

メニュー

テープ撮影時の設定や、各種基本設定
(QUICK REC/BEEPなど)

▶は、お買い上げ時の設定。

()内の表示が画面に出ます。

操作方法は60ページをご覧ください。

MENUボタンを押す→SEL/PUSH EXECダイアルで、 (OTHERS)を選択すると表示されます。

CAMERA PROF.

カメラの設定内容をカメラプロフィールとして“メモリースティック デュオ”に99個まで、本機内に2つまで保存できます。保存した設定を使って適切なセットアップ状態をすばやく再現できます。また、本機を複数台同じ設定で使用したい場合は、“メモリースティック デュオ”に設定値を保存して、他のカメラで保存した設定値を読み出すことができます。

💡ちよっと一言

- カメラプロフィールで保存される項目はメニュー、ピクチャープロフィール、ボタンなどの設定値です。これらの設定値をまとめてカメラプロフィールに保存します。

■ カメラプロフィールを読み込む

カメラプロフィールを読み込んで、設定を実行します。

- ① SEL/PUSH EXECダイアルで[LOAD]を選ぶ。
- ② SEL/PUSH EXECダイアルで読み込むカメラプロフィールを選ぶ。
- ③ 確認画面で [YES] を選択する。
いったん本機が再起動して、選択したカメラプロフィールが反映される。

📌ご注意

- 異なる型名の機種で保存したカメラプロフィールやパソコンなどで編集したカメラプロフィールは読み込めません。

REC FOLDER

SEL/PUSH EXECダイアルで記録するフォルダを選んでSEL/PUSH EXECダイアルを押す。

💡ちよっと一言

- お買い上げ時の設定では、ファイルは「101MSDCF」に記録されます。
- いったん画像を記録すると、そのとき選ばれている記録先フォルダが、再生フォルダに設定されます。

PB FOLDER

SEL/PUSH EXECダイアルで再生するフォルダを選んでSEL/PUSH EXECダイアルを押す。

MENUボタンを押す→SEL/PUSH EXECダイヤルで、 (OTHERS)を選択すると表示されます。

■ カメラプロフィールを保存する

- ① SEL/PUSH EXECダイヤルで[SAVE]を選ぶ。
- ② SEL/PUSH EXECダイヤルで、“メモリースティック デュオ”に保存する場合は[MEMORY STICK]、本機内に保存する場合は[CAMERA]を選ぶ。
- ③ SEL/PUSH EXECダイヤルで[NEW FILE]、または既存のプロファイル名を選ぶ。
- ④ SEL/PUSH EXECダイヤルで、確認画面で[YES]を選ぶ。
カメラプロフィールが保存されます。

👉ちょっと一言

- [MEMORY STICK]で[NEW FILE]を選んだ場合、プロフィール名は[MS01](初めて保存する場合)になります。
- [CAMERA]で[NEW FILE]を選んだ場合、プロフィール名は[CAM1]または[CAM2]になります。
- 既存のカメラプロフィールを保存先に選んだ場合は上書き保存されます。
- “メモリースティック デュオ”に保存した設定はパソコンで閲覧、編集できません。
- 静止画撮影した“メモリースティック デュオ”に設定値を保存できます。

■ プロファイル名を変える

保存したカメラプロフィールの名前を変えられます。

- ① SEL/PUSH EXECダイヤルで[PROFILE NAME]を選ぶ。
- ② SEL/PUSH EXECダイヤルで名前を変えるカメラプロフィールを選ぶ。
プロフィール名画面になる。
- ③ SEL/PUSH EXECダイヤルで名前を入力する。

👉ちょっと一言

- 名前の入力方法はピクチャプロフィールの名前の設定方法と同じです(40ページ)。

- ④ SEL/PUSH EXECダイヤルで[OK]を選び、押して決定する。
プロフィール名が変更されます。

■ カメラプロフィールを削除する

- ① SEL/PUSH EXECダイヤルで[DELETE]を選ぶ。
- ② SEL/PUSH EXECダイヤルで削除するカメラプロフィールを選ぶ。
- ③ 確認画面で[YES]を選択する。

■ カメラプロフィールをコピーする

本機に保存したカメラプロフィールを“メモリースティック デュオ”にコピーできます。

- ① SEL/PUSH EXECダイヤルで[COPY]を選ぶ。
- ② SEL/PUSH EXECダイヤルでコピーしたいカメラプロフィールを選ぶ。
- ③ コピー先メディア(カメラ本体または“メモリースティック デュオ”)を選ぶ。
- ④ SEL/PUSH EXECダイヤルで[NEW FILE]または既存のプロファイル名を選ぶ。
- ⑤ 確認画面で[YES]を選択する。

👉ちょっと一言

- “メモリースティック デュオ”に保存したカメラプロフィールを本機にコピーすることもできます。

ASSIGN BTN

43ページをご覧ください。

CLOCK SET

18ページをご覧ください。

WORLD TIME

海外で使うときは、SEL/PUSH EXECダイヤルで時差を設定し、現地時刻に合わせる。時差を0に設定すると元の設定に戻ります。

LANGUAGE

日本語

メニュー項目などの画面表示やお知らせメッセージを日本語で表示する。

▶ ENGLISH

メニュー項目などの画面表示やお知らせメッセージを英語で表示する。

ENG[SIMP]

メニュー項目などの画面表示やお知らせメッセージを簡易英語で表示する。

PB ZOOM

[ON]に設定すると、再生中の動画をハンドルズームレバーで約1.1倍～約5倍の範囲で拡大表示できます（お買い上げ時の設定は[OFF]）。静止画の再生時は、約1.5倍～約5倍の範囲で拡大表示できます。終了するには、ハンドルズームレバーのW側を押し続けてください。

🗨️ちよつと言

- 再生ズーム中に、SEL/PUSH EXECダイヤルを押してから回すと、左右にズーム位置を変更できます。SEL/PUSH EXECダイヤルをもう一度押してから回すと、上下にズーム位置を変更できます。

QUICK REC HDV1080i

[ON]に設定すると、POWERスイッチが「OFF」の状態から録画を再開するときに、撮影開始までの時間を少し短縮することができます。

▶ OFF

撮影開始までの時間は少しかかるが、つなぎめがきれいに撮れる。

ON(Q.REC)

POWERスイッチが「OFF」の状態からの撮影開始時間を短縮できる。
録画チャンスを逃したくないときに選びます。

🗨️ちよつと言

- [ON]にすると、場面と場面の間が一瞬止まります。（パソコンでの編集をおすすめします。）
- 撮影スタンバイの状態が約3分以上続くと、自動的にドラムの回転が止まり、スタンバイ状態が解除されます。これはテープを保護し、バッテリーの消耗を防ぐためです。録画を再開するには、もう一度REC START/STOPボタンを押してください。

DATE REC

▶ OFF

日付と時刻を画像に直接記録しない。

ON

撮影時に日付と時刻を画像に直接記録する。

🗨️ちよつと言

- [DV WIDE REC]を[OFF]にしている場合、日付表示は4:3エリア外にはみ出して表示されますが、記録される日付映像には影響ありません。
- HDV規格で記録する場合、日付時刻は撮影時と再生時でずれた位置に表示されます。

BEEP

▶ OFF

操作音を出さない。

ON

撮影スタート/ストップ時の操作時などにメロディが鳴る。

REC LAMP[F]

[OFF]に設定すると、本体前面の録画ランプが撮影中に点灯しないようにできます（お買い上げ時の設定は[ON]）。

REC LAMP[R]

[OFF]に設定すると、本体後面の録画ランプが撮影中に点灯しないようにできます（お買い上げ時の設定は[ON]）。

MENUボタンを押す→SEL/PUSH EXECダイヤルで、 (OTHERS)を選択すると表示されます。

REMOTE CTRL

[ON]に設定すると、付属のワイヤレスリモコン(130ページ)が使えます(お買い上げ時の設定は[ON])。

💡ちょっと一言

- [OFF]に設定すると、他機のリモコンによる誤動作を防げます。

HOURS METER

本機の通電時間、ドラム回転時間、テープ走行時間、アンスレディング回数をそれぞれ累計して、画面に表示します。

OPERATION

本機を操作した時間を累計して、10時間単位で表示する。

DRUM RUN

ヘッドドラムが回転している時間を累計して、10時間単位で表示する。

TAPE RUN

テープが走行している時間を累計して、10時間単位で表示する。

THREADING

カセットを出し入れした回数を累計して、10回単位で表示する。

他のビデオ、DVD/HDDレコーダーにダビングする

電源は、別売りのACアダプター/チャージャーを使ってコンセントからとってください（14ページ）。

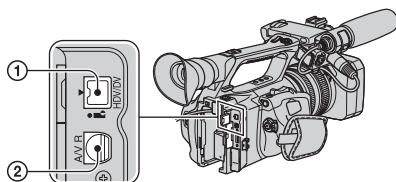
また、つなぐ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

接続する

ビデオ、DVD/HDD機器の種類や接続する端子によって、接続方法や取り込まれる画質が異なります。

本機の端子について

端子カバーを開けて接続してください。



他のビデオ、DVD/HDDレコーダーにダビングする(つづき)

—: 信号の流れ

本機の端子	必要なケーブル	接続する端子	接続する機器
①	i.LINKケーブル(別売り)	i.LINK	HDV1080i方式対応機器 →HD画質*
①	i.LINKケーブル(別売り)	i.LINK	i.LINK端子付きのAV機器 →SD画質*
②	S映像ケーブル付きの A/V接続ケーブル(別売り)	S(S1,S2)ビデオ (白) (赤) (黄)	S(S1,S2)映像端子付きのAV機器 →SD画質*
②	A/V接続ケーブル(付属)	(黄) (白) (赤)	映像、音声端子付きのAV機器** →SD画質*

* DVCAM(DV) 規格で撮影した画像は、どの接続でもSD(標準)画質でダビングされます。

** モノラル(ひとつの音声入力)の場合は、A/V接続ケーブルの黄色いプラグを映像入力へ、白いプラグ(左音声)または赤いプラグ(右音声)を音声入力へつないでください。

ⓘご注意

- HDMIケーブルを使つてのダビングはできません。

i.LINKケーブル(別売り)でつなぐときは

ダビングされる画像の規格(HDVまたはDV)は、撮影した画像や相手機器が対応している規格によって異なります。下記の表でダビングしたい規格を選び、必要なメニュー設定を行ってください。

ⓘご注意

- メニュー設定を変える前に、i.LINKケーブルを抜いてください。つないでから設定を変えると、ビデオ/DVD機器が映像信号を正しく認識できないことがあります。

💡ちょっと一言

- 本機のi.LINK端子は4ピンです。接続する機器側の端子は、接続する機器に合わせてください。

ダビングしたい規格	本機で撮影した画像の規格	相手機器の対応規格		メニュー設定	
		HDV規格*1	DVCAM (DV) 規格	[VCR HDV/DV] (79ページ)	[i.LINK SET] (82ページ)
HDV画像をHDVでダビング	HDV	HDV	—*3		[OFF]
HDV画像をDVCAM (DV) に変換してダビング	HDV	DVCAM (DV)	DVCAM (DV)	[AUTO]	[ON]
DV画像をDVCAM (DV) でダビング	DVCAM (DV)	DVCAM (DV)	DVCAM (DV)		[OFF]
HDV規格とDVCAM (DV) 規格が混在したテープのときは					
HDV、DVCAM (DV) どちらもDVCAM (DV) に変換してダビング	HDV/DVCAM (DV)	DVCAM (DV)	DVCAM (DV)	[AUTO]	[ON]
HDV規格で撮影した部分のみダビング	HDV	HDV	—*3		
	DVCAM (DV)	—*2	—*3	[HDV]	[OFF]
DVCAM (DV) 規格で撮影した部分のみダビング	HDV	—*2	—*2		
	DVCAM (DV)	DVCAM (DV)	DVCAM (DV)	[DV]	[OFF]

*1 HDV1080i方式に対応している機器です。

*2 無記録部分としてダビングします (画像、音声は記録されません)。

*3 画像を認識できません (無記録状態になります)。

●ご注意

- [VCR HDV/DV] が [AUTO] のときは、HDVとDVCAM (DV) の信号が切り替わるときに一時画面が消えて、画像と音声が続切れます。
- 録画側にHVR-Z5Jを使用する場合は、[VCR HDV/DV] を [AUTO] にしてください (79ページ)。
- 再生側と録画側の両方にHVR-Z5JなどのHDV1080i方式対応機器を使用して、i.LINKケーブルで接続したときは、録画を一時停止または停止したあとで再開すると、スムーズにつながりません。
- A/V接続ケーブルでつなぐときは、[DISP OUTPUT] を [LCD PANEL] (お買い上げ時の設定) にしてください (79ページ)。

S (S1、S2) 端子付きのA/V接続ケーブル (別売り) でつなぐときは

映像プラグ (黄色) のかわりにS (S1、S2) 映像端子を接続してください。A/V接続ケーブルでの接続に比べ、画像をより忠実に再現できます。DVCAM (DV) 方式の高解像度を生かすためにはこの接続を行ってください。S映像ケーブルのみをつないだ場合、音声は出力されません。

ダビングする

1 本機(再生側)の準備をする。

撮影済みのカセットを入れる。
POWERスイッチを「VCR」にする。

再生機器(テレビなど)に合わせて、
[DOWN CONVERT]/[DV WIDE CONV]を設定してください(81ページ)。

2 ビデオ(録画側)の準備をする。

ビデオは録画用カセット、DVDレコーダーは録画用DVDを入れる。

入力切り換えスイッチがある場合は「入力」(ビデオ1、ビデオ2入力など)にする。

3 本機とビデオ/DVD機器などをつなぐ。

接続について詳しくは、91ページをご覧ください。

4 本機で再生を始め、ビデオ/DVD機器などで録画する。

詳しくは、ビデオ/DVD機器などの取扱説明書をご覧ください。

5 ダビングが終わったら、ビデオ/DVD機器の録画を停止し、本機の再生を停止する。

– 他機で付けたタイトル

- HDV規格の場合は、再生一時停止中の画像や変速再生している画像は、i.LINKから出力されません。
- i.LINKケーブル接続時は、次のことにご注意ください。
 - 再生一時停止中の画像を録画すると、画像が粗くなる場合があります。
 - ご使用する機器やアプリケーションなどによっては日時やカメラデータが表示、記録されない場合があります。
 - 映像または音声のみを記録することはできません。
- i.LINKケーブルで接続してダビングするとき、DVDレコーダー側から本機の操作が可能と説明されている機器でも操作ができない場合があります。DVDレコーダーの入力モードを「HDV」または「DV」に切り換えるなどして映像の入出力が可能となるときは、i.LINKケーブル(別売り)でつなぐときは)の手順でダビングしてください。

🗣️ちょっと一言

- A/V接続ケーブルでつないで日時やカメラデータなどをダビングしたいときは、それらを表示させてください。
- i.LINKケーブル接続時は、デジタル信号でやりとりをするので画質・音質の劣化がほとんどありません。
- i.LINKケーブル接続時は、出力される信号の規格(HDVout **i.LINK** または DVout **i.LINK**)が本機の液晶画面に表示されます。

📌ご注意

- i.LINK HDV/DV端子(i.LINK)接続では、次のものは録画されません。
 - 画面表示

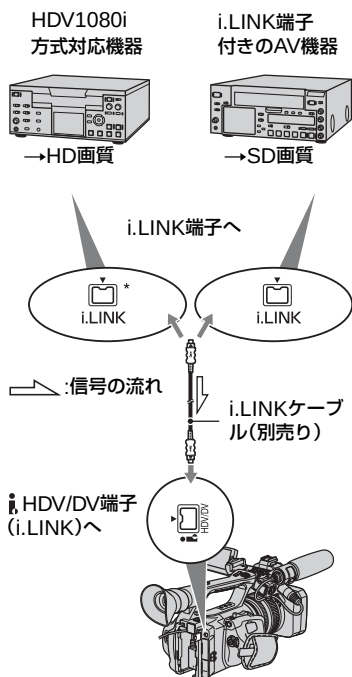
ビデオの画像を本機で録画する i.LINK

ビデオの画像を本機のテープや“メモリースティック デュオ”に録画できます。“メモリースティック デュオ”には静止画として記録できます。

HDV1080i方式対応機器をつなぐと、HDV規格のまま録画できます。あらかじめ、本機に録画用テープまたは“メモリースティック デュオ”を入れておいてください。本機とビデオをi.LINKケーブルでつなぎます。本機の電源は、別売りのACアダプター/チャージャーを使ってコンセントからとってください(14ページ)。また、つなぐ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

● ご注意

- この操作にはi.LINKケーブルが必要です。
- A/V接続ケーブルでこの操作はできません。
- 本機のi.LINK端子は4ピンです。接続するビデオ機器の端子は、接続する機器に合わせて選んでください。



* HDV1080i方式のi.LINK端子が必要です。

動画を録画する

1 本機のPOWERスイッチを「VCR」にする。

2 本機の入力信号を設定する。

HDV対応機器から録画するときには[VCR HDV/DV]を[AUTO]にする。
DV対応機器から録画するときには[VCR HDV/DV]を[DV]または[AUTO]にする(79ページ)。

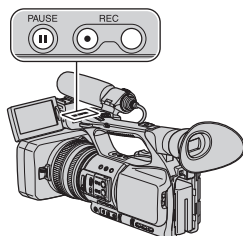
3 ビデオを再生機としてつなぐ。

i.LINKケーブル接続時は、入力される信号の規格(**HDV IN** **i.LINK** または **DV IN** **i.LINK**)が本機の液晶画面に表示されます。(再生側の画面にも表示されることがありますが、録画はされません。)

4 ビデオにダビングするカセットを入れる。

5 本機を録画一時停止にする。

- (PAUSE)ボタンを押したまま、
- (REC)ボタンを2つ同時に押す。



④で注意

- テレビ放送などの番組をi.LINK/HDV/DV端子(i.LINK)から録画することはできません。
- DVCAM(DV)機器からi.LINK経由でダビングするときは、ユーザービットは記録されません。
- DVCAM(DV)機器から画像を録画するとき、HDV規格で録画することはできません。
- 接続時は、次のことにご注意ください。
 - 再生一時停止中の画像を録画すると、画像が粗くなることがあります。
 - 映像または音声のみを記録することはできません。
 - 録画を一時停止または停止したあとで再開すると、スムーズにつながりません。
- 本機のi.LINK/HDV/DV端子に入力された映像信号は、i.LINK伝送信号のジッター(周波数のゆれ)がそのままA/Vリモート端子に出力されます。接続しているテレビモニターによっては、画像が乱れたり、表示されない場合がありますが、本機でテープに記録する画像に問題はありません。上記端子に他のVCRを接続して記録する場合にはご注意ください。

⑤ちょっと一言

- 4:3の映像信号を入力すると、本機の画面には左右が黒く表示されます。

6 ビデオを再生する。

再生側の画像が本機の画面に映ります。

7 録画を開始したい画面でもう一度

■(PAUSE)ボタンを押して、録画を始める。

8 ■(STOP)ボタンを押して、録画を止める。

テープの動画をパソコンに取り込む

静止画を記録する

あらかじめ、本機に“メモリースティック デュオ”を入れておいてください(20ページ)。
また、ASSIGN7/PHOTOボタンに[PHOTO]を割り当ててください(43ページ)。

1 「動画を録画する」の手順1~4を行う。

2 ビデオを再生する。

再生側の画像が本機の液晶画面に映ります。

3 記録したい場面でASSIGN7/PHOTOボタンまたはリモコンのPHOTOボタンを押す。

⚠ご注意

- 記録元の動画がHDV規格のとき、画像サイズは1.2Miになります。再生している画像がDVCAM(DV) 規格でワイド(16:9)のとき、画像サイズは0.2Miに、4:3のときはVGA(0.3M)になります。

i.LINKケーブルで本機とパソコンをつなぎ、編集ソフト(別売り)を使って動画を取り込むことができます。

お手持ちのパソコンにi.LINK端子が装備されていて、ビデオ信号の取り込みができる編集ソフトウェアがインストールされている必要があります。

撮影した画像やパソコンに取り込まれる規格(HDVまたはDVCAM(DV))によって、必要なソフトウェアが次の通り異なります。

撮影画像の規格	パソコンに取り込む規格	必要なソフトウェア
HDV	HDV	HDV規格の信号取り込み可能な編集ソフト
HDV	DVCAM(DV)	DVCAM(DV) 規格の信号取り込み可能な編集ソフト
DVCAM(DV)	DVCAM(DV)	DVCAM(DV) 規格の信号取り込み可能な編集ソフト

⚠ご注意

- 本機のi.LINK端子には、電源供給機能はありません。
- i.LINKケーブルで本機とパソコンを接続する場合、端子の向きを確認してからつないでください。無理に押しこむと、端子が破損することがあります。また、本機の故障の原因となります。
- i.LINKケーブルで接続して、“メモリースティック デュオ”の画像をパソコンに取り込むことはできません。
- 画像の取り込み方法について詳しくは、ソフトウェアの説明書をご覧ください。
- パソコンの推奨環境については、お使いになるソフトウェアの説明書をご覧ください。
- 使用するパソコンのソフトウェアによっては、正しく働かない場合があります。
- DVCAM(DV) 規格→HDV規格に変換はできません。

撮影した画像やパソコンに取り込まれる規格(HDV規格またはDVCAM(DV) 規

次のページへつづく➡ 97

テープの動画をパソコンに取り込む(つづき)

格)によって、必要なメニュー設定が異なります。

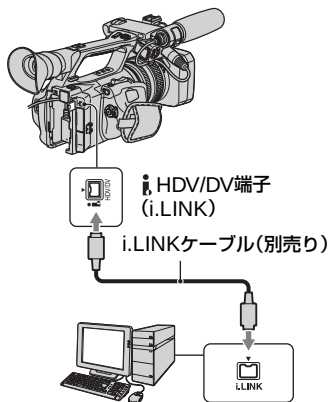
撮影画像の規格	パソコンに取り込む規格	メニュー設定*
HDV	HDV	[VCR HDV/DV] →[HDV] [i.LINK SET]→ [HDV→DV CONV] →[OFF]
HDV	DVCAM (DV)	[VCR HDV/DV] →[HDV] [i.LINK SET]→ [HDV→DV CONV] →[ON]
DVCA M(DV)	DVCAM (DV)	[VCR HDV/DV] →[DV] [i.LINK SET]→ [HDV→DV CONV] →[OFF]

* メニュー設定については、60 ページをご覧ください。

☝ちょっと一言

- HDV規格の画像をそのまま取り込むには、HDV規格に対応した環境が必要になります。詳しくは各ソフトウェアの取扱説明書、もしくはソフトウェアメーカーにお問い合わせください。
- 一般的なDVDプレーヤーで再生できるようにするためには、SD画質でDVDビデオを作成する必要があります。この場合、作成されたDVDはHDV規格ではありません。

操作:1 i.LINKケーブルにつなぐ



パソコン接続時のご注意

- i.LINKケーブルは先にパソコンとつないでから、本機とつないでください。先に本機とつなぐと、静電気の発生などにより、本機の故障の原因となります。
- 次の場合、パソコンが本機を正しく認識できなかったり、パソコンがハングアップしたりすることがあります。
 - 本機の画面上に表示されている規格 (HDV または DVCAM (DV)) の信号が扱えないパソコンに入出力する。
 - i.LINKケーブル接続中に、[VCR HDV/DV] (79ページ) と [i.LINK SET] → [HDV→DV CONV] (82ページ) の設定を変える。
 - POWERスイッチが「CAMERA」でi.LINKケーブル接続中に、[REC FORMAT] (79ページ) の設定を変える。
 - i.LINKケーブル接続中に、本機のPOWERスイッチを切り換える。
- i.LINKケーブル接続時は、本機の画面に入出力信号の規格 (HDVまたはDVCAMまたは(DV)) が表示されます。

操作:2 動画を取り込む

本機の電源は別売りのACアダプター/チャージャーを使ってください(14ページ)。

- ① 編集ソフトウェア(編集ソフトウェアは付属していません)を用意する。

💡ちょっと一言

- ソフトウェアの仕様や特徴、最新情報に関しては、各社の公式サイト等をご確認ください。

- ② パソコンの電源を入れる。
- ③ 本機にテープを入れ、POWERスイッチを「VCR」にする。
- ④ 本機のメニューを設定する。
撮影画像や取り込まれる規格によってメニュー設定が異なります。
- ⑤ パソコンのソフトウェアを操作して動画を取り込む。

⚠️ご注意

- HDV規格で取り込みをおこなっても認識しない場合は編集ソフトウェアがHDV規格に対応していない可能性がありますので手順④でDVCAM(DV) 規格へ変換して取り込みを行ってください。
- DVCAM(DV) 規格で記録したテープをHDV規格でパソコンに取り込むことはできません。

💡ちょっと一言

- HDV規格で記録した画像データをパソコンに取り込んだ際のファイルの容量は、映像圧縮方式をMPEG2のまま変換せずに取り込んだ場合、10分の映像で、約2GBです。(DVCAM(DV) ファイルとほぼ同じです。)

パソコンから本機にHDV規格で取り込むには

[VCR HDV/DV] を [HDV] に、[i.LINK SET] → [HDV → DV CONV] を [OFF] にする(80, 82ページ)。

⚠️ご注意

- パソコンで編集したHDV規格の映像を、テープへHDV規格で書き戻すには、お使いの編集ソフトウェアがHDV規格映像のテープへの書き出しに対応していれば可能です。詳しくは各ソフトウェアメーカーへお問い合わせください。

パソコンから本機にDVCAM(DV) 規格で取り込むには

[VCR HDV/DV] を [DV] にする(79ページ)。

静止画をパソコンに取り込む

パソコン環境について

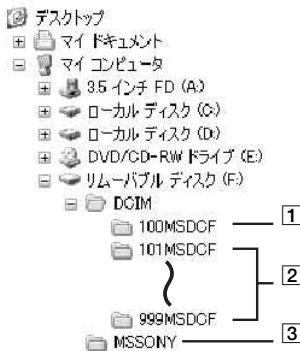
- 接続の際のご注意および、本機に対応したアプリケーションソフトの有無などについては、接続する機器の取扱説明書をあわせてご覧ください。
- 必要な装置: “メモリースティック デュオ” スロット、“メモリースティック デュオ” 対応のメモリースティックリーダー/ライター

静止画を取り込む

Windowsパソコンのとき

撮影に使った“メモリースティック デュオ”をパソコンの“メモリースティック デュオ”スロットに入れて、画像を取り込むことができます。

- ① パソコンの電源を入れる。
- ② パソコンの“メモリースティック デュオ”スロットに録画済みの“メモリースティック デュオ”を入れる。
- ③ [マイコンピュータ]内に表示される[リムーバブルディスク]アイコンをダブルクリックし、フォルダ内の画像をパソコンのハードディスクへコピーする。



- ① フォルダ作成機能がない他のビデオカメラレコーダーで撮影した静止画が入っているフォルダ(再生のみ可能)

- ② 本機の画像フォルダ(新しくフォルダを作成していない場合は[101MSDCF]のみ)
- ③ フォルダ作成機能がない他のビデオカメラレコーダーで撮影した動画が入っているフォルダ(再生のみ可能)

フォルダ名	ファイル名	意味
101MSDCF	DSC0□□	静止画
(~999MSDCF)	□□.JPG	ファイル

ファイル名の□□□□には、0001~9999までの数字が入ります。

Macintoshのとき

ドライブアイコンをダブルクリックし、取り込みたい画像ファイルをパソコンのハードディスクアイコンにドラッグ&ドロップする。

故障かな？と思ったら

修理に出す前に、もう一度点検してください。それでも正常に動作しないときは、ソニー業務用商品相談窓口またはお買い上げ店にお問い合わせください。

- 電源/画面/リモコンについて…101ページ
- カセット/メモリスティック デュオ[®]について…102ページ
- 撮影について…103ページ
- 再生について…106ページ
- テレビ接続について…108ページ
- ダビング、編集、外部機器接続について…109ページ
- パソコン接続について…109ページ

電源/画面/リモコンについて

電源が入らない、途中で切れる。

- 充電されたバッテリーを取り付ける(12ページ)。
- ACアダプター/チャージャーをコンセントに差し込む(14ページ)。

電源が入っているのに操作できない。

- 電源(バッテリーまたはDK-415ケーブル)を取りはずし、約1分後に電源を取り付け直す。
- RESET(リセット)ボタン(129ページ)を先のとがったもので押す。

本体があたたかくなる。

- 本機使用中に本体があたたかくなることがありますが、故障ではありません。

バッテリー残量が正しく表示されない。

- 周囲の温度が極端に高い/低い、または充電が不十分。故障ではありません。
- 満充電し直す。それでも正しく表示されないときは、寿命のため、新しいバッテリーに交換する(12、117ページ)。
- 使用状況や環境によっては正しく表示されません。液晶画面を開閉したときは正しい残量時間を表示するまで約1分かかります。

バッテリーの消耗が早い。

- 周囲の温度が極端に高い/低い、または充電が不十分。故障ではありません。
- 満充電し直す。それでも消耗が早いときは、寿命のため、新しいバッテリーに交換する(12、117ページ)。

液晶画面に画像が残る。

- 電源を入れた状態でバッテリーをはずしたり、DK-415ケーブルを抜いたりしたため、故障ではありません。

ファインダーの画像がはっきりしない。

- 視度調整つまみを画像がはっきり見えるように動かす(16ページ)。

故障かな？と思ったら(つづき)

ファインダーの画像が消えている。

- [VF POWERMODE]を[AUTO]にしていると、液晶パネルを開いている間はファインダーは消灯します(78ページ)。

付属のワイヤレスリモコンが操作できない。

- [REMOTE CTRL]を[ON]にする(90ページ)。
- リモコンと本機リモコン受光部の間にある障害物を取り除く。
- 本機のリモコン受光部に直射日光や照明器具の強い光が当たっていると、リモコン操作できないことがある。
- 電池を交換する。電池の+極と-極を正しく入れる(130ページ)。

リモコン操作中にほかのビデオが誤動作する。

- ビデオのリモコンスイッチをVTR2以外のモードに切り換える。
- 黒い紙でビデオのリモコン受光部をふさぐ。

カセット/“メモリースティック デュオ”について

カセットが取り出せない。

- 電源(バッテリーやACアダプター/チャージャー)が正しく接続されているか確認する(12ページ)。
- 本機が結露しかけている(119ページ)。

カセットメモリー機能付きカセットで、カセットメモリー表示やタイトル表示が出ない。

- 本機は、カセットメモリー機能に対応していないため、表示されません。

テープ残量表示が出ない。

- 常に表示させたいときは、 [REMAINING]を[ON]にする(78ページ)。

テープの巻き戻し、早送り時の音が大さい。

- DK-415ケーブル使用時は、バッテリー使用時より高速になるため音が大きくなります。故障ではありません。

“メモリースティック デュオ”の画像消去ができない。

- プロテクトが設定されている。パソコンなどでプロテクトを解除する。

撮影について

REC START/STOPボタンを押しても、撮影が始まらない。

- POWERスイッチを「CAMERA」にする(22ページ)。
- テープが最後まで行っている。巻き戻すか、新しいカセットを入れる。
- カセットの誤消去防止ツマミをRECにする。または新しいカセットを入れる(113ページ)。
- 結露でテープがヘッドドラムに貼り付いている。カセットを取り出して、約1時間してから入れ直す(119ページ)。
- [EXT REC CTRL]の[REC CTRL MODE]を[EXT ONLY]以外にする(82ページ)。

ハンドルズームが働かない。

- ハンドルズーム切換スイッチを「FIX」または「VAR」にする(25ページ)

“メモリスティック デュオ”に撮影できない。

- メモリー容量いっぱいの場合は、不要な画像を消す(50ページ)。
- 本機で“メモリスティック デュオ”をフォーマットし直すか(86ページ)、別の“メモリスティック デュオ”を入れる(20ページ)。
- 次の設定のときは“メモリスティック デュオ”に静止画を記録できません。
 - [FADER]実行中。
 - [SMTH SLW REC]実行中。
 - [SCAN TYPE]の設定が[24]、[24A]で、シャッタースピードが1/48より遅いとき(80ページ)。
 - [SCAN TYPE]の設定が[60]、[30]で、シャッタースピードが1/60より遅いとき(80ページ)。
 - ショットトランジション確認/実行時。
- [PHOTO]をASSIGN7/PHOTOボタンまたは他のASSIGNボタンに割り当てる。

テープできれいにつなぎ撮りできない。

- 同じテープに異なる[REC TYPE]のプロGRESSIVE映像を混在させない。
- エンドサーチする(45ページ)。
- カセットを取り出さない(電源を切ってもきれいにつなぎ撮りできます)。
- 同じテープにHDV規格とDVCAM(DV) 規格の映像を混在させない。
- 同じテープにDVCAMとDV SPの両モードを混ぜてつなぎ撮りしない。DVCAM DV SP
- [QUICK REC]が[ON]のときは、きれいにつなぎ撮りできません(89ページ)。HDV1080i
- [SCAN TYPE]の設定が[24A]のときは、きれいにつなぎ撮りできません。

静止画撮影時にシャッター音が出ない。

- [BEEP]を[ON]にする(89ページ)
- 動画撮影中や外部デバイス接続中は、シャッター音は出ません。

故障かな？と思ったら(つづき)

エンドサーチやラストシーンレビューができない。

- 撮影後にカセットを取り出さない(45ページ)。
- カセットを入れてからエンドサーチするまでに、1回も撮影していない。
- テープの始めや途中に無記録部分があるため、故障ではありません。

オートフォーカスができない。

- FOCUSスイッチを「AUTO」にして自動調節にする(26ページ)。
- オートフォーカスが動きにくい状況のときは、手動でピントを合わせる(26ページ)。

メニュー項目が灰色で表示される、操作できない。

- 灰色で表示されるメニュー項目は、その撮影/再生条件では選択できません。
- 機能によっては、一緒に使えないものがあります。下表は、同時に設定できない機能やメニュー項目の例です。

使えない機能 (メニューがDisable)	以下のとき
[BACK LIGHT]、 [SPOTLIGHT]	アイリス、ゲイン、シャッタースピードのうち2つ以上が 手動設定のとき [EXPOSURE]で明るさを調節しているとき [HYPER GAIN]が[ON]のとき
[CNTRST ENHCR]	[BACK LIGHT]が[ON]のとき
[FADER]	テープが入っていないとき、本機が結露しているとき、 テープの誤消去防止ツマミを「SAVE」側にしているとき
[ZEBRA]、[PEAKING]、 [CAM DATA DSP]、 [HISTOGRAM]	[COLOR BAR]が[ON]のとき
[SMTH SLW REC]	[HDV PROGRE.]の[REC TYPE]が [PROGRESSIVE]のとき [HDV PROGRE.]の[REC TYPE]が[INTERLACE]で、 [SCAN TYPE]が[24]、[24A]、[30]のとき [DV PROGRE.]の[SCAN TYPE]が[24]、[30]のとき [EXT REC CTRL]の[REC CTL MODE]が[EXT ONLY]のとき [COLOR BAR]が[ON]のとき
[MARKER]	[DATE REC]が[ON]のとき
[LCD BL LEVEL]、 [VF B.LIGHT]	AC電源を使用しているとき
[TC LINK]	他機とi.LINK接続していないとき
[TC COUNTUP]	[TC MAKE]が[REGENERATE]のとき

使えない機能 (メニューがDisable)	以下のとき
[UB-DATE/TC-TIME]	[TC MAKE]が[REGENERATE]のとき [TC RUN]が[REC RUN]のとき [UB TIME REC]が[ON]のとき 日付時刻が設定されていないとき
[WORLD TIME]、 [DATE REC]	日付時刻が設定されていないとき
[x.v.Color]	[REC FORMAT] が[DV]のとき
[ECS FREQ.]	シャッタースピードが拡張クリアスキャン(ECS)以外のとき
[INTERVAL REC]	[EXT REC CTRL]の[REC CTL MODE]が [EXT ONLY]のとき [HDV PROGRE.]の[REC TYPE]が [PROGRESSIVE]のとき [HDV PROGRE.]の[REC TYPE]が[INTERLACE]で [SCAN TYPE]が[24]、[24A]または[30]のとき [DV PROGRE.]の[SCAN TYPE]が[24]または[30]のとき
[DV FRAME REC]	[EXT REC CTRL]の[REC CTL MODE]が [EXT ONLY]のとき [REC FORMAT]が[HDV1080i]のとき
[EXT REC CTRL]	[INTERVAL REC]が[ON]のとき [DV FRAME REC]が[ON]のとき

シャッタースピード、ゲイン、ホワイトバランスが手動調節できない。

- AUTO/MANUALスイッチを「MANUAL」にする。

画面に白や赤、青、緑の点が出ることもある。

- シャッタースピード(29ページ)が遅いときに出る現象で、故障ではありません。

画面をすばやく横切る被写体が曲がって見える

- フォーカルプレーンと呼ばれる現象で、故障ではありません。撮像素子(CMOSセンサー)の画像信号を読み出す方法の性質により、撮影条件によっては、画面をすばやく横切る被写体が少しゆがんで見えることがあります。

画面が白すぎて画像が見えない。

- [BACK LIGHT]を解除する。
- [HYPER GAIN] を解除する。

画面が暗すぎて画像が見えない。

- DISPLAY/BATT INFOボタンを数秒間押したままにして、バックライトを点灯する(16ページ)。

故障かな？と思ったら(つづき)

横帯が現れる。

- 蛍光灯・ナトリウム灯・水銀灯など放電管による照明下ではこのような症状が現れることがありますが、故障ではありません。シャッタースピードを調節すると改善されることがあります(29ページ)。

テレビやパソコンの画面を撮影すると黒い帯が出る。

- 拡張クリアスキャン(**ECS**)にしてシャッタースピードを調節する(29ページ)。

細かい模様がちらつく、斜めの線がギザギザになる。

- [DETAIL]で「-」側に調整する(38ページ)。

再生について

「カセット/メモリースティック デュオ」について」(102ページ)もご覧ください。

テープ再生ができない。

- POWERスイッチを「VCR」にする。
- テープを巻き戻す(48ページ)。

“メモリースティック デュオ”の画像データが正しく再生できない。

- パソコンでフォルダやファイル名を変更、または画像加工すると、再生できない場合があります(ファイル名が点滅)。故障ではありません(112ページ)。
- 他機で撮影した画像は、正しく再生できないことがあります。故障ではありません。

データファイル名が正しくない、または点滅している。

- ファイルが壊れている。
- 本機で対応しているファイル形式を使う(115ページ)。
- フォルダ構造が規格に準拠しないと、ファイル名のみ表示されることがあります。

画像に横線が入る、画像がぼけたり、映らなかったりする。

- ビデオヘッドが汚れている。別売りのクリーニングカセットできれいにする(120ページ)。

他機で4CHマイク記録した音声聞こえない。

- DV規格で4ch記録されている場合、[DV AUDIO MIX]を設定する(74ページ)。
- HDV規格で4ch記録されている場合、CH3、CH4の音声を本機で聞くことができません。

音声が小さい。または聞こえない。

- 音量を大きくする(49ページ)。
- [DV AUDIO MIX]を設定する(74ページ)。
- [SMTH SLW REC]で記録した箇所には音声記録されません。

画像や音声が途切れる。

- 同じテープにHDV規格とDVCAM(DV) 規格の映像を混在させたときに起こる症状で、故障ではありません。

画像が一瞬静止画になる、音声が途切れる。

- テープやビデオヘッドに付着物があるときに起こる症状です(120ページ)。
- ソニー製のミニDVカセットを使用する。

[――]が表示される。

- 日付時刻を設定しないで録画したテープを再生している。
- テープの無記録部分を再生している。
- テープに傷やノイズがあると、日時やカメラデータを読みません。
- 拡張クリアスキャン(**ECS**)で録画したテープを再生している。
- ゲインを-6dBにして録画したテープを再生している。
- [HYPER GAIN]を[ON]にして録画したテープを再生している。

ノイズが現れ、画面上に**PAL**または**50**と表示される。

- テープに記録されているTVカラーシステムがPALなど、本機のカラーシステム(NTSC)と違うため。故障ではありません。

日付サーチが正しく操作できない。

- 日付を変更したときは、2分以上撮影する。撮影時間が短いと正しく検出されない場合があります。
- テープの始めや途中に無記録部分があると、日付サーチが正しく働かないことがあります。

エンドサーチ、レックレビュー、ラストシーンレビューのときに画像が出ない。

- 同じテープにHDV規格とDVCAM(DV) 規格の映像を混在させたときに起こる症状で、故障ではありません。

他機でアフレコした音声が聞こえない。**DVCAM** **DV**

- [DV AUDIO MIX]を[CH1, CH2](オリジナルテープ音声)側から最適な音声になるまで[MIX]または[CH3, CH4]に設定する(74ページ)。

画面上に2/2-**ST**が表示される。

- 他機で4CHマイク記録されたテープを再生しているときに表示されます。本機は4CHマイク記録には対応していません。

テレビ接続について

i.LINKケーブルでテレビにつないで再生するとき、画像や音声が出ない。

- 接続するテレビのi.LINK端子がHDV1080i方式に対応していない場合は、HD(ハイビジョン)画質で見ることはできません(54ページ)。詳しくは、テレビの取扱説明書をご覧ください。
- HDV規格で撮影した映像をダウンコンバートしてDV規格(SD画質)で再生する(81ページ)。
- 他の接続ケーブルで接続して再生する(54ページ)。

S映像プラグ、またはコンポーネントプラグでつないで再生するとき、音声が出ない。

- S映像プラグまたはコンポーネントプラグだけでつないでいるため。白と赤のプラグもあわせてつなぐ(54ページ)。

コンポーネントA/Vケーブルでテレビにつないで再生するとき、画像や音声が出ない。

- 接続する機器に合わせて[COMPONENT]を正しく設定する(81ページ)。
- コンポーネントプラグだけでつないでいるため。白と赤のプラグも合わせてつなぐ(54ページ)。

HDMIケーブルでテレビにつないで再生するとき、画像や音声が出ない。

- 著作権保護のための信号が記録されているDVCAM(DV)規格の映像を、HDMI出力端子から出力することはできません。
- i.LINKでDV入力された画像(97ページ)を出力することはできません。
- 同じテープにHDV規格とDVCAM(DV)規格の映像を混在させたときに起こる症状で、HDMIケーブルを抜き差しするか本機の電源を入れ直す。

4:3テレビにつないで再生したら、画像がつぶれて見える。

- ワイド(16:9)で撮影したテープを4:3テレビで見るときに起こる現象です。
以下のメニューから映像信号出力形式を選択してください。録画規格に応じて、異なるメニューから選択する必要があります。
 - 録画規格がHDV規格のときは、[VIDEO OUT]→[DOWN CONVERT]で設定(81ページ)。
 - 録画規格がDVCAM(DV)規格のときは、[VIDEO OUT]→[DV WIDE CONV]で設定(82ページ)。

4:3テレビにつないで再生したら上下に黒い帯が入る。

- ワイド(16:9)で撮影したテープを4:3テレビで見るときに起こる現象で故障ではありません。

ダビング、編集、外部機器接続について

つないだ機器(外部入力)の映像が拡大できない。

- 外部入力している画像は本機でズームできません。

つないだ機器の画面にタイムコードなどが表示される。

- A/V接続ケーブルを使って接続するときは、メニューの[DISP OUTPUT]を[LCD PANEL]にする(79ページ)。

A/V接続ケーブルを使ってダビングができない。

- A/V接続ケーブルが正しくつながれていない。
A/V接続ケーブルが他機の入力端子へつながれているか確認する。

ダビング編集時、i.LINKケーブルを接続しているのに、モニターに画像が出ない。

- 接続する機器に合わせて[VCR HDV/DV]を正しく設定する(79ページ)。

追加録音(アフレコ)できない。

- 本機ではアフレコすることはできません。

HDMIケーブルを使ってダビングができない。

- HDMIケーブルを使っているダビングはできません。

i.LINKケーブルを使ってワイド(16:9)で撮影した映像をダビングすると画面が縦に伸びる。

- i.LINKケーブルからアスペクト比の設定は出力できません。テレビ側で設定する。
- A/V接続ケーブルを使って接続する。

パソコン接続について

本機がパソコンに認識されない。

- パソコンからケーブルを抜き、もう一度しっかりと差し込む。
- パソコンからケーブルを抜き、パソコンを再起動させてから、正しい手順でもう一度パソコンと本機をつなぐ。

テープの動画がパソコンで見られない、取り込めない。

- ケーブルを抜き、本機の電源を入れてから、もう一度つなぐ。
- テープの動画をパソコンに取り込むには編集ソフトウェア(別売り)が必要です(97ページ)。

パソコンがハングアップする。

- 接続する機器に合わせて、[VCR HDV/DV]を正しく設定する(79ページ)。
- パソコンと本機からケーブルを抜き、パソコンを再起動してから正しい手順でもう一度パソコンと本機をつなぐ(97ページ)。

警告表示とお知らせメッセージ

自己診断表示/警告表示

液晶画面またはファインダーに、次のように表示されます。

お客様自身で対応できる場合でも、2、3回繰り返しても正常に戻らないときは、ソニー業務用商品相談窓口またはお買い上げ店にお問い合わせください。

C:(またはE:)□□:□□ (自己診断表示)

C:04:□□

- “インフォリチウム”以外のバッテリーが使われている。必ず“インフォリチウム”バッテリーを使う(117ページ)。

C:06:□□

- バッテリーが高温になっている。バッテリーを交換するか、バッテリーを涼しいところに置く。

C:21:□□

- 結露している。カセットを取り出して、約1時間してからもう一度入れ直す(119ページ)。

C:22:□□

- ビデオヘッドが汚れている。別売りのクリーニングカセットできれいにする(120ページ)。

C:31:□□/C:32:□□

- 上記以外の症状になっている。カセットを入れ直し、もう一度操作し直す。ただし、本機が結露気味のときは、この操作をしないでください(119ページ)。
- 電源をいったん取りはずし、取り付け直してからもう一度操作し直す。
- カセットを交換する。RESETボタン(129ページ)を押してからもう一度操作し直す。

E:61:□□/E:62:□□

- 修理が必要なため、ソニー業務用商品相談窓口またはお買い上げ店にご連絡いただき、Eから始まる数字すべてをお知らせください。

- 扱えないファイル(115ページ)。

⚡ (バッテリー残量に関する警告)

- バッテリー残量が少ない。
- 使用状況や環境、バッテリーパックによっては、バッテリー残量が約5～10分でも警告表示が点滅することがある。

△⚡ (バッテリーの温度に関する警告)

- バッテリーが高温になっている。バッテリーを交換するか、バッテリーを涼しいところに置く。

📼 (結露の警告)*

- カセットを取り出し、電源をはずして、カセット入れを開けたまま、約1時間放置する(119ページ)。

📼 (テープ関連の警告)

遅い点滅

- テープ残量が5分を切った。
- カセットが入っていない*。
- カセットが誤消去防止状態になっている(113ページ)*。

速い点滅

- テープが終わっている*。

△ (テープを取り出す必要がある警告)*

遅い点滅

- カセットが誤消去防止状態になっている(113ページ)。

速い点滅

- 結露している(119ページ)。
- 自己診断表示が表示されている(110ページ)。

* [BEEP]が[ON]に設定されていると、警告表示が出るときに、「操作音」が鳴ります(89ページ)。

お知らせメッセージの説明

お知らせメッセージが表示されたときは、その指示に従ってください。

101-1001(ファイル関連の警告)

- ファイルが壊れている。

海外で使う

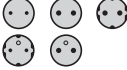
電源について

本機は、海外でも使えます。

別売りのACアダプター/チャージャー AC-VQ1051D(ACCKIT-D12Bに付属)は、全世界の電源(AC100V~240V、50/60Hz)で使えます。また、バッテリーも充電できます。ただし、電源コンセントの形状の異なる国や地域では、電源コンセントにあった変換プラグアダプターをあらかじめ旅行代理店でおたすねの上、ご用意ください。

電子式変圧器(トラベルコンバーター)は使わないでください。故障の原因となることがあります。

海外のコンセントの種類

壁のコンセントの形状例		
	主に北米	主にヨーロッパなど
↓ 使用する変換プラグアダプター	不要	

HDV規格で記録した再生画像をHDV規格で見るには (HDV1080i)

HDV規格で記録した再生画像をHDV規格で見るには、HDV1080i方式対応のテレビ(またはモニター)とコンポーネントA/Vケーブル(付属)または、HDMIケーブル(別売り)が必要です。HDV1080i方式に対応している主な国、地域は、「テレビ方式がNTSCの国、地域」を参照してください。

DVCAM(DV) 規格で記録した再生画像をDVCAM(DV) 規格で見るには

DVCAM DV 互

DVCAM(DV) 規格で記録した再生画像を見るには、日本と同じカラーテレビ方式で、映像/音声入力端子付きのテレビ(またはモニター)と接続ケーブルが必要です。

DVCAM(DV)方式に対応している主な国、地域は、「テレビ方式がNTSCの国、地域」を参照してください。

テレビ方式がNTSCの国、地域(五十音順)

アメリカ合衆国、エクアドル、エルサルバドル、ガイアナ、カナダ、キューバ、グアテマラ、グアム、コスタリカ、コロンビア、サモア、スリナム、セントルシア、大韓民国、台湾、チリ、ドミニカ、トリニダード・トバゴ、ニカラグア、日本、ハイチ、パナマ、バミューダ、バルバドス、フィリピン、プエルトリコ、ベネズエラ、ペルー、ボリビア、ホンジュラス、ミクロネシア、ミャンマー、メキシコ など

時差補正機能について

海外で使うとき、[WORLD TIME]で、時差を設定するだけで時刻を現地時間に合わせられます(88ページ)。

使用上のご注意とお手入れ

HDV規格と記録・再生について

本機は、HDV/DVCAM/DV規格の両方の記録機能を搭載したビデオカメラレコーダーです。

HDV/DVCAM/DV規格で記録するときは、MiniDV[®]マークが付いたカセットをおすすめします。

DVCAM規格で記録するときは、**DVCAM**マークが付いたカセットをおすすめします。

本機は、カセットメモリー機能には非対応です。

HDV規格とは

DVカセットにデジタルハイディフィニション(HD)映像の記録・再生ができるように開発されたビデオ方式です。

本機では、有効走査線数1,080本のインターレース方式(1080i、画素数1,440×1,080ドット)を採用しています。記録時の映像ビットレートは約25Mbpsです。

デジタルインターフェースにi.LINKを採用し、HDVに対応するテレビやパーソナルコンピューターとのデジタル接続が可能です。

- HDV映像信号の圧縮方式は、BSデジタルや地上デジタルのハイビジョン放送やブルーレイディスクレコーダーなどで採用されているMPEG2方式です。

再生について

- DVCAM(DV)規格とHDV規格の1080i方式の両方を再生できます。
- 本機ではHDV規格の720/30pで記録した画像を再生できますが、i.LINK端子(⏏)HDV/DV端子)から出力することはできません。

無記録部分を作らないために

テープを再生したときは、次の撮影の前にエンドサーチ(45ページ)を行って撮影終了位置に戻します。

著作権保護信号について

■ 再生するとき

本機で再生されるカセットに著作権保護のための信号が記録されている場合には、他機をつないで本機の画像を記録するとき、記録が制限されることがあります。

■ 記録するとき

著作権保護のための信号が記録されている映像音声は本機で記録することはできません。このような映像音声を記録しようとすると、液晶画面またはファインダーに[Cannot record due to copyright protection.] (コピープロテクトされています 記録できません)が表示されます。なお、ビデオカメラで撮影した画像には、著作権保護のための信号は記録されません。

音声モードについて

音声モードについてDVCAM方式では、下記の2つがあります。本機ではアフレコできません。

■ FS32K(12ビット)モード

「チャンネル1/2」と「チャンネル3/4」に4つのチャンネルを使って記録できます。撮影時は「チャンネル1/2」に記録されます。他機でアフレコした音声は「チャンネル3/4」に記録されます。再生時にメニューの[DV AUDIO MIX]で[MIX]を選ぶと、[CH1, CH2]と[CH3, CH4]の音声を合成して出力します。

■ FS48K(16ビット)モード

2つのチャンネルを使い高音質で記録できます。音声モードは、液晶画面またはファインダーで確認できます。

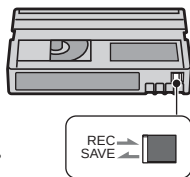
取り扱い上のご注意

■ 長い間使わないときは

本機からカセットを取り出して保管してください。

■ 間違って消さないために

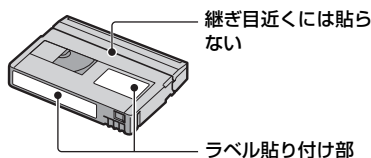
カセットの背にある誤消去防止ツマミをSAVEの矢印のほうへずらします。



REC: 録画できる。
SAVE: 録画できない。
(誤消去防止状態)

■ ラベルは指定の位置に

カセットにラベルは、指定の位置に正しく貼ってください。指定以外の位置に貼ると故障の原因になります。

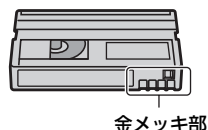


■ カセットの使用後は

必ずテープを巻き戻してください(画像や音声がかかる原因となります)。巻き戻したテープはケースに入れ、立てて保管してください。

■ 金メッキ端子のお手入れ

カセットの金メッキ端子が汚れたり、ゴミが付着したりすると、テープ残量表示などが正しく表示されないことがあります。カセットの取り出し回数10回を目安にして、綿棒でカセットの金メッキ端子をクリーニングしてください。



HDV1080i方式(i.LINK)対応のテレビについて

HDV規格で記録した再生画像を見るには、ハイビジョン対応テレビ(D3端子付きまたはHDMI端子付き)をおすすめします。

また、HDV1080i方式(i.LINK)対応のテレビと本機を接続するときは、i.LINKケーブルでつなぐことをおすすめします。お手持ちのテレビがHDV1080i方式(i.LINK)に対応しているかどうかについては、お使いのテレビの取扱説明書をご覧ください。

DVCAM/DV規格の互換性について

DVCAM規格は、民生用のDV規格に比べて、より信頼性を高めた規格です。DVCAM規格とDV規格の仕様の違い、互換性、編集時の制約事項は、以下の通りです。DVCAM規格の条件を満たしていないときは**NS**が表示されます。

DVCAM規格とDV規格の違い

仕様	DVCAM	DV
トラック幅	15 μ m	10 μ m
オーディオ	12bit:32kHz	12bit:32kHz
サンプリング	16bit:48kHz	16bit:32kHz
周波数		44.1kHz 48kHz
オーディオ 記録モード*	ロックモード	ロック/アン ロックモード

* オーディオ信号の記録には、ロックモードとアンロックモードがあります。ロックモードでは、オーディオのサンプリングクロックとビデオのサンプリングクロックが同期しています。ロックモードはアンロックモードに比べ、オーディオ編集時のデジタル処理がスムーズなため、目立たない場合があります。

カセットの互換性

録画機の種類によって、記録されるフォーマットが決まります。

録画機	使用する カセットの規格	記録された規格
DVCAM機	DVCAM DV	DVCAM
DV機	DVCAM DV	DV

⚠️ ご注意

- DVCAM規格でミニDVカセットも使用できますが、DVCAM規格の高い信頼性を生かすために、ミニDVCAMカセットをおすすめします。
- DVCAM規格でミニDVカセットを使って録画する場合、録画再生可能時間がミニDVカセットに表示されている時間の約2/3になります。

再生時の互換性

再生テープの規格	DV規格の機種	DVCAM規格の機種
DV	再生できる	SPモードで記録されたテープのみ再生できる
DVCAM	機種によっては再生できる場合もある	再生できる

DV端子を使用したダビング

i.LINKケーブルを使用して接続したデジタルビデオ機器間でダビングを行うと、再生テープと使用する機器の規格によって、作成できるテープの規格が異なります。ダビングのしかたによっては、そのテープを使っても再生や編集に制約が生じることがあります。あらかじめ「編集時の制約」(115ページ)をお読みになってから、ダビングを行ってください。

再生 テープの 規格	再生機	録画機	ダビング したテープ の規格
DV(SP (標準) モードの み)	DVCAM 機	DVCAM 機 DV機	DVCAM ¹⁾ DV
DV	DV機	DVCAM 機 DV機	DVCAM DV
DVCAM 2)	DVCAM 機	DVCAM 機 DV機	DVCAM DV
DVCAM 2)	DV機 ³⁾	DVCAM 機	DVCAM (機種によ っては できない ものもあ る) DV機 DV

- 1) DV規格で記録されたテープをミニDVCAM機を使ってDVダビングすると、作成したテープの記録規格は以下のようなDVCAM規格になります。

ータイムコードの書式の一部に不整合がある
(ただし、特殊な場合を除き編集精度に影響はありません)。

- 2) 1)のようなDVCAM規格のテープの場合に作成したテープは、オーディオ記録モードがアンロックモードで、タイムコードの一部に不整合があるDVCAM規格のテープになります。
- 3) 機器によって再生できますが、再生の内容は保証されません。したがって、再生テープに正しいDVCAM規格のテープを使用しているも、作成したテープはタイムコードの一部に不整合があるDVCAM規格のテープになります。

●ご注意

- ・上記1)～3)のようなテープを編集に使用すると、再生機、録画機の規格にかかわらず、機能に制約を生じることがあります。

編集時の制約

■HDV/DV(i.LINK)端子を使用してダビング・編集したテープを編集に使用するとき、DVCAM規格とDV規格の違いにより、以下の制約が生じます。

- ・トラック幅が異なるため、DV規格で記録されたテープの上にDVCAM規格の機器を使って編集することはできません。
- ・DVCAM規格の機器によっては、オーディオ記録モードがアンロックモードになっているDVCAM規格のテープの上に編集できないことがあります。このような場合は、A/V接続ケーブルを使ってダビングし直してください。

“メモリースティック”について

“メモリースティック”(Memory Stick)は小さくて軽い大容量のIC記録メディアです。

“メモリースティック”のうち、本機で使えるのは次の表のとおりです。ただし、すべ

ての“メモリースティック”の動作を保証するものではありません。

“メモリースティック”の種類	記録/再生
メモリースティック デュオ (マジックゲート対応)	○
メモリースティック PRO デュオ	○
メモリースティック PRO-HGデュオ	○

- ・本機はパラレルインターフェースを利用した高速データ転送に対応しておりません。
- ・本機はマジックゲート機能を使ったデータの記録/再生に対応していません。“マジックゲート”とは暗号化技術を使って著作権を保護する技術です。
- ・本機は“メモリースティック マイクロ”(“M2”)に対応しています。“M2”は“メモリースティック マイクロ”の略称です。
- ・静止画の圧縮形式:本機は、静止画データをJPEG(Joint Photographic Experts Group)方式で圧縮/記録しています。ファイル拡張子は“.JPG”です。
- ・パソコン(Windows OS/Mac OS)でフォーマット(初期化)した“メモリースティック デュオ”は、本機での動作を保証いたしません。
- ・お使いの“メモリースティック デュオ”と機器の組み合わせによっては、データの読み込み/書き込み速度が異なります。
- ・誤消去防止スイッチ付き“メモリースティック デュオ”では、先の細いものでスライドさせて、「LOCK」にすると、記録されているデータを誤って消去しないようにできます。
- ・次の場合、画像ファイルが破壊されることがあります。破壊された場合、内容の補償については、ご容赦ください。
 - ー 画像ファイルを読み込み中や、“メモリースティック デュオ”にデータを書き込み中(アクセスランプが点灯中および点滅中)に、“メモリースティック デュオ”を取り出したり、本機の電源を切ったりした場合
 - ー 静電気や電氣的ノイズの影響を受ける場所で使った場合
- ・大切なデータは、パソコンのハードディスクなどへバックアップを取っておくことをおすすめします。

使用上のご注意とお手入れ(つづき)

- メモリアに書き込むときは、あまり強い圧力をかけないでください。
- “メモリースティック デュオ”本体および“メモリースティック デュオ”アダプターにラベルなどは貼らないでください。
- 持ち運びや保管の際は、“メモリースティック デュオ”に付属の収納ケースに入れてください。
- 端子部に触れたり、金属を接触させたりしないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水にぬらさないでください。
- 小さいお子さまの手の届くところに置かないようにしてください。誤って飲みこむおそれがあります。
- “メモリースティック デュオ”スロットには、“メモリースティック デュオ”以外は入れないでください。故障の原因となります。
- 次の場所での使用や保管は避けてください。
 - － 高温になった車の中や炎天下など気温の高い場所
 - － 直射日光のあたる場所
 - － 湿気の多い場所や腐食性のものがある場所

■ “メモリースティック デュオ”アダプターの使用について

- “メモリースティック デュオ”を“メモリースティック”対応機器でお使いの場合は、必ず“メモリースティック デュオ”を“メモリースティック デュオ”アダプターに入れてからお使いください。
- “メモリースティック デュオ”を“メモリースティック デュオ”アダプターに入れるときは、正しい挿入方向をご確認のうえ、奥まで差し込んでください。差し込みかたが不十分だと正常に動作しない場合があります。また、逆向きで無理に入れると、“メモリースティック デュオ”アダプターが破損し、故障の原因となります。
- “メモリースティック デュオ”アダプターに“メモリースティック デュオ”が装着されない状態で、“メモリースティック”対応機器に挿入しないでください。このような使いかたをすると、機器に不具合が生じることがあります。

■ “メモリースティック PRO デュオ”についてのご注意

- 本機で動作確認されている“メモリースティック PRO デュオ”は16GBまでです。
- 本機はパラレルインターフェースを利用した高速データ通信には対応していません。

■ “メモリースティック マイクロ”使用上のご注意

- “メモリースティック マイクロ”を本機でお使いの場合は、必ず“メモリースティック マイクロ”をデュオサイズのM2アダプターに入れてからお使いください。デュオサイズのM2アダプターに装着されていない状態で挿入されると、“メモリースティック マイクロ”が取り出せなくなる可能性があります。
- “メモリースティック マイクロ”は、小さいお子さまの手の届くところに置かないようにしてください。誤って飲み込むおそれがあります。

画像の互換性について

- 本機は(社)電子情報技術産業協会にて制定された統一規格“Design rule for Camera File system”に対応しています。
- 統一規格に対応していない機器(DCR-TRV900、DSC-D700/D770)で記録された静止画像は本機では再生できません。
- 他機で使用した“メモリースティック デュオ”が本機で使えないときは、86ページの手順にしたがい、本機でフォーマット(初期化)をしてください。フォーマットすると“メモリースティック デュオ”に記録してあるデータはすべて消去されますので、ご注意ください。
- 次の場合、正しく画像を再生できないことがあります。
 - － パソコンで加工した画像データ
 - － 他機で撮影した画像データ

InfoLITHIUM(インフォリチウム)バッテリーについて

本機は“インフォリチウム”バッテリー(Lシリーズ)のみ使用できます。それ以外のバッテリーは使えません。“インフォリチウム”バッテリーLシリーズには
① InfoLITHIUM ② マークがついています。

InfoLITHIUM(インフォリチウム)バッテリーとは？

“インフォリチウム”バッテリーは、本機や別売りのACアダプター/チャージャーとの間で、使用状況に関するデータを通信する機能を持っているリチウムイオンバッテリーです。

“インフォリチウム”バッテリーが、本機の使用状況に応じた消費電力を計算してバッテリー残量を分単位で表示します。別売りのACアダプター/チャージャーを使うと、使用可能時間や充電終了時間も計算して表示します。

充電について

- 本機を使う前には、必ずバッテリーを充電してください。
- 周囲の温度が10～30℃の範囲で、ACアダプター/チャージャーの充電ランプが消えるまで充電することをおすすめします。これ以外では効率の良い充電ができないことがあります。

バッテリーの上手な使いかた

- 周囲の温度が10℃未満になるとバッテリーの性能が低下するため、使える時間が短くなります。安心してより長い時間使うために、次のことをおすすめします。
 - ー バッテリーをポケットなどに入れてあたかくしておき、撮影の直前、本機に取り付ける。
 - ー 高容量バッテリー「NP-F770/F970(別売り)」を使う。
- 液晶画面の使用や再生/早送り/巻き戻しなどを頻繁にすると、バッテリーの消耗が早くなります。

高容量バッテリー「NP-F770/F970(別売り)」のご使用をおすすめします。

- 本機で撮影や再生中は、こまめにPOWERスィッチを切るようにしましょう。撮影スタンバイ状態や再生一時停止中でもバッテリーは消耗しています。
- 撮影には予定撮影時間の2～3倍の予備バッテリーを準備して、事前にためし撮りをしましょう。
- バッテリーは防水構造ではありません。ぬらさないようにご注意ください。

バッテリーの残量表示について

- バッテリーの残量表示が充分なのに電源がすぐ切れる場合は、再び満充電してください。残量が正しく表示されます。ただし、長時間高温で使ったり、満充電で放置した場合や、使用回数が多いバッテリーは正しい表示に戻らない場合があります。撮影時間の目安として使ってください。
- バッテリー残量時間が約5～10分でも、ご使用状況や周囲の温度環境によってはバッテリー残量が残り少なくなったことを警告する⚡マークが点滅することがあります。

バッテリーの保管方法について

- バッテリーを長期間使用しない場合でも、機能を維持するために1年に1回程度満充電にして本機で使い切ってください。本機からバッテリーを取りはずして、湿度の低い涼しい場所で保管してください。
- 本機でバッテリーを使い切るには、電源が切れるまで撮影スタンバイにしてください(15ページ)。

バッテリーの寿命について

- バッテリーには寿命があります。使用回数を重ねたり、時間が経過するにつれバッテリーの容量は少しずつ低下します。使用できる時間が大幅に短くなった場合は、寿命と思われるので新しいものをご購入ください。
- 寿命は、保管方法、使用状況や環境、バッテリーバックごとに異なります。

i.LINK(アイリンク)について

本機のi.LINK端子はi.LINKに準拠した4ピン端子です。ここでは、i.LINKの規格や特長について説明します。

i.LINKとは？

i.LINKはi.LINK端子を持つ機器間で、デジタル映像やデジタル音声などのデータを双方向でやりとりしたり、他機をコントロールしたりするためのデジタルシリアルインターフェースです。

i.LINK対応機器は、i.LINKケーブル1本で接続できます。多彩なデジタルAV機器を接続して、操作やデータのやりとりができることが考えられています。複数のi.LINK対応機器を接続した場合、直接つないだ機器だけでなく、他の機器を介してつながれている機器に対しても、操作やデータのやりとりができます。ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作のしかたが異なったり、接続しても操作やデータのやりとりができない場合があります。

●ご注意

- i.LINKケーブルで本機と接続できる機器は通常1台だけです。複数接続できるHDV/DVCAM(DV)対応機器と接続するときは、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。
- i.LINK(アイリンク)はIEEE 1394の親しみやすい呼称としてソニーが提案し、国内外多数の企業からご賛同いただいている商標です。
- IEEE 1394は電子技術者協会によって標準化された国際標準規格です。

i.LINKの転送速度について

i.LINKの最大データ転送速度は機器によって違い、以下の3種類があります。

S100(最大転送速度)	約100Mbps*
S200(最大転送速度)	約200Mbps)
S400(最大転送速度)	約400Mbps)

転送速度は各機器の取扱説明書の「主な仕様」欄に記載され、また、機器によってはi.LINK端子周辺に表記されています。

最大データ転送速度が異なる機器と接続した場合、転送速度が表記と異なることがあります。

* Mbps とは？

「Mega bits per second」の略で「メガビーピーエス」と読みます。1秒間に通信できるデータの容量を示しています。100Mbpsならば100メガビットのデータを送ることができます。

本機でのi.LINK操作は

他のi.LINK端子付きビデオとつないでダビングする方法については94ページをご覧ください。

また、本機はビデオ機器以外のソニー製i.LINK対応機器(パーソナルコンピューターVAIOシリーズなど)とも接続してご使用になれます。

なお、デジタルテレビ、DVD、MICROMV、HDVなどの映像機器には、i.LINK端子を搭載しながらも、本機とは対応できない仕様のものがあります。接続の際はあらかじめHDV/DVCAM(DV)対応の有無をご確認ください。

接続の際のご注意および、本機に対応したアプリケーションソフトの有無などについては、接続する機器の取扱説明書をあわせてご覧ください。

●ご注意

- i.LINK端子を持つ機器と本機をi.LINK接続する場合、i.LINKケーブルを抜き差しするときは、あらかじめ機器の電源を切って電源プラグをコンセントから抜いてください。

なお、純正品以外のケーブル使用による端子の破損、故障、損害については、弊社では責任を負いかねます。また、この場合の弊社製品の修理については、保証期間内でも有償修理とさせていただきます場合があります。あらかじめご了承ください。

x.v.Color(エクスバイ・カラー)について

- x.v.Colorとは、x v YCC規格の親しみやすい呼称としてソニーが提案している商標です。
- x v YCC規格とは、動画色空間の国際規格のひとつです。現行の放送などで使われている規格より広い色彩が表現できます。

本機の取り扱いについて

使用や保管場所について

使用中、保管中にかかわらず、次のような場所に置かないでください。

- 異常に高温、低温または多湿になる場所
炎天下や熱器具の近く、夏場の窓を閉め切った自動車内は特に高温になり、放置すると変形したり、故障したりすることがあります。
- 激しい振動や強力な磁気のある場所
故障の原因になります。
- 強力な電波を出す場所や放射線のある場所
正しく撮影できないことがあります。
- TV、ラジオやチューナーの近く
雑音が入ることがあります。
- 砂地、砂浜などの砂ばかりの多い場所
砂がかかると故障の原因になるほか、修理できなくなることもあります。
- 液晶画面やファインダー、レンズが太陽に向いたままとなる場所(窓際や室外など)
液晶画面やファインダー内部を傷めます。

■ 長時間使用しないときは

- 3分間ほど再生するなどして、ときどき電源を入れてください。
- バッテリーは使い切ってから、保管してください。

結露について

結露とは、本機を寒い場所から急に暖かい場所へ持ち込んだときなどに、本機の心臓部であるヘッドやテープ、レンズに水滴が付くことです。テープがヘッドに貼り付いて、ヘッドやテープを傷めたり、故障の原因になります。結露が起ると、[Moisture condensation. Eject the

cassette.](結露しています カセットを取り出してください)または[Moisture condensation. Turn off for 1H.](結露しています 約1時間放置してください)と警告表示が出ます。ただし、レンズの結露では表示は出ません。

■ 結露が起きたときは

カセットは直ちに取出してください。警告表示が出ている間は、OPEN/EJECTつまみ以外は働きません。

電源を切ってカセットカバーを開けたまま、結露がなくなるまで(約1時間)放置してください。電源を入れてもお知らせメッセージが出ず、カセットを入れてビデオ操作ボタンを押してもやが点滅しなれば使えます。

結露気味のときは、本機が結露を検出できないことがあります。このようなときは、カセットカバーを開けてから約10秒間カセットが出てこないことがありますが、故障ではありません。カセットが出てくるまでカセットカバーを閉めないでください。

■ 結露が起こりやすいのは

次のように、温度差のある場所へ移動したり、湿度の高い場所で使うときです。

- スキー場のゲレンデから暖房の効いた場所へ持ち込んだとき
- 冷房の効いた部屋や車内から暑い屋外へ持ち出したとき
- スクールや夏の夕立のあと
- 温泉など高温多湿の場所

■ 結露を起こりにくくするために

本機を温度差の激しい場所へ持ち込むときは、ビニール袋に空気が入らないように入れて密封します。約1時間放置し、移動先の温度になじんでから取り出します。

ビデオヘッドについて

HDV規格で記録したテープを再生すると、まれに再生中の画像と音声が一瞬(約0.5秒)停止することがあります。

テープやビデオヘッドに付着物があるなどしてHDV規格の信号をテープに正しく記録、再生できなかった時に起こる現象で、カセットによってはごくまれに、新品またはご利用期間が短いにもかかわらず発生することがあります。

再生時に起きたときは、テープを少し送って巻き戻すと問題なく見ることが出来る場合がありますが、記録時に起きたときは、その部分を修復することはできません。

このような事態を予防するためにモノニ製ミニDVカセットのご使用をおすすめします。また、大切な録画の前には、クリーニングテープのご使用をおすすめします。

- 以下のような症状になったときは、別売りの乾式クリーニングカセットを10秒間再生してビデオヘッドをきれいにしてください。
 - － 再生画面の一部が動かない。
 - － 再生画像が出ない。
 - － 音声が途切れる。
 - － 録画中に[  ヘッドが汚れていますクリーニングカセットを使ってください]が表示される。
 - － HDV規格のときに以下の現象が起こる。



再生画像が
一時停止する



再生画像が消える
(青1色の画面)

- － DV規格のときに以下の現象が起こる。



四角いノイズが出る。



再生画像が消える
(青1色の画面)

- ビデオヘッドは長時間使うと摩耗します。クリーニングカセットを使っても鮮明な画像に戻らないときは、ヘッドの摩耗が考えられます。このときは、ヘッドの交換が必要です。ソニー業務用商品相談窓口にお問い合わせください。

液晶画面について

- 液晶画面を強く押さないでください。画面にムラが出たり、液晶画面の故障の原因になります。
- 寒い場所でご使用になると、画像が歪みに見えることがありますが、異常ではありません。
- 使用中に液晶画面のまわりが熱くなりますが、故障ではありません。

■ お手入れ

液晶表面にはコーティング処理がされており、傷をつけるとコーティングが剥がれることがあります。

お取り扱い、お手入れの際は下記の点にご注意ください。

- 汚れを拭き取るときは清潔な眼鏡拭き等、柔らかい生地の布でやさしく拭き取ってください。
- 汚れを拭き取る前に埃や砂などはブローなどであらかじめ払い落としてください。
- ティッシュペーパーなどで強く拭くとコーティングに傷がつくことがあります。
- 手の脂、ハンドクリーム等が付いたままにするとコーティングが剥がれやすくなりますので、早めに拭き取ってください。

本機表面のお手入れについて

- 汚れのひどいときは、水やぬるま湯を少し含ませた柔らかい布で軽く拭いたあと、からぶきします。
- 本機の表面が変質したり塗装がはげたりすることがあるので、次のことは避けてください。
 - － シンナー、ベンジン、アルコール、化学ぞうきん、虫除け、殺虫剤、日焼け止めのような化学薬品類。

- 上記が手に付いたまま本機を扱う。
- ゴムやビニール製品との長時間接触。

レンズのお手入れと保管について

- レンズ面に指紋などが付いたときや、高温多湿の場所や海岸など塩の影響を受ける環境で使ったときは、必ず柔らかい布などでレンズの表面をきれいに拭いてください。
- 風通しの良いゴミやほこりの少ない場所に保管してください。
- カビの発生を防ぐために、上記のお手入れは定期的に行ってください。また本機を良好な状態で長期にわたって使っていただくためにも、月に1回程度、本機の電源を入れて操作することをおすすめします。

内蔵の充電式電池について

本機は日時や各種の設定を電源の入/切と関係なく保持するために、充電式電池を内蔵しています。充電式電池は本機がACアダプター/チャージャーでコンセントにつながっているか、バッテリーが入っている限り常に充電されています。ACアダプター/チャージャーで電源につながらない、またはバッテリーを入れないまま3か月近くまったく使わないと完全に放電してしまいます。充電してから使ってください。ただし、充電式電池が充電されていない場合でも、日時を記録しないのであれば本機を使えます。

■ 充電方法

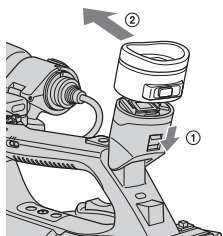
本機を別売りのACアダプター/チャージャーを使ってコンセントにつなぐか、充電されたバッテリーを取り付け、POWERスイッチを「OFF」にして24時間以上放置する。

ファインダーのお手入れについて

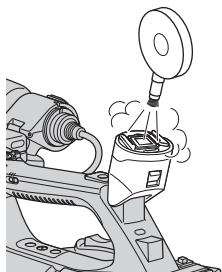
1 接眼部をはずす。

ビューファインダー取りはずしつまみを下にずらしたまま(①)、矢印の方向

に接眼部をずらしてははずす(②)。



2 接眼部の内側、ファインダー内部のゴミを、カメラ用のブロワーブラシなどで取り除く。



“メモリスティック デュオ”を廃棄/譲渡するときのご注意

本機やパソコンの機能による[FORMAT]や[ALL ERASE]では、“メモリスティック デュオ”内のデータは完全には消去されることがあります。“メモリスティック デュオ”を譲渡するときには、パソコンのデータ消去用ソフトなどを使ってデータを完全に消去することをおすすめします。また、“メモリスティック デュオ”を廃棄するときには、“メモリスティック デュオ”本体を物理的に破壊することをおすすめします。

主な仕様

システム

録画方式 (HDV)	回転2ヘッドヘリカルスキャン
録画方式 (DVCAM (DV))	回転2ヘッドヘリカルスキャン
静止画記録方式	Exif Ver.2.2*
録音方式 (HDV)	回転ヘッド MPEG-1 Audio Layer2 16ビットFs48kHz(ステレオ) 転送レート 384kbps
録音方式 (DVCAM (DV))	回転ヘッド、PCMシステム 12ビット Fs32kHz (チャンネル1/2 ステレオ) 16ビット Fs48kHz (チャンネル1/2 ステレオ)
映像信号	NTSCカラー、EIA標準方式 1080/60i方式
使用可能カセット	Mini DV マークのついたミニDVカセットまたは [DVCAM] マークのついたミニDVCAMカセット
テープ速度 (HDV)	約18.812mm/秒
テープ速度 (DVCAM)	約28.193mm/秒
テープ速度 (DV SP)	約18.812mm/秒
録画/再生時間 (HDV)	63分 (PHDVM-63DM使用時)
録画/再生時間 (DVCAM)	41分 (PHDVM-63DM使用時)
録画/再生時間 (DV SP)	63分 (PHDVM-63DM使用時)
早送り、巻き戻し時間	バッテリー使用時: 約2分40秒 (PHDVM-63DM使用時) ACアダプター/チャージャー使用時: 約1分45秒 (PHDVM-63DM使用時)
ファインダー	電子ファインダー: カラー、モノクロ 画面サイズ: 1.1cm (0.45型、アスペクト比16:9) 総ドット数: 1 226 880ドット (852 x 3[RGB] x 480相当)

撮像素子	6.0mm (1/3型) 3CMOSセンサー 総画素数: 約112万画素 静止画記録画素数: 最大120万画素相当** (1 440 x 810) (HDV/DV 16:9記録時) 動画時有効画素数 (16:9モード): 約104万画素 動画時有効画素数 (4:3モード): 約78万画素 静止画時有効画素数 (16:9モード): 約104万画素 静止画時有効画素数 (4:3モード): 約78万画素
------	--

ズームレンズ	Gレンズ 20倍 (光学)、約30倍 (デジタル、デジタルエクステンダー[ON]時) f=4.1 ~ 82.0mm 35mmカメラ換算 29.5~590mm (16:9モード) (4:3モードでは36.1~722mm) F1.6~3.4 フィルター径72mm
--------	--

色温度切り換え	オート ワンプッシュ (A, B) 屋内 (3 200K) 屋外 (5 800K ± 7段階) 色温度指定 (2 300~15 000K、100K刻み)
最低被写体照度	1.5 lx (ルクス) (シャッターズビード固定 (1/30)、オートゲインコントロール、アイリスオート) (F1.6)

* (社) 電子情報技術産業協会 (JEITA) にて制定された、撮影情報などの付帯情報を追加することができる静止画用のファイルフォーマット。

** ソニー独自のクリアビットCMOSセンサーの画素配列と画像処理システム、エンハンスドイメージングプロセッサにより、静止画は表記の記録サイズを実現しています。

出力端子

A/V リモート端子	10ピン特殊コネクター A/V接続ケーブル挿入時 映像: 1Vp-p, 75Ω Y出力 1Vp-p, 75Ω C出力 0.286Vp-p(バースト)、75Ω コンポーネントA/Vケーブル挿入時 Y: 1Vp-p, 75Ω P _B /P _R , C _B /C _R : ±350mV, 75Ω 音声: -10dBu(47kΩ負荷時)、出カインピーダンス2.2 kΩ以下(0dBu=0.775Vrms)
HDMI OUT端子	HDMIコネクタ
○(ヘッドホン)端子	ステレオミニジャック(φ3.5mm)

入/出力端子

LANC  端子	ステレオミニミニジャック(φ2.5mm)
INPUT1/ INPUT2端子	XLR3ピン、凹 -48dBu: 3kΩ +4dBu: 10kΩ (0dBu=0.775Vrms)
 HDV/DV端子	i.LINK(IEEE1394 4ピンコネクター S100)

液晶画面

画面サイズ	8.0cm(3.2型、アスペクト比16:9)
総ドット数	921 600ドット 横1 920×縦480

電源部、その他

電源電圧	DC7.2V(バッテリーパック使用時) DC8.4V(ACアダプター/チャージャー使用時)
消費電力*	マイク(ECM-XM1)、ファインダー使用時、明るさ標準: HDV記録時 7.1W DVCAM(DV)記録時 6.8W マイク(ECM-XM1)、液晶画面使用時、明るさ標準: HDV記録時 7.3W DVCAM(DV)記録時 7.0W
動作温度	0℃~40℃
保存温度	-20℃~+60℃
外形寸法	169×188×451mm (突起部含む)(幅×高さ×奥行き)
本体質量	約2.2kg(レンズフード含む)
撮影時総質量	約2.6kg (バッテリーパック(NP-F770)、テープ(PHDVM-63DM)、レンズカバー付きフード、マイク(ECM-XM1)含む。)

* HVR-MRC1使用時は消費電力が約2.5W増加します。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

保証書とアフターサービス

保証書

この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。所定事項の記入と記載内容をお確かめの上、大切に保管してください。

このデジタルHDビデオカメラレコーダーは国内仕様です。海外で万一、事故、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスとその費用については、ご容赦ください。

アフターサービス

■ 調子が悪いときはまずチェックを

「故障かな？と思ったら」の項を参考にし、故障かどうかお調べください。

■ それでも具合の悪いときは

お買い上げ店または付属の“ソニー業務用商品相談窓口のご案内”にあるお近くのソニー業務用商品相談窓口にご相談ください。

■ 保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

■ 保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

■ 製品の保有期間について

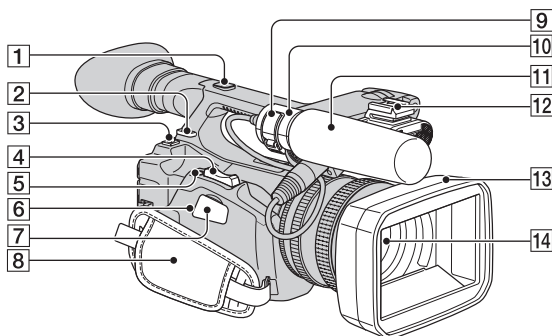
当社はデジタルHDビデオカメラレコーダーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後8年間保有しています。この部品保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、ソニー業務用商品相談窓口またはお買い上げ店にお問い合わせください。

■ 部品の交換について

この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

各部のなまえ

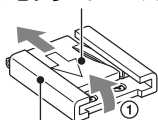
()内は参照ページです。



- | | |
|-------------------------|----------------------------|
| ① アクセサリーシュー 取り付け部 (125) | ⑦ “メモリースティック デュオ”スロット (20) |
| ② ショルダーストラップ取り付け部 (128) | ⑧ グリップベルト (15) |
| ③ BATT RELEASEボタン (12) | ⑨ マイク固定用クランパー (9) |
| ④ ズームレバー (25) | ⑩ マイクホルダー (9) |
| ⑤ ASSIGN7/PHOTOボタン (43) | ⑪ マイク (9) |
| ⑥ アクセスランプ (20) | ⑫ アクセサリーシュー |
| | ⑬ レンズカバー付きフード (10) |
| | ⑭ レンズ (10) |

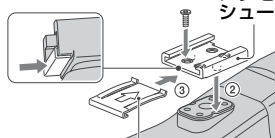
アクセサリーシューを取り付けるには
アクセサリーシュー取り付け部に図のように取り付けてください。

アクセサリーシューバネ



アクセサリーシュー

アクセサリーシュー

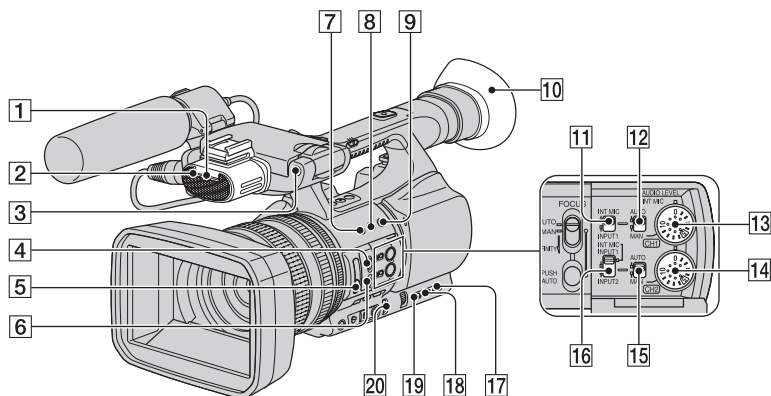


アクセサリーシューバネ

- ① シューバネの先端を持ち上げ、刻印された矢印の向きと反対方向へ引き抜く。
- ② アクセサリーシューの凸部とアクセサリーシュー取り付け部の凹部を合わせて取り付け、4本のネジを締める。
- ③ アクセサリーシューバネを矢印の方向に挿入し、コの字部分がアクセサリーシューの端部にはまるように取り付ける。

アクセサリーシューを取りはずすには
「アクセサリーシューを取り付けるには」の手順①と同様にシューバネをはずし、ネジを緩めてアクセサリーシューをはずす。

各部のなまえ(つづき)



1 前部録画ランプ(89)
テープやバッテリー残量が少なくなると点滅します。

2 内蔵マイク(9)

3 前部リモコン受光部(90)

4 FOCUSスイッチ(26)

5 NDフィルター(30)

6 PUSH AUTOボタン(27)

7 ASSIGN1ボタン/ZEBRA ボタン
(43)

8 ASSIGN2ボタン/AE SHIFT
ボタン*(43)

9 ASSIGN3ボタン/REC REVIEW
ボタン(43)

10 大型アイカップ(17)

11 CH1 (INT MIC/INPUT1)スイッチ
(41)

12 AUTO/MAN(CH1)スイッチ(41)

13 AUDIO LEVEL(CH1)ダイヤル(41)

14 AUDIO LEVEL(CH2)ダイヤル(41)

15 AUTO/MAN(CH2)スイッチ(41)

16 CH2 (INT MIC/INPUT1/INPUT2)
スイッチ(41)

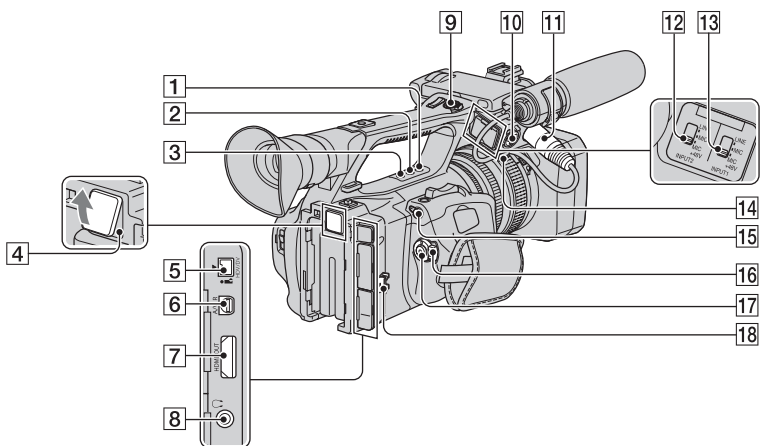
17 STATUS CHECKボタン(52)

18 PICTURE PROFILEボタン(32)

19 MENUボタン(60)

20 AUTO/MANUALスイッチ(27)

* ASSIGN2 ボタン/AE SHIFT ボタンに凸点
(突起)が付いています。操作の目印としてお使い
ください。

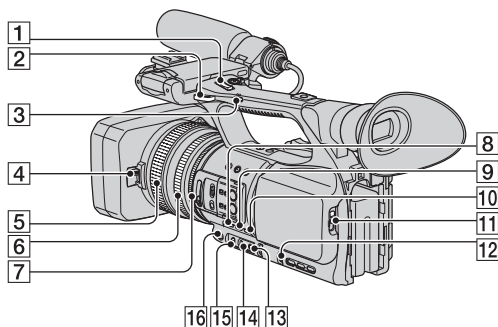


- 1 ASSIGN4ボタン(43)
- 2 ASSIGN5ボタン*(43)
- 3 ASSIGN6ボタン(43)
- 4 メモリーレコーディングユニット端子
別売りのメモリーレコーディングユニット(HVR-MRC1)を取り付けるときに使用します。
- 5 HDV/DV端子(54)
- 6 A/Vリモート端子(54)
- 7 HDMI OUT端子(54)
- 8 (ヘッドホン)端子
ヘッドホンを使うときは、ステレオミニジャックのものを使ってください。
- 9 REC START/STOPボタン(22)
- 10 INPUT2端子(9)
- 11 INPUT1端子(9)
- 12 INPUT2スイッチ(9)
- 13 INPUT1スイッチ(9)
- 14 ケーブルホルダー(9)
内側のホルダーはi.LINKケーブルなどを固定するとき、外側のホルダーはマイクケーブルを固定するときに使います。

- 15 LANC 端子
LANC 端子は、ビデオ機器と周辺機器をつなぎ、テープ走行などをコントロールできるようにした端子です。
- 16 POWERスイッチ(15)
- 17 REC START/STOPボタン(22)
- 18 ケーブルホルダー
i.LINK ケーブルなどを固定するときに使用します。

* ASSIGN5 ボタンに凸点(突起)が付いています。操作の目印としてお使いください。

各部のなまえ(つづき)

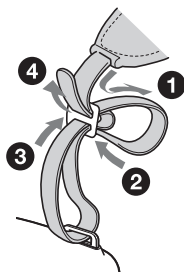


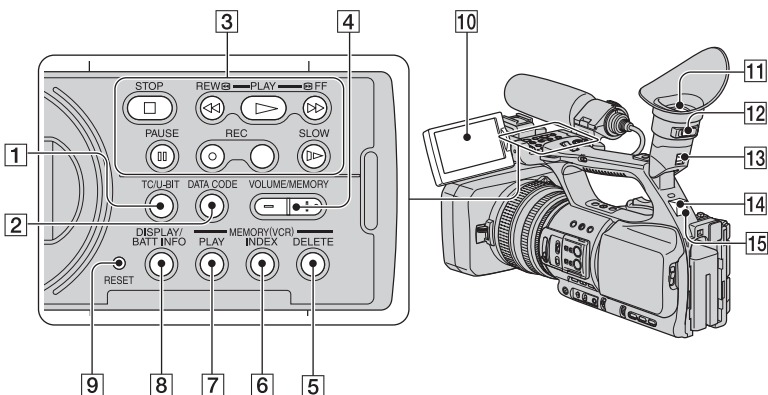
- 1 ハンドルズームレバー(25)
- 2 ショルダーストラップ取り付け部(128)
- 3 ハンドルズームスイッチ(25)
- 4 レンズカバーレバー(11)
- 5 フォーカスリング(26)
- 6 ズームリング(25)
- 7 アイリスリング(27)
- 8 GAINボタン(29)
- 9 WHT BALボタン*(31)
- 10 SHUTTER SPEEDボタン(29)
- 11 〓 OPEN/EJECTつまみ(20)
- 12 SEL/PUSH EXECダイヤル(18)
- 13 〓 (one push) ボタン(31)
- 14 ホワイトバランスメモリースイッチ(32)
- 15 ゲインスイッチ(29)
- 16 IRIS/EXPOSUREボタン(27)

* WHT BAL ボタンに凸点(突起)が付いています。操作の目印としてお使いください。

ショルダーストラップ(別売り)を取り付けるには

ショルダーストラップ取り付け部に図のように取り付けてください。





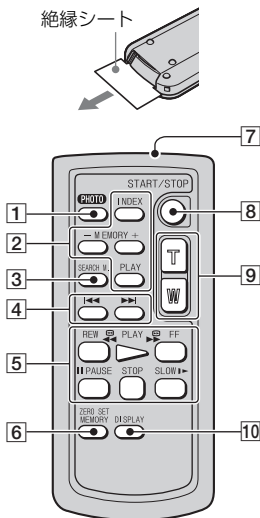
- 1** TC/U-BITボタン
液晶画面のタイムコード、ユーザービット表示を切り換えます。
- 2** DATA CODEボタン(51)
- 3** ビデオ操作ボタン(STOP/REW/
PLAY*/FF/PAUSE/REC/SLOW)
(48)
- 4** VOLUME/MEMORYボタン*(48)
- 5** MEMORY/DELETEボタン(48)
- 6** MEMORY/INDEXボタン*(48)
- 7** MEMORY/PLAYボタン(48)
- 8** DISPLAY/BATT INFOボタン(51)
- 9** RESETボタン
RESETボタンを押すと、日時を含めすべての設定が解除されます。ただし、ピクチャープロフィールとカメラプロフィールで設定した内容は解除されません。
- 10** 液晶画面(16)
- 11** ビューファインダー(17)
- 12** 視度調節つまみ(16)
- 13** ビューファインダー取りはずしつまみ(121)
- 14** 後部リモコン受光部(90)

- 15** 後部録画ランプ(89)
テープやバッテリー残量が少なくなると点滅します。

* PLAY ボタン、VOLUME/MEMORY ボタン、MEMORY/INDEX ボタンに凸点(突起)が付いています。操作の目印としてお使いください。

ワイヤレスリモコン

絶縁シートを引き抜いてからリモコンを使ってください。



1 PHOTOボタン(23)

押したときの画像が静止画として“メモリースティック デュオ”に記録されます。

2 MEMORYボタン(INDEX、-/+, PLAY)(48)

3 SEARCH M.ボタン(53)

4 ◀▶ ボタン(48)

5 ビデオ操作ボタン(REW、PLAY、FF、PAUSE、STOP、SLOW)(48)

6 ZERO SET MEMORYボタン
本機では無効なボタンです。

7 リモコン発光部

8 START/STOPボタン(22)

9 ズームボタン(25)

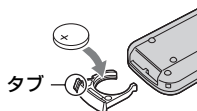
10 DISPLAYボタン(51)

●リモコンについてのご注意

- 本体のリモコン受光部に向けて操作してください。
- 本体のリモコン受光部に直射日光や照明器具の強い光が当たらないようにしてください。リモコン操作ができないことがあります。
- 付属のリモコンで本機を操作しているときに、ほかのビデオデッキが誤動作することがあります。その場合、ビデオデッキのリモコンモードスイッチをVTR2以外のモードに切り換えるか、黒い紙でリモコン受光部をふさいでください。

リモコンの電池を交換するには

- ① タブを内側に押し込みながら、溝に爪をかけて電池ケースを引出す。
- ② +面を上にして新しい電池を入れる。
- ③ 電池ケースを「カチッ」というまで差し込む。



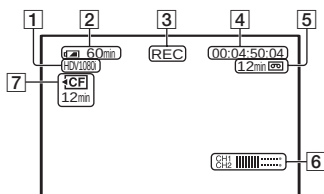
- リモコンには、ボタン型リチウム電池(CR2025)が内蔵されています。CR2025以外の電池を使用しないでください。

ファインダーと液晶画面の表示

()内は参照ページです。

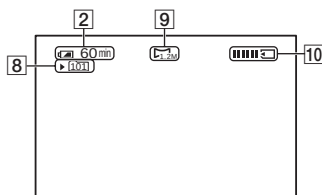
撮影中の画面表示は録画されません。

動画を撮影中



- 1 録画フォーマット(HDV1080)またはDVCAMまたはDV SP(79)
- 2 バッテリー残量の目安
- 3 撮影状態([STBY]/[REC])
- 4 撮影中: テープカウンター(時:分:秒:フレーム)
再生中: タイムコード(時:分:秒:フレーム)
- 5 テープ残量の目安
- 6 オーディオレベルメーター(77)
- 7 別売りの外部レコーディングユニットの残量目安(41)

静止画を撮影中

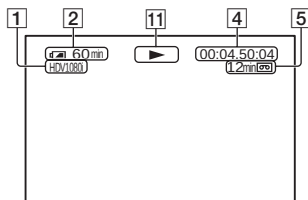


- 8 記録先のフォルダ(87)
- 9 画像サイズ(23)
- 10 静止画記録中(23)

撮影時のデータについて

撮影中の日付時刻と撮影条件を示したカメラデータが自動的に記録されます。これらのデータは、撮影中には表示されませんが、再生時にDATA CODEボタンを押すと確認できます(51ページ)。

動画を再生中

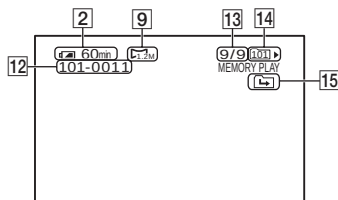


11 テープ走行表示

録画モード(DVCAMまたはDV SP)は、DVCAM規格またはDV SP規格で記録されたテープを再生するときに表示されます。



静止画を再生中



12 データファイル名

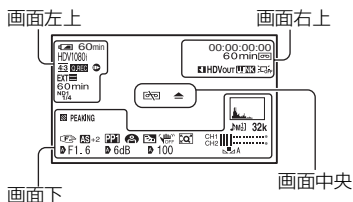
13 再生中の画像番号 / フォルダ内の合計枚数

14 再生フォルダ(87)

15 前後フォルダ表示

“メモリースティック デュオ”内に複数のフォルダがあるとき、フォルダ内の最初/最後の画像になると、[左] [右] [戻る] が表示されます。VOLUME/MEMORYボタンでフォルダ移動できます。

表示画面の説明



画面左上

表示	意味
HDV1080i DVCAM DV	録画フォーマット(79)
4:3	DV WIDE REC(81)*
Q.REC	QUICK REC(89)**
▶	DV FRAME REC(70)*
ND OFF ND1 CLR 1/4	ND フィルター(30)
ND2 ND3 1/16 1/64	
INTERV	INTERVAL REC(69)
EXT EXT EXT CF	EXT REC CTRL(82)
24pSCAN 24P 24pSCNA 30P 30pSCAN	REC TYPE SCAN TYPE(80)

画面右上

表示	意味
INDEX	INDEX MARK(44)
HDV IN DV IN	HDV 入力/ DV 入力(79)
HDV OUT DV OUT	HDV 出力/ DV 出力(79)
i.LINK	i. LINK 接続(56.91)
OFF	バックライト 切(16)

画面中央

表示	意味
警告	警告(110)

画面下

表示	意味
HISTOGRAM	HISTOGRAM(75)
32k 48k NS	DV AU. MODE (72)*
M2]	手動音量調節(41)
手動フォーカス	手動フォーカス(26)
PP1 ~ PP6	ピクチャープロフィール(32)
SPOTLIGHT	SPOTLIGHT(67)
BACK LIGHT	BACK LIGHT(67)
STEADYSHOT	STEADYSHOT (67)
PEAKING	PEAKING(76)
D.EXTENDER	D.EXTENDER(68)
AS	AE SHIFT(66)
ECS	拡張クリアスキャン (29.66)
E	カメラ明るさ設定 (28)
A	自動設定(77)
ホワイトバランス	ホワイトバランス (31)
FOCUS MACRO	FOCUS MACRO (68)
HYPER	HYPER GAIN(64)
(COLOR)	x.v.Color(71)**
ZEBRA	ZEBRA(75)

* DVCAM(DV)規格のときのみ設定できます。

** HDV規格のときのみ設定できます。

♪ちよっと一言

- 表示内容や位置は目安であり、実際とは異なる場合があります。

索引

ア行

アイコン.....	画面表示へ
アイリスリング.....	27
アイリンク.....	i.LINKへ
アクセサリシュー.....	125
アクセサリシューキット.....	8
アクセサリシュー 取り付け部.....	125
アクセスランプ.....	21
アフターサービス.....	124
インデックスサーチ.....	53
インデックス信号.....	44
インデックス表示.....	49
インフォリチウムバッテリー.....	117
ウィンドスクリーン.....	9
液晶画面.....	16
液晶画面バックライト.....	16
エンドサーチ.....	45
大型アイカップ.....	17
屋外.....	31
屋内.....	31
お知らせメッセージ.....	110
主な仕様.....	122
音量.....	41, 49

カ行

海外で使う.....	111
拡大フォーカス.....	27
拡張クリアスキャン(ECS).....	29
カセット.....	20
入れる/取り出す.....	20
カセット入れ.....	20
カセットカバー.....	20
カセットラベル.....	ラベルへ
画像消去.....	50
カメラプロファイル.....	87
画面表示.....	131
画面表示出力.....	51, 79
逆光補正.....	67
クリーニングカセット.....	120

グリップベルト.....	15
警告表示.....	110
ゲインスイッチ.....	29
ケーブルホルダー.....	9
結露.....	119
広角.....	25
高速アクセス.....	49
故障かな?と思ったら.....	101
誤消去防止スイッチ.....	115
誤消去防止ツマミ.....	113
コンセント.....	14
コンポーネントA/Vケーブル.....	55

サ行

再生.....	48
再生可能時間.....	13
撮影.....	22
撮影可能時間.....	13
撮影可能枚数.....	23
残量.....	
テープ.....	131
バッテリー.....	52
残量表示.....	52
自己診断表示.....	110
シャッタースピード.....	29
充電時間.....	13
充電ランプ.....	12
シューバネ.....	8
準備.....	8
消去.....	
画像.....	50
商標.....	139
初期化.....	フォーマットへ
ショットトランジション.....	45
ショルダーストラップ.....	128
ショルダーストラップ取り付け部.....	128
ズーム.....	25
ズームリング.....	25
ズームレバー.....	25
ステータスチェック.....	52
スロット.....	20

静止画.....	49
絶縁シート.....	130
接続.....	
テレビに.....	54
ビデオ機器に.....	91
接続コード.....	14

タ行

タイムコード.....	131
ダビング.....	91
テープ.....	カセットへ
テープカウンター.....	131
テープ残量.....	131
テレビ.....	54
テレビ方式.....	111
電源コード.....	12
ドロップフレーム.....	84

ナ行

内蔵充電式電池.....	121
内蔵マイク.....	72

ハ行

ハイビジョンテレビ.....	55
パソコン環境.....	
Macintosh.....	100
Windows.....	100
バックライト.....	液晶画面バックライトへ
バッテリー.....	12
バッテリーインフォ.....	52
バッテリー残量.....	52, 131
パネル.....	液晶画面へ
ハンドルズーム.....	25
ハンドルズームスイッチ.....	25
ハンドルズームレバー.....	25
ピクチャーサーチ.....	49
ピクチャープロファイル.....	32
日付サーチ.....	53
日付時刻.....	19, 131
日付時刻合わせ.....	18
ビデオカセット.....	カセットへ
ビデオ出力/パネル.....	79

ビデオ操作ボタン	130
ビデオヘッド	120
ビューファインダー	
取りはずしつまみ	121
ピント	26
ファインダー	16
明るさ	78
視度調整つまみ	16
フォーカスリング	26
フォーマット(初期化)	86
フォルダ	
記録フォルダ選択	87
再生フォルダ選択	87
フォルダ作成	86
付属品	8
プッシュオートフォーカス	26
ヘッドホン端子	127
望遠	25
保証書	124
ボタン電池	130
ホワイトバランス	31, 66
ホワイトバランスメモリス イッチ	31

マ行

マイク	9
マイク固定用クランパー	9
マイクホルダー	9
メニュー	60, 86
一覧	61
AUDIO SET	72
CAMERA SET	64
DISPLAY SET	75
IN/OUT REC	79
MEMORY SET	86
OTHERS	87
TC/UB SET	83
メニューの使いかた	60
"メモリスティック"	115
"メモリスティック デュオ"	
入れる/取り出す	20

誤消去防止スイッチ	115
撮影可能枚数(静止画)	23
フォーマット	86
"メモリスティック デュオ"	
スロット	21
メモリーレコーディングユ ニット端子	127
メモリーA	31
メモリーB	31
持ちかた	15

ラ行

ラストシーンレビュー	44
ラベル	113
リチャージャブルバッテリー パック	バッテリーへ
リモコン	53, 130
リモコン受光部	90, 126, 129
リモコン発光部	130
レックレビュー	45
レンズ	121
レンズカバーレバー	11
レンズカバー付きフード	9
録画	22
録画ランブ	22

ワ行

ワイヤレスリモコン	
	リモコンへ

A

ACアダプター/チャージャー	12
ADVANCE	76
AE SHIFTボタン	43
AE RESPONSE	66
AE SHIFT	66
AF ASSIST	67
AGC LIMIT	65
ALL FILES	86
ALL OUTPUT	79
ALL ERASE	86

ASPECT	76
ASSIGN BTN	43, 88
ASSIGNボタン	43
ASSIGN7/PHOTOボタン	23, 43
AT IRIS LMT	66
ATW SENS	65
AU. MAN GAIN	73
AU. LVL DISP	77
AUDIO LEVEL(CH1)ダイヤ ル	41
AUDIO LEVEL(CH2)ダイヤ ル	41
AUDIO LEVEL(CH1/CH2) ダイヤル	41
AUDIO LIMIT	72
AUDIO SETメニュー	72
AUDIO CH SEL	74
AU. LVL DISP	77
AUTO	84
AUTO/MANUALスイッチ	27
AUTO/MAN(CH1/CH2)ス イッチ	41
A/V接続ケーブル	59, 92
A/Vリモート端子	54

B

BACK LIGHT	67, 104
BAR	77
BATT RELEASEボタン	12
BEEP	89
BLACK FADER	68
BLACK GAMMA	34
BLACK LEVEL	34

C

CAM DATA DSP	77
CAMERA PROF.	87
CAMERA SETメニュー	64
CENTER TRIG	68
CH1(INT MIC/INPUT1)ス イッチ	9
CH2(INT MIC/INPUT1/ INPUT2)スイッチ	9

CLOCK SET 18, 88
 CNTRST ENHCR .. 67, 104
 COLOR CORRECT 36
 COLOR DEPTH 36
 COLOR LEVEL 35
 COLOR MODE 35
 COLOR PHASE 36
 COLOR BAR 71
 COPY 39
 CURRENT FLDR 86

D

D端子A/Vケーブル 57
 D.EXTENDER 68, 104
 DATA CODEボタン 51
 DATE SEARCH 53
 DATE REC 89, 104
 DEGREE 77
 DETAIL 38
 DF 84
 DISP OUTPUT 79
 DISPLAY SETメニュー 75
 DISPLAY/BATT INFOボタン 51
 DOWN CONVERT .. 81, 82
 DRUM RUN 90
 DV 80
 DV AU. MODE 72
 DV AUDIO MIX 74
 DV FRAME REC 70
 DV PROGRE 81
 DV REC MODE 81
 DV SP 81
 DV WIDE CONV 82
 DV WIDE REC 81
 DVCAM 81
 DVCAM(DV)規格 80, 114

E

ECS(拡張クリアスキャン) 29
 ECS FREQ 66

END SEARCH 45
 END TRIG 68
 EXP.FOCUS 27, 43
 EXP.FOCUS TYPE 77
 EXT ONLY 82
 EXT REC CTRL 82, 104

F

FADER 68
 FILE NO. 86
 FLCKR REDUCE 66
 FOCUS DISP 77
 FOCUS INFNTY 27
 FOCUS MACRO 68
 FOCUSスイッチ 26
 FORMAT 86
 FREE RUN 84
 FS32K 72
 FS48K 72

G

GAIN SETUP 64
 GAMMA 34
 GUIDEFAME 76

H

HANDLE ZOOM 68
 HD(ハイビジョン)画質 55
 HDMI OUT端子 54
 HDMIケーブル 56
 HDV 80
 HDV PROGRE 80
 HDV規格 79, 80, 112
 HDV/DV端子 54
 HDV1080i 79
 HDV→DV CONV 82
 HISTOGRAM 75, 104
 HOURS METER 90
 HYPER GAIN 64

I

i.LINK SET 82

i.LINK 118
 i.LINKケーブル 56, 97, 98
 IN/OUT RECメニュー 79
 INDEX MARK 44
 INDEX SEARCH 53
 INDOOR 31
 InfoLITHIUM/バッテリー 117
 INPUT1 41
 INPUT1 MIC NR 73
 INPUT1 TRIM 74
 INPUT1 WIND 74
 INPUT1スイッチ 41
 INPUT1端子 9
 INPUT2 41
 INPUT2 MIC NR 74
 INPUT2 TRIM 74
 INPUT2 WIND 74
 INPUT2スイッチ 41
 INPUT2端子 9
 INTELLIGENT 65
 INTERLACE 80
 INTERVAL 69
 INTERVAL REC 69, 104
 IRIS/EXPOSURE 64
 IRIS/EXPOSUREボタン 27

J

JPEG 115

K

KNEE 35

L

LANC端子 127
 LANGUAGE 89
 LAST SCN RVW 44
 LCD BL LEVEL 78
 LCD BLIGHT 78
 LCD COLOR 78
 LCD PANEL 79
 LETTER BOX 81, 82

LETTER SIZE	78
LINEAR	71
LINKED	73

M

MANU WB TEMP	31
MARKER	76, 104
MEMORY SETメニュー	86
MEMORY/DELETEボタン	50
MEMORY/INDEXボタン	48
MEMORY/PLAYボタン	48
MENUボタン	18, 60
MIC+48V	41
MINUS AGC	65
MIX	74
MPEG2	99

N

NDフィルター	30
NDF	84
NEW FOLDER	86
NORMAL	78
NTSC	107, 111
NUMBER	77

O

ONE PUSH AF	26
one pushボタン	31
OPEN/EJECTつまみ	20
OPERATION	90
OTHERSメニュー	87
OUTDOOR	31

P

PAL	107
PB FOLDER	87
PB ZOOM	89
PEAKING	76
PHOTO	43
PHOTOボタン	23

PICTURE PROFILEボタン	32
PLAYボタン	48
POWERスイッチ	15
PRESET	83
PROFILE NAME	39
PROGRESSIVE	80
PUSH (レンズフード取りはずし) button	10
PUSH AT IRIS	43
PUSH AUTOボタン	26

Q

QUICK REC	89
-----------------	----

R

REC CH SELECTスイッチ	9
REC CTL MODE	82, 104
REC FOLDER	87
REC FORMAT	79
REC LAMP[F]	89
REC LAMP[R]	89
REC LINK	71
REC PAUSE	83
REC REVIEW	45
REC REVIEWボタン	45
REC RUN	84
REC START STOPボタン	22
REC TIME	68, 69
REC TIMING	68
REC TYPE	80
REGENERATE	84
RELAY	82
REMAINING	78
REMOTE CTRL	90
RESET	40, 86
RESETボタン	129
RING ASSIGN	64
RING ROTATE	64

S

S1, S2映像端子	57, 59, 92
SAFETY ZONE	76
SCAN TYPE	80, 81
SD (標準) 画質	57
SEARCH M.	53
SEL/PUSH EXECダイヤル	18
SEPARATE	73
SHOT TRANSITION	70
SHUTTER DISP	77
SHUTTER SPEEDボタン	29
SKINTONE DTL	39
SMOOTH GAIN	64
SMOOTH WB	66
SMTH SLW REC	68, 104
SOFT STOP	71
SOFT TRANS	71
SPEED ZOOM	68
SPOTLIGHT	67, 104
SQUEEZE	82
START TIMER	71
START TRIG	68
STATUS CHECKボタン	52
STBY COMMAND	83
STEADYSHOT	67
STOP	83
SYNCHRONOUS	82

T

TAPE RUN	90
TC COUNTUP	83
TC FORMAT	84
TC LINK	84
TC MAKE	84
TC PRESET	83
TC RUN	84
TC/UB SETメニュー	83
TC/U-BITボタン	129
THREADING	90
TONE	72
TRANS CURVE	71

索引(つづき)

TRANS TIME	70
TRIG	69
TRIG LEVEL	69

U

UB PRESET	84
UB TIME REC.....	85
UB-DATE/TC-TIME	85

V

VCR HDV/DV	79
VF B. LIGHT	78
VF COLOR	78
VF POWER MODE.....	78
VIDEO OUT	81
VOLUME/MEMORYボタン	48
V-OUT/PANEL	79

W

WB OUTDR LVL	65
WB PRESET	65
WB SHIFT	38
WB TEMP SET	65
WHITE FADER.....	68
WHT BALボタン	31
Windows.....	100
WORLD TIME	88

X

x.v.Color	71
XLR AGC LINK.....	73
XLR SET	73

Z

ZEBRA.....	75
ZEBRAボタン	43
ZOOM DISPLAY	77
ZOOMスイッチ	25

商標について

- “Memory Stick”、“メモリースティック”、、“メモリースティック デュオ”、“**MEMORY STICK Duo**”、“メモリースティック PRO デュオ”、“**MEMORY STICK PRO Duo**”、“メモリースティック PRO-HG デュオ”、“**MEMORY STICK PRO-HG Duo**”、“メモリースティック マイクロ”、“マジックゲート”、“**MAGIC GATE**”、“MagicGate Memory Stick”、“マジックゲート メモリースティック”、“MagicGate Memory Stick Duo”、“マジックゲート メモリースティック デュオ”はソニー株式会社の商標または登録商標です。
- InfoLITHIUM(インフォリチウム)はソニー株式会社の商標です。
- はソニー株式会社の商標です。
- “x.v.Color”はソニー株式会社の商標です。
- i.LINK、はソニー株式会社の商標です。
- Mini は商標です。
- **DVCAM** は商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Vista、Windows MediaはMicrosoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Macintosh、Mac OSはApple Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。
- HDVおよびHDVロゴは、ソニー株式会社と日本ビクター株式会社の商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。
- PentiumはIntel Corporationの登録商標または商標です。
- Adobe、Adobe ReaderはAdobe Systems Incorporated(アドビ システムズ社)の商標です。

その他の各社名および各商品名は各社の登録商標または商標です。なお、本文中ではTM、®マークは明記していません。

ライセンスに関する注意

個人的使用以外の目的で、MPEG-2規格に合致した本製品をパッケージメディア向けビデオ情報をエンコードするために使用する場合、MPEG-2 PATENT PORTFOLIOの特許に関するライセンスを取得する必要があります。尚、当該ライセンスは、MPEG LA, L.L.C., (住所: 250 STEELE STREET, SUITE 300, DENVER, COLORADO 80206)より取得可能です。